

令和 3 年度分

第 1 次実施計画事業評価票

【第1次実施計画事業一覧】

政策名	施策名	事業番号	第1次実施計画事業	担当課
1. 誰もが安心して健康で明るく暮らせるまちをつくります 【安全・安心・健康福祉】	1 防災・減災対策の強化	1	防災意識の高揚や地域における防災力の向上	防災課
		2	防災・減災基盤の充実	防災課
		3	消防体制の拡充	防災課
	2 防犯・交通安全対策の強化	4	防犯対策の推進	市民活動推進課
		5	交通安全対策の推進	市民活動推進課 土木管理課
		6	消費者被害の防止	経済振興課
	3 地域共生社会の実現	7	地域福祉の推進と支援体制の構築	社会福祉課
		8	多様化・複合化する地域福祉課題への対応	社会福祉課
	4 高齢者の生活支援	9	高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	高齢者福祉課
		10	介護予防の推進と介護保険制度の円滑な運営	高齢者福祉課
		11	地域包括ケアシステムの推進	高齢者福祉課
	5 障がいのある人の自立支援と社会参加の促進	12	障がいのある人の地域生活支援の充実	障がい福祉課
		13	障がいのある人の社会参加の促進	障がい福祉課
	6 健康づくりの推進	14	健康診査及び保健指導の充実	健康増進課 国保年金課
		15	健康づくり活動の促進	健康増進課
		16	歯科保健の推進	健康増進課
		17	食育の推進	健康増進課
	7 医療体制・健康危機管理対策の充実	18	医療体制の充実	健康増進課
		19	健康危機管理対策の推進	健康増進課
	8 スポーツ活動の推進	20	スポーツ参加機会の拡充	スポーツ振興課
		21	スポーツ団体や指導者への支援	スポーツ振興課
2. 子どもたちの未来を育み誰もが心に豊かさをもたらすまちをつくります 【子育て・教育・文化】	1 子育て支援の充実	22	子どもが安心して成長できる環境づくりの推進	子育て支援課 保育課
		23	子どもと親の健康づくりの推進と特別な支援が必要な子育て家庭への取組	子育て支援課、健康増進課、障がい福祉課
		24	子育て家庭への切れ目のない支援	子育て支援課 保育課
	2 学校教育の充実	25	子どもたちの学ぶ力を育む	指導課
		26	子どもたちの豊かな心を育む	指導課
		27	子どもたちの健やかな体を育む	指導課 学校給食課
	3 教育環境の整備・充実	28	教育環境整備の充実	学務課 教育総務課
		29	学校の適正規模・適正配置の推進	学務課
		30	情報化社会に対応した教育の推進	学務課
		31	信頼される学校づくり	指導課
	4 歴史・文化の保護・活用と芸術活動の振興	32	文化・芸術活動の推進	生涯学習課
		33	文化財の保護・活用の推進	生涯学習課
		34	市史編さん事業や地域史料の保存	生涯学習課
	5 生涯学習の推進と青少年の健全育成	35	多様な学習機会の提供	生涯学習課
		36	図書館サービスの充実	生涯学習課
		37	生涯学習施設の整備・充実	生涯学習課
		38	家庭と地域の教育力の向上と青少年の健全育成	生涯学習課

政策名	施策名		事業 番号	第1次実施計画事業	担当課
3. 地理的優位性をいかした活力あふれるまちをつくります 【産業・交流】	1	農林業の振興	39	農業の担い手の確保	農政課
			40	農業経営への支援	農政課
			41	農業生産基盤の整備	農政課
			42	農林業を通じた地域振興	農政課
	2	商工業の振興	43	商工業の活性化	経済振興課
	3	起業・雇用の促進	44	創業・起業の支援と企業誘致	経済振興課
			45	就労支援の充実	経済振興課
	4	定住交流の促進	46	シティプロモーションの推進	経済振興課
			47	国際化の推進	企画政策課
	5	観光資源の活用と観光の振興	48	観光資源の活用による地域の活性化	経済振興課、企画政策課、都市整備課
4. 自然と都市が調和する快適で人にやさしいまちをつくります 【まちづくり・生活環境】	1	適正な土地利用の推進	49	良好な土地利用の推進	都市計画課
			50	印旛中央地区の市街地形成の支援	都市整備課
			51	地籍調査の推進	都市計画課
	2	緑あふれる居住環境の実現	52	災害に強い住まいづくりの促進	建築指導課
			53	空家等対策の推進	建築指導課
			54	公園の適切な維持管理の推進	都市整備課
	3	道路環境の充実	55	道路網の整備	建設課
			56	道路などの適切な維持管理の推進	土木管理課
	4	上下水道事業の安定的な運営	57	水道の安定供給	水道課
			58	計画的な下水道の整備	下水道課
	5	公共交通の充実	59	持続可能な市内公共交通ネットワークの形成	交通政策課
			60	鉄道の利便性の向上	交通政策課
	6	快適な生活環境の実現	61	美しく快適な環境づくりの推進	クリーン推進課
			62	不法投棄防止対策の強化	クリーン推進課
			63	環境汚染防止対策の推進	環境保全課
			64	鳥獣被害対策の推進	環境保全課
	7	自然との共生の実現	65	環境保全意識の高揚と自然と触れ合う機会の充実	環境保全課
			66	ごみの減量化と資源化の推進	クリーン推進課
			67	環境への負荷の低減	環境保全課
5. 市民と行政が力を合わせ持続可能なまちをつくります 【住民自治・協働・行財政】	1	市政への参加と地域活動の推進	68	コミュニティ活動の推進	市民活動推進課
			69	市民の主体的な活動の支援	市民活動推進課
			70	市民参加意識の向上	市民活動推進課
	2	人権尊重と男女共同参画社会の実現	71	人権尊重の推進と男女共同参画社会の実現に向けた取組	市民活動推進課
			72	相談支援体制の充実	子育て支援課
	3	行政の電子化・情報化の推進	73	電子行政の推進	DX推進課
			74	時代に即した情報発信	秘書広報課
	4	市民サービスの充実	75	窓口サービスなどの充実	市民課、納税課、国保年金課
			76	市民相談の実施	市民活動推進課
			77	情報公開制度の適正な運用	秘書広報課 総務課
	5	持続可能な行財政経営の実現	78	事務事業の見直しと事務改善の推進	総務課
			79	職員の育成	人事課
			80	公共施設マネジメントの推進	資産経営課
			81	公共施設の配置などの適正化の検討	企画政策課

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	1
実施計画事業名	防災意識の高揚や地域における防災力の向上		担当部署名	防災課
事業の実施目的及び概要	市民の防災意識の更なる高揚による地域防災力の向上を目的に、自助・共助の重要性を広めるとともに、防災メール発信システムの利用促進や家庭内備蓄（自助備蓄）・地域での備蓄（共助備蓄）の普及啓発を行います。 また、自主防災組織の結成促進や活動を側面から支援するとともに、市民、地域、行政など関係機関が連携した地域防災体制の構築に向けた取組を推進します。			
関連施策	【1-1】 防災・減災対策の強化	根拠法令 関連計画	災害対策基本法 印西市地域防災計画 消防組織法 消防法	
取組方針	防災意識の高揚や地域における 防災力の向上（自助・共助）			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・地域防災計画改定に伴うハザードマップ、総合防災ブックの全戸配布 ・総合防災ブックの作成 ・総合防災訓練の実施(原山中学校区) ・防災講習会の開催 ・広報等による自助・共助等普及啓発 ・防災ポータルサイトの開設及び情報配信 ・自主防災組織設置助成及び活動助成 ・自主防災組織リーダー研修会等の開催 ・風水害マイタイムラインの普及・啓発	・ハザードマップ、総合防災ブックの随時配布 ・総合防災訓練の実施(西の原中学校区) ・防災講習会の開催 ・広報等による自助・共助等普及啓発 ・防災ポータルサイトによる情報配信 ・自主防災組織設置助成及び活動助成 ・自主防災組織リーダー研修会等の開催 ・風水害マイタイムラインの普及・啓発	・ハザードマップ、総合防災ブックの随時配布 ・総合防災訓練の実施(小林中学校区) ・防災講習会の開催 ・広報等による自助・共助等普及啓発 ・防災ポータルサイトによる情報配信 ・自主防災組織設置助成及び活動助成 ・自主防災組織リーダー研修会等の開催 ・風水害マイタイムラインの普及・啓発
事業費	31,285千円	13,900千円	13,900千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	8-1-5	災害対策費	防災意識啓発事業
	8-1-5	災害対策費	自主防災組織助成事業
	8-1-5	災害対策費	災害対策事務に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・ハザードマップ、総合防災ブックの全戸配布実施 ・総合防災ブックの作成 ・総合防災訓練の実施(原山中学校区、会場:内野小学校) ・防災講習会の実施 ・広報等による自助・共助等普及啓発の実施 ・防災ポータルサイトの開設 ・自主防災組織への設置助成及び活動助成の実施 ・風水害マイタイムラインの普及・啓発の実施	当初予算	31,285,000円
		予算現額	27,919,000円
		決算額	24,487,621円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	防災情報の広報紙等による啓発	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	8				
	総合防災訓練の実施	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1				
	自主防災組織結成に向けた広報紙等による啓発	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	6				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	防災メール等の登録者数	人	目標値	15,000	17,000	19,000	21,000	23,000
			実績値	15,171				
	総合防災訓練自治会等参加率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	50				
	自主防災組織活動カバー率 (自主防加入世帯/市の世帯)	%	目標値	80	81	82	83	84
			実績値	78				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	総合防災訓練は、密を避けるなど実施方法を変更したが、コロナウイルス感染症の影響により参加団体が増加しなかった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	災害における被害を軽減するには、防災に対する各種対策等の普及啓発が重要であるため、引き続き実施していく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	2
実施計画事業名	防災・減災基盤の充実	担当部署名	防災課	
事業の実施目的 及び概要	災害に強い防災・減災基盤の整備を目的に、災害時、いかなる状況下においても市民に迅速かつ的確に情報を伝達するため、防災行政無線以外の情報伝達手段の多様化を推進し、将来的に更新が必要となる子局等の更新計画の策定に取り組みます。 また、避難所においては、感染症に配慮した資機材の整備、停電対策としての非常用電源の確保、災害用トイレの多様化や暑さ対策など、避難所における生活環境の改善と衛生管理を推進し、公助備蓄に対応するための防災備蓄拠点の整備に取り組むとともに、災害時における飲料水及び生活用水を確保するための災害用井戸の整備を計画的に実施し、併せて、災害時協力井戸制度の普及・啓発に努めます。			
関連施策	【1-1】 防災・減災対策の強化	根拠法令 関連計画	災害対策基本法 印西市地域防災計画	
取組方針	防災・減災基盤の充実（公助）			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・防災行政無線親局の更新及び情報伝達システムの構築(情報伝達手段の多様化) ・災害用井戸整備(印西中学校)、設計(印旛中学校) ・災害時協力井戸制度の普及・啓発 ・災害用マンホールトイレ(指定避難所)設置計画策定及び設計(2箇所) ・災害用資機材の購入 ・防災アセスメント調査、地域防災計画、職員初動マニュアル、避難所運営マニュアルの改訂、地区別防災マップ、各種ハザードマップの作成 ・災害協定の確認及び新規締結	・防災行政無線子局の更新に係る音響調査 ・災害用井戸整備(印旛中学校)、設計(滝野中学校) ・災害時協力井戸制度の普及・啓発 ・災害用マンホールトイレ(指定避難所)設計・設置(各2箇所) ・災害用資機材の購入 ・業務継続計画の改訂、災害時受援計画の策定、地域防災計画詳細版の作成 ・災害協定の確認及び新規締結	・防災行政無線子局等の計画的な更新に向けての検討 ・災害用井戸整備(滝野中学校)、設計(本埜中学校)及び令和7年度以降設置計画の検討 ・災害時協力井戸制度の普及・啓発 ・災害用マンホールトイレ(指定避難所)設計・設置(各2箇所)及び令和8年度以降設置計画の検討 ・災害用資機材の購入 ・災害協定の確認及び新規締結
事業費	236,279千円	107,281千円	91,309千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	8-1-5	災害対策費	防災施設管理に要する経費
	8-1-5	災害対策費	災害応急対策資機材整備事業
	8-1-5	災害対策費	災害用井戸整備事業
	8-1-5	災害対策費	地域防災計画に要する経費
	8-1-5	災害対策費	国土強靱化地域計画に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・防災行政無線親局の更新及び情報伝達システムの構築(情報伝達手段の多様化)実施 ・災害用井戸整備(印西中学校)、設計(印旛中学校)実施 ・災害時協力井戸制度の普及・啓発 ・災害用マンホールトイレ(指定避難所)設置計画策定及び設計(木刈中学校、西の原中学校) ・災害用資機材の購入 ・防災アセスメント調査、地域防災計画、職員初動マニュアル、避難所運営マニュアルの改訂、各種ハザードマップの作成 ・災害協定の確認及び新規締結	当初予算	236,279,000円
		予算現額	211,460,000円
		決算額	206,083,561円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	災害用井戸の設置数	箇所	目標値	6	7	8	9	—
			実績値	6				
	マンホールトイレの設置数	箇所	目標値	—	2	4	6	8
			実績値	—				
	災害時協力井戸制度の普及・啓発	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	1				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
	災害用井戸の設置率(全9箇所)	%	目標値	66	77	88	100	—
			実績値	66				
成果指標	マンホールトイレの設置率(全8箇所)	%	目標値	—	25	50	75	100
			実績値	—				
	災害時協力井戸の登録者数	人	目標値	20	30	40	50	60
			実績値	9				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	災害時協力井戸制度の普及・啓発について、市ホームページ以外の啓発が不足していた。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	登録者数の増加に向けて啓発に努める。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	目標に達していないため、引き続き普及・啓発に努める。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	・大規模災害時には、物流、流通機能等が停止することから、引き続き計画的に非常食の備蓄に努める。また、避難所においては、災害用井戸及び災害用マンホールトイレを設置するとともに、資機材等を整備する。 ・災害情報伝達手段の多様化が整備されたため、啓発に努める。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	3
実施計画事業名	消防体制の拡充		担当部署名	防災課
事業の実施目的 及び概要	消防体制の拡充を目的に、近年、複雑・多様化するあらゆる災害から市民の生命、身体及び財産を守り、これらの災害に迅速かつ的確に対応するため、市、常備消防、消防団の連携を更に強化することで、災害対応力の向上を図ります。 また、消防団がより安全かつ機能的に活動できるよう消防車両や資機材、消防水利などを計画的に整備するとともに、機能別消防団員制度の普及、啓発を図ることで、地域防災の中核的な存在である消防団員の確保に努めます。			
関連施策	【1-1】 防災・減災対策の強化	根拠法令 関連計画	災害対策基本法 印西市地域防災計画 消防法 消防組織法	
取組方針	消防・救急体制の維持・拡充			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・消防団員確保に向けた啓発活動 ・消防団活動服の更新 ・消防団資機材購入 ・消防団器具庫3-8(六軒)新築・解体設計業務 ・防火水槽設置工事設計業務(1基) ・消防団車両の更新(3台)	・消防団員確保に向けた啓発活動 ・消防団活動服の更新 ・消防団資機材購入 ・消防団器具庫3-8(六軒)新築・解体工事、新築・解体設計業務(2棟) ・防火水槽設置工事(1基)、設計業務(1基) ・消防団車両の更新(3台)	・消防団員確保に向けた啓発活動 ・消防団資機材購入 ・消防団器具庫新築・解体工事(2棟)、新築・解体設計業務(2棟) ・防火水槽設置工事(1基)、設計業務(1基) ・消防団車両の更新(3台)
事業費	135,087千円	164,000千円	188,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	8-1-2	非常備消防費	消防団運営活動に要する経費
	8-1-2	非常備消防費	市操法大会に要する経費
	8-1-2	非常備消防費	消防団車両管理に要する経費
	8-1-3	災害対策費	消防施設維持管理に要する経費
	8-1-3	災害対策費	防火水槽整備事業
	8-1-3	災害対策費	消防団配備車両整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・消防団員確保に向けた啓発活動 ・消防団活動服の更新 ・消防団資機材購入 ・消防団器具庫3-8(六軒)新築・解体設計業務 ・防火水槽設置工事設計業務(大森1基) ・消防団車両の更新(3台) ・消防団員の処遇改善として、報酬等の引き上げの条例改正を実施	当初予算	135,087,000円
		予算現額	130,472,000円
		決算額	113,502,456円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	消防団員の確保に向けた啓発活動	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	7				
	消防団器具庫の更新数	棟	目標値	—	1	3	5	7
			実績値	—				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	消防団員の充足率	%	目標値	79.6	79.7	79.8	79.9	80.0
			実績値	77.1				
	消防団器具庫の更新率(全14棟)	%	目標値	—	7	21	35	50
			実績値	—				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も消防団員が安全かつ機能的に活動できるよう消防車両や資機材、消防水利などを計画的に整備する。 また、消防団員数については、現在も減少傾向にあるため、更なる処遇改善等の検討を進めるとともに、啓発等を実施し団員確保に努める。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	4
実施計画事業名	防犯対策の推進		担当部署名	市民活動推進課
事業の実施目的 及び概要	市民一人ひとりの防犯意識の高揚を図るとともに、市民、各種団体、関係機関及び行政が協力・連携し、 犯罪の抑止に向けた取組を推進します。 また、近年、悪質化、巧妙化が進んでいる特殊詐欺や新たな犯罪に市民が巻き込まれないよう、情報提供 や犯罪被害者等の相談に努めます。			
関連施策	【1-2】 防犯・交通安全対策の強化	根拠法令 関連計画	印西市安全で安心なまちづくり推進条例 同施行規則 印西市暴力団排除条例 印西市犯罪被害者等支援条例 同施行規則	
取組方針	防犯対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・自主防犯活動組織との連携の推進 ・市ホームページへの市内犯罪発生状況の掲載 ・各種防犯啓発活動の実施 ・防犯灯の整備・維持管理 ・街頭防犯カメラの管理及び運用 ・青色回転灯装着車両による地域安全パトロールの実施 ・犯罪被害者等支援の実施 ・防犯カメラ設置補助金の交付	・自主防犯活動組織との連携の推進 ・市ホームページへの市内犯罪発生状況の掲載 ・各種防犯啓発活動の実施 ・防犯灯の整備・維持管理 ・街頭防犯カメラの管理及び運用 ・青色回転灯装着車両による地域安全パトロールの実施 ・犯罪被害者等支援の実施 ・防犯カメラ設置補助金の交付	・自主防犯活動組織との連携の推進 ・市ホームページへの市内犯罪発生状況の掲載 ・各種防犯啓発活動の実施 ・防犯灯の整備・維持管理 ・街頭防犯カメラの管理及び運用 ・青色回転灯装着車両による地域安全パトロールの実施 ・犯罪被害者等支援の実施 ・防犯カメラ設置補助金の交付
事業費	84,175千円	84,175千円	84,175千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-13	諸費	防犯対策に要する経費
	2-1-13	諸費	防犯活動拠点施設運営費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・市内犯罪発生状況を市HPに掲載(月2回) ・市内犯罪発生状況の登録者にE-mailやFAXで配信(月2回) ・地区別字別犯罪発生状況を市HPに掲載(毎月) ・警察と連携した合同パトロール(毎月) ・青色回転灯装着車両によるパトロール業務(286日) ・防犯灯の新設(89台)と維持管理 ・街頭での防犯啓発活動の実施(4回) ・街頭防犯カメラの管理及び運用(駅ロータリー44台) ・自主防犯活動組織への補助金交付 ・防犯カメラ設置補助金の交付(3台)	当初予算	84,175,000円
		予算現額	82,775,000円
		決算額	72,476,934円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	地域安全パトロールの実施(青色灯搭載車による)	日	目標値	260	260	260	260	260
			実績値	286				
	新設防犯灯数	灯	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	89				
	市民安全情報の配信	回	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	24				
	防犯パトロール回数	回	目標値	940	940	940	940	940
			実績値	771				
			目標値					
			実績値					
成果指標	市民安全パトロール隊の隊数	隊	目標値	13	13	13	13	13
			実績値	13				
	印西市内での刑法犯認知件数(暦年)	件	目標値	560	550	540	530	520
			実績値	513				
	印西市内での刑法犯(窃盗犯)認知件数(暦年)	件	目標値	430	420	410	400	390
			実績値	427				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	防犯パトロール回数は目標値を下回っているが、地域安全パトロールについては目標値を上回る日数で実施出来た。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	市内での刑法犯認知件数及び刑法犯(窃盗犯)認知件数が目標値を下回っている。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	防犯灯の設置が困難な箇所についての対応が今後の課題である。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市や防犯組合等による防犯活動のほか、平成29年度からは犯罪被害者等の救済のための見舞金制度を創設、平成30年度から町内会・自治会等による防犯カメラ設置に対する補助を開始し、防犯意識の高揚と安全で安心なまちづくりの推進に努めている。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	5
実施計画事業名	交通安全対策の推進		担当部署名	市民活動推進課 土木管理課
事業の実施目的 及び概要	交通安全意識を高める取組と合わせて交通安全施設等の整備を進め、特に交通弱者と呼ばれる高齢者や児童等への交通安全対策を図り、交通事故の防止に努めます。			
関連施策	【1-2】 防犯・交通安全対策の強化	根拠法令 関連計画	印西市自転車の安全・安心利用に関する条例 印西市自転車安全総合推進計画 印西市交通安全計画	
取組方針	交通安全対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	【交通安全教室】 ・保育園、幼稚園、小中学校、高齢者クラブ、スケアードストレイト 【交通安全啓発活動】 ・交通安全パトロール ・交通安全運動期間中の啓発活動 ・交通安全の日等各種推進運動に伴う啓発活動 【交通安全支援事業】 ・高齢者安全運転支援装置設置の支援促進 【交通安全施設等整備】 ・交通安全施設工事の実施	【交通安全教室】 ・保育園、幼稚園、小中学校、高齢者クラブ、スケアードストレイト 【交通安全啓発活動】 ・交通安全パトロール ・交通安全運動期間中の啓発活動 ・交通安全の日等各種推進運動に伴う啓発活動 【交通安全支援事業】 ・高齢者安全運転支援装置設置の支援促進 【交通安全施設等整備】 ・交通安全施設工事の実施	【交通安全教室】 ・保育園、幼稚園、小中学校、高齢者クラブ、スケアードストレイト 【交通安全啓発活動】 ・交通安全パトロール ・交通安全運動期間中の啓発活動 ・交通安全の日等各種推進運動に伴う啓発活動 【交通安全支援事業】 ・高齢者安全運転支援装置設置の支援促進 【関係計画作成】 ・第三次印西市自転車安全総合計画作成 【交通安全施設等整備】 ・交通安全施設工事の実施
事業費	47,296千円	38,759千円	38,759千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-8	交通安全対策費	交通安全対策事業
	2-1-8	交通安全対策費	放置自転車等対策事業
	2-1-8	交通安全対策費	交通安全対策施設整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・新型コロナ感染拡大防止のため、幼稚園、保育園、高齢者クラブを対象とした交通安全教室及び各交通安全運動等の街頭啓発を縮小・中止したが、各交通安全運動期間中において、児童登校時の見守り活動を実施した。 - また、交通安全教育資料用として、小中学校へ啓発チラシ配布、保育園、幼稚園へDVDを貸し出した。 ・年間を通じ、交通安全パトロールを実施した。 ・既販車に後付けで設置するペダル踏み間違い等による急発進抑制装置の購入・設置に対する補助金の周知チラシや放置自転車クリーンキャンペーンの啓発チラシを町内会等へ回覧した。 ・第11次印西市交通安全計画(令和3年度～令和7年度)を策定した。 ・交通安全施設工事の実施 区画線工 L=6, 573m/道路反射鏡 N=16基/標識工 N=18基 /車止め工 N=48本/車両用防護柵 L=90m/転落防止柵 L=158m /薄層カラー舗装 A=100㎡	当初予算	47,296,000円
		予算現額	45,696,000円
		決算額	42,674,360円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	交通安全教室の実施回数	回	目標値	70	70	70	70	70
			実績値	6				
	街頭啓発活動	回	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	13				
	放置自転車の巡視・警告・撤去	日	目標値	240	240	240	240	240
			実績値	242				
	道路パトロール	日	目標値	208	208	208	208	208
			実績値	242				
			目標値					
			実績値					
成果指標	印西市内での交通人身事故発生件数	件	目標値	204	199	195	192	190
			実績値	179				
	放置自転車の撤去台数	台	目標値	70	65	60	55	50
			実績値	55				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナ感染拡大防止により交通安全教室や街頭啓発は縮小・中止したが、職員による交通安全パトロールを年間を通じ実施した。
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナ感染拡大防止により交通安全教室や街頭啓発は縮小・中止したが、児童登校時の見守り活動や啓発チラシの配付等を通じ、交通事故等の減少に寄与した。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も交通安全教室や啓発等を通じ、交通安全意識の高揚を図る。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	6
実施計画事業名	消費者被害の防止		担当部署名	経済振興課
事業の実施目的 及び概要	近年、悪質化、巧妙化が進んでいる特殊詐欺や契約に関するトラブルに巻き込まれないよう、情報提供や相談体制の充実を図ります。			
関連施策	【1-2】 防犯・交通安全対策の強化	根拠法令 関連計画	印西市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例 同条例施行規則	
取組方針	消費者被害の防止			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・広報紙等を通じた市民への意識の啓発 ・消費生活講座の実施 ・消費生活センターによる相談の実施	・広報紙等を通じた市民への意識の啓発 ・消費生活講座の実施 ・消費生活センターによる相談の実施 ・相談体制の強化	・広報紙等を通じた市民への意識の啓発 ・消費生活講座の実施 ・消費生活センターによる相談の実施 ・相談体制の強化
事業費	671千円	671千円	671千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	6-1-3	消費者行政推進費	消費者行政推進事務に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・広報紙への啓発記事12回掲載 ・新規相談件数605件 ・消費生活講座等開催回数2回 ・放射性物質検査8回	当初予算	671,000円
		予算現額	780,000円
		決算額	588,579円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	広報紙への啓発記事掲載回数	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12				
	消費生活講座等開催回数	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	2				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	新規相談件数	件	目標値	500	500	500	500	500
			実績値	605				
	消費生活講座の受講者数	人	目標値	120	120	120	120	120
			実績値	193				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、消費生活講座等の開催実績が減少したもの。
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き、消費生活に関する情報提供や相談、消費生活講座等の充実を図り、消費者被害の防止に努める。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	7
実施計画事業名	地域福祉の推進と支援体制の構築		担当部署名	社会福祉課
事業の実施目的及び概要	「市民」はまちづくりの主役であり、地域福祉の推進には、市民が主体となった地域活動が不可欠です。「介護」「障がい」「子育て」「困窮」等地域に住む市民たちの抱える問題は複雑化・複合化してきています。また、高齢化の進展や人間関係の希薄化等により、「共助」の重要性がより高まっている中で、縦割り型の支援体制から組織を超えた横断的な支援体制の構築とともに、地域における包括的な支援体制の構築が求められています。 このため、市では、人材確保・育成活躍の場の提供などによる社会参加への支援を行っていきます。また、「市民」「地域活動団体」「社会福祉法人」「NPO法人」「民生委員・児童委員」「行政」といった地域福祉を担う構成員の連携による地域福祉ネットワークの構築を進めるとともに、包括的な相談体制の構築など地域福祉力の向上に向けた支援体制づくりを進めていきます。			
関連施策	【1-3】 地域共生社会の実現	根拠法令 関連計画	社会福祉法 印西市地域福祉計画 民生委員法 児童福祉法	
取組方針	市民の福祉意識向上と人材確保・育成/ 包括的な支援の実現に向けた体制づくり			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・広報いんざいや市ホームページ等による地域福祉の情報発信 ・民生委員・児童委員の確保及び活動の支援 ・社会福祉協議会の活動への支援 ・福祉の総合相談窓口の設置 ・第4次印西市地域福祉計画の推進及び進捗管理	・広報いんざいや市ホームページ等による地域福祉の情報発信 ・民生委員・児童委員の確保及び活動の支援 ・社会福祉協議会の活動への支援 ・福祉の総合相談窓口の運営 ・第4次印西市地域福祉計画の推進及び進捗管理	・広報いんざいや市ホームページ等による地域福祉の情報発信 ・民生委員・児童委員の確保及び活動の支援 ・社会福祉協議会の活動への支援 ・福祉の総合相談窓口の運営 ・第4次印西市地域福祉計画の推進及び進捗管理
事業費	91,648千円	91,648千円	91,648千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-1-1	社会福祉総務費	社会福祉総務事務に要する経費
	3-1-1	社会福祉総務費	そうふけふれあいの里施設管理に要する経費
	3-1-1	社会福祉総務費	牧の原地域交流センター施設管理に要する経費
	3-1-1	社会福祉総務費	民生委員児童委員活動に要する経費
	3-1-1	社会福祉総務費	社会福祉推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・広報紙・ホームページに、民生委員・児童委員の活動紹介や地域福祉計画策定等の地域福祉に関する記事を掲載し、市民の福祉意識の向上を図った。 ・社会福祉協議会等との連携や民生委員・児童委員の活動支援を行い、地域福祉の向上に努めた。 ・新たに福祉の総合相談窓口を開設し、包括的で総合的な相談支援が行える体制づくりに取り組んだ。 ・第4次印西市地域福祉計画の進行管理を行うとともに、地域福祉推進委員会において、計画の評価を実施した。	当初予算	91,648,000円
		予算現額	91,414,000円
		決算額	84,279,175円
		翌年度繰越額	—

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	民生委員・児童委員数	人	目標値	130	135	140	145	150
			実績値	129				
	地域福祉の情報発信数	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	7				
	福祉の総合相談窓口	か所	目標値	1	1	1	1	2
			実績値	1				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	民生委員・児童委員の活動数 (活動日誌)	件	目標値	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000
			実績値	5,835				
	ボランティアセンター登録者数	人	目標値	1,400	1,550	1,700	1,850	2,000
			実績値	959				
	総合相談窓口相談件数	件	目標値	50	70	80	100	170
			実績値	197				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	欠員が生じている地区の民生委員・児童委員の確保に努めた。 また、広報紙等による情報発信に努めた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルスの影響で、民生委員・児童委員の訪問活動やボランティアセンター登録者数が減少していると思われる。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルスの影響で目標値を下回るものもあったが、地域福祉計画に基づいた取組みを推進することができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	地域福祉ネットワークの構築を推進するため、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、地域組織やボランティア等と連携を図っていく。 また、福祉の総合相談窓口の充実に向けた検討を行っていく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	8
実施計画事業名	多様化・複合化する地域福祉課題への対応		担当部署名	社会福祉課
事業の実施目的 及び概要	近年、大規模な自然災害の発生や新卒の特殊詐欺・サイバー犯罪の増加、新型コロナウイルス感染症の流行等、市民の安全を脅かす要因が増加する中、特に、高齢者や障がい者等の支援が必要な人を地域ぐるみで守っていけるよう、地域人材を活用した防災・防犯体制を構築・推進していくとともに、市民の生活面に重大な影響を及ぼすことになりうる「生活困窮」「自殺」「ひきこもり」「8050問題」「ダブルケア」などの地域福祉が抱える様々な問題への対策についても取り組んでいきます。			
関連施策	【1-3】 地域共生社会の実現	根拠法令 関連計画	災害対策基本法 印西市避難行動要支援者避難計画 生活困窮者自立支援法 生活保護法 印西市地域福祉計画 印西市成年後見制度利用促進基本計画	
取組方針	多様化・複合化する課題への対応			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・避難行動要支援者名簿の作成及び管理等 ・生活困窮者等の自立支援事業の実施 ・離職などにより住居を失った方、又は失うおそれの高い方に、就職に向けた活動などを条件に、一定期間家賃相当額の支給をする「住居確保給付金」の支給 ・被保護者(生活保護受給者)の自立促進を図ることを目的とし、被保護者支援に関する問題について、被保護者からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行う「被保護者就労支援事業」の実施	・避難行動要支援者名簿の作成及び管理等 ・生活困窮者等の自立支援事業の実施 ・離職などにより住居を失った方、又は失うおそれの高い方に、就職に向けた活動などを条件に、一定期間家賃相当額の支給をする「住居確保給付金」の支給 ・被保護者(生活保護受給者)の自立促進を図ることを目的とし、被保護者支援に関する問題について、被保護者からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行う「被保護者就労支援事業」の実施	・避難行動要支援者名簿の作成及び管理等 ・生活困窮者等の自立支援事業の実施 ・離職などにより住居を失った方、又は失うおそれの高い方に、就職に向けた活動などを条件に、一定期間家賃相当額の支給をする「住居確保給付金」の支給 ・被保護者(生活保護受給者)の自立促進を図ることを目的とし、被保護者支援に関する問題について、被保護者からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行う「被保護者就労支援事業」の実施
事業費	72,113千円	72,113千円	72,113千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-1-1	社会総務費	社会福祉総務事務に要する経費
	3-1-1	社会総務費	生活困窮者自立支援事業に要する経費
	3-4-1	生活保護総務費	生活保護事業に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・避難行動要支援者同意者名簿作成のため、避難行動要支援対象者に個別に通知を送し、同意者名簿に掲載してよいか、また、支援者となり得る関係団体(町内会や民生委員等)に名簿を提供してよいか確認するため同意書の提出をしてもらった。併せて、町内会等への説明会を実施し、避難行動要支援者の個別計画の作成等、避難支援への協力を依頼した。名簿等の管理については、システムを導入し有事に迅速に対応・活用できるようにした。 ・生活困窮者自立支援事業について、毎月1日号の広報に生活困窮相談を行っている旨掲載(「今月の各種相談」コーナー)する他、ホームページにも生活困窮者に対する支援制度などの情報掲載を行った。また、委託先事業所でもチラシを作成し、周知に努めた。 ・被保護者就労支援事業においては、被保護者本人・就労支援員・担当ケースワーカーの三者面談だけでなく、保護係員と委託先事業所による「被保護者就労支援会議」を開催し、就労支援の方向性などを検討した。	当初予算	72,113,000円
		予算現額	119,982,000円
		決算額	93,598,840円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	避難行動要支援者同意者数	人	目標値	2,100	2,500	2,700	2,900	3,100
			実績値	2,399				
	自立支援事業の広報等による周知	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3				
	被保護者就労支援事業利用者数	人	目標値	15	15	20	20	25
			実績値	20				
			目標値					
			実績値					
成果指標	避難行動要支援者個別計画作成件数	件	目標値	50	125	216	232	248
			実績値	103				
	自立相談事業による相談件数	人	目標値	200	210	220	230	240
			実績値	267				
	被保護者就労支援事業を利用し増収した者	人	目標値	5	7	10	10	15
			実績値	9				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	どの事業においても目標値を上回る実績であったが、被保護者就労支援事業利用者のうち、新規の対象者は5人とR2年度の7人より減少する等、課題も残っている。
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	関係機関や地域団体等と連携し、各事業の周知に努めた結果、目標値を上回ることができたと思われる。また、避難行動要支援者個別計画作成件数が既に当初目標を上回ったため、上方修正した。
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	どの事業においても目標値を上回る実績であったが、課題が残る事業もあったことから、今後も関係機関や関係団体と連携し、支援を継続していく必要がある。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も市民が安心して生活できるよう、関係機関や地域の団体と連携し、継続して各事業を実施していく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	9
実施計画事業名	高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	担当部署名	高齢者福祉課	
事業の実施目的 及び概要	高齢者の多様な交流の促進を図り、いつまでも元気で住み慣れた地域に住み続けられるよう、老人福祉センター等の施設を提供及び各種事業を実施するほか、高齢者クラブが高齢者の生きがいづくりや孤立化防止に資するような自主的活動団体となるよう支援します。 また、高齢者が長年培ってきた経験・知識・技能を発揮し、生きがいを持って社会に参加しつつ生活の安定も享受できるよう、臨時的・短期的な就業を提供するシルバー人材センターの運営を支援します。			
関連施策	【1-4】 高齢者の生活支援	根拠法令 関連計画	介護保険法 老人福祉法 印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画	
取組方針	高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・老人福祉センター2館(中央・高花)、憩いの家等(滝野・中央駅前地域交流館)における活動場所の提供と各種事業の実施 ・高齢者クラブ活動促進のための助成金支出 ・指定管理による高齢者就労支援センターの運営 ・シルバー人材センターに対する指導・助言及び運営費補助	・老人福祉センター2館(中央・そうふけ)、憩いの家等(滝野・中央駅前地域交流館)における活動場所の提供と各種事業の実施 ・高齢者クラブ活動促進のための助成金支出 ・指定管理による高齢者就労支援センターの運営 ・シルバー人材センターに対する指導・助言及び運営費補助	・老人福祉センター3館(中央・高花・そうふけ)、憩いの家等(滝野・中央駅前地域交流館)における活動場所の提供と各種事業の実施 ・高齢者クラブ活動促進のための助成金支出 ・指定管理による高齢者就労支援センターの運営 ・シルバー人材センターに対する指導・助言及び運営費補助
事業費	141,592千円	141,592千円	141,592千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-2-1	高齢者福祉総務費	高齢者生きがい事業
	3-2-1	高齢者福祉総務費	高齢者就労支援センター運営に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	総合福祉センター施設管理に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	保健福祉センター運営事務に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	保健福祉センター施設管理に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	高花老人福祉センター事業に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	そうふけ老人福祉センター事業に要する経費
	3-2-2	高齢者福祉施設費	中央駅前地域交流館高齢者福祉事業活動に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	老人福祉センター等では高齢者の生きがいづくりや健康な体の維持、教養の向上などを目的に、主催事業を183日開催した。また、自由来館の場を設け、高齢者同士の交流を図るとともに、サークルなどを通じて生きがいづくりの推進を図り、老人福祉センター等5施設で延べ27,222人の方に利用された。 高齢者クラブの活動は、高齢者の生きがいづくりや体の健康の維持、社会参加促進を目的としており、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった行事もあったが、社会奉仕活動や、サークル活動を行った。 高齢者就労支援センターの講習会として、3回開催した。 シルバー人材センターの入会説明会参加者に対し、高齢者就労支援センターの紹介や就業情報の提供を目的として「ハローワーク成田」、「白井市無料職業紹介所」の案内を行った。	当初予算	141,592,000円
		予算現額	144,374,000円
		決算額	137,932,066円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	老人福祉センター等施設の主催事業開催日数	日	目標値	170	170	200	200	200
			実績値	183				
	シルバー人材センター登録会員数	人	目標値	450	455	460	465	470
			実績値	404				
	就業支援講座・講習会の開催数	回	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	3				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	老人福祉センター等施設の延べ利用者数	人	目標値	50,000	50,000	55,000	55,000	55,000
			実績値	27,222				
	シルバー人材センター受注事業件数	件	目標値	2,300	2,350	2,400	2,450	2,500
			実績値	2,260				
	シルバー人材センター就業延べ人員	人	目標値	50,000	50,100	50,200	50,300	50,400
			実績値	46,842				
	高齢者クラブ登録会員数	人	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
			実績値	1,812				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響で講座等を一部中止した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	老人福祉センター等について、新型コロナウイルス感染症の影響及び、いこいの湯の設備修繕に伴う休止(57日間)により利用者数が目標値を下回った。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	老人福祉センター等について、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を実施しながら、利用者数の回復及び増加に努める。 シルバー人材センターや高齢者クラブ連合会などの運営についても、継続して支援していく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	10
実施計画事業名	介護予防の推進と介護保険制度の円滑な運営		担当部署名	高齢者福祉課
事業の実施目的及び概要	各種介護予防事業の取組により、要介護状態になることを予防するとともに、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続することができるように支援します。 また、加齢に伴い生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴・排泄・食事等の介護を要する方に対して、自立した日常生活を営むことができるよう、必要なサービスの給付を行います。			
関連施策	【1-4】 高齢者の生活支援	根拠法令 関連計画	介護保険法 地域支援事業実施要綱(国) 印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画	
取組方針	介護予防の推進と介護保険制度の円滑な運営			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・介護予防事業の実施(ちょきん運動、認知症予防、脳活) ・介護支援ボランティア事業 ・高齢者の介護予防把握事業 ・通所型サービスC ・介護予防普及啓発講演会(隔年) ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 ・介護サービスの給付 ・介護人材の確保及び施設の充実化 ※通所型サービスCとは、保健・医療の専門職が生活機能を改善するための運動器の機能向上や栄養改善等のプログラムを3～6か月の短期間で行うサービスです。	・介護予防事業の実施(ちょきん運動、認知症予防、脳活) ・介護支援ボランティア事業 ・高齢者の介護予防把握事業 ・通所型サービスC ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 ・介護サービスの給付 ・介護人材の確保及び施設の充実化	・介護予防事業の実施(ちょきん運動、認知症予防、脳活) ・介護支援ボランティア事業 ・高齢者の介護予防把握事業 ・通所型サービスC ・介護予防普及啓発講演会(隔年) ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 ・介護サービスの給付 ・介護人材の確保及び施設の充実化
事業費	5,570,801千円	5,763,589千円	5,996,419千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-2-1	高齢者福祉総務費	介護人材育成事業、介護施設整備事業
	【介護保険特別会計】		
	2-1-1 ～ 2-1-6	保険給付費	施設サービス給付事業、居宅サービス給付事業、地域密着型サービス給付事業、特定入所者介護サービス給付事業、居宅介護支援サービス諸費給付事業、審査支払に要する経費
	2-2-1 ～ 2-2-4	介護予防サービス費	介護予防サービス給付事業、地域密着型介護予防サービス費、介護予防支援サービス諸費給付事業、特定入所者介護予防サービス給付事業
	3-1-2	地域支援事業費	介護予防・日常生活支援総合事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	介護予防の推進については、令和2年度に引き続き介護予防把握事業を行った(回答率66.2%)。その結果を踏まえ事業内容を見直し、脳活問題集を作成、2913冊配布した。また、モデル事業通所型サービスCを実施、委託事業所や地域包括支援センターと自立支援を目指した。ちょきん運動は、新型コロナの影響で活動を一時休止するグループもあったが、休止中であっても互いを気にかけてたり感染対策を講じながら活動再開を後押しできるよう支援した。 介護施設(地域密着型特別養護老人ホーム)の整備に係る補助事業について、事業完了が令和4年度となることから、関係予算について繰り越しとなった。	当初予算	5,570,801,000円
		予算現額	5,595,520,000円
		決算額	5,078,437,659円
		翌年度繰越額	179,550,000円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	ちょきん運動出前講座	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	2				
	介護予防事業の周知活動(介護保険証に同封、窓口設置モニター掲載、HP・広報掲載等)	回	目標値	15	15	15	15	15
			実績値	19				
	介護支援ボランティアの登録人数	人	目標値	100	110	120	130	140
			実績値	48				
	介護職員初任者研修等費用助成	人	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	3				
			目標値					
			実績値					
成果指標	ちょきん運動参加者人数	人	目標値	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000
			実績値	1,059				
	ちょきん運動実施グループ数	グループ	目標値	75	79	83	87	91
			実績値	72				
	介護支援ボランティアの受入施設	事業所	目標値	26	27	28	29	30
			実績値	26				
	研修費用助成による市内介護保険サービス事業所への就業者数	人	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	3				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響で介護施設でのボランティアの受け入れを中止している。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ちょきん運動については、新型コロナウイルス感染症の影響で、活動の自粛が見られた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	介護予防の推進については、通所型サービスCの利用者を拡大するとともに、他の介護予防に係る事業と連携し進めていく必要がある。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	11
実施計画事業名	地域包括ケアシステムの推進	担当部署名	高齢者福祉課	
事業の実施目的及び概要	高齢者ができるだけ要支援・要介護状態にならず、住み慣れた地域で安心して暮らし、尊厳あるその人らしい生活を継続することができるよう、介護予防と生活支援の観点から、地域の多様な社会資源を本人が活用できるような地域包括ケアの実現のために、地域包括ケアシステムの推進及び各種生活支援サービスを実施します。また、その中核となる地域包括支援センターの運営を継続し深化させていきます。			
関連施策	【1-4】 高齢者の生活支援	根拠法令 関連計画	介護保険法 印西市高齢者福祉計画及び介護 保険事業計画	
取組方針	地域包括ケアシステムの推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・R4年度からの地域包括支援センターの委託先を選定 ・印西南部地域包括支援センター職員の増員及び圏域の再編についての検証 ・地域包括ケアシステム及び地域包括支援センターについて市民へ周知啓発 ・在宅医療介護連携の推進、認知症施策、生活支援体制整備事業等の各事業を展開し、地域包括ケアシステムの構築を図る 各種生活支援サービス事業の実施 ・外出支援サービス事業 ・高齢者緊急通報装置設置等サービス事業 ・救急医療情報キット配布事業 ・紙おむつ給付サービス事業 ・福祉タクシー事業 ・高齢者ふれあいバス無償化	・地域包括ケアシステム及び地域包括支援センターについて市民へ周知啓発 ・圏域の再編について検証 ・在宅医療介護連携の推進、認知症施策、生活支援体制整備事業等の各事業を展開し、地域包括ケアシステムの構築を図る 各種生活支援サービス事業の実施 ・外出支援サービス事業 ・高齢者緊急通報装置設置等サービス事業 ・救急医療情報キット配布事業 ・紙おむつ給付サービス事業 ・福祉タクシー事業 ・高齢者ふれあいバス無償化	・地域包括ケアシステム及び地域包括支援センターについて市民へ周知啓発 ・圏域の再編について検証 ・在宅医療介護連携の推進、認知症施策、生活支援体制整備事業等の各事業を展開し、地域包括ケアシステムの構築を図る 各種生活支援サービス事業の実施 ・外出支援サービス事業 ・高齢者緊急通報装置設置等サービス事業 ・救急医療情報キット配布事業 ・紙おむつ給付サービス事業 ・福祉タクシー事業
事業費	231,619千円	231,619千円	231,619千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-2-1	高齢者福祉総務費	高齢者在宅福祉事業
	3-2-1	高齢者福祉総務費	成年後見制度利用促進事業に要する経費
	【介護保険特別会計】		
	3-1-1	包括的支援事業・任意事業費	包括的支援事業・任意事業
	4-1-1	保健福祉事業費	保健福祉事業に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	包括ケアシステムや地域包括支援センターの周知啓発、各事業を実施し、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを行った。小学生対象の認知症サポーター養成講座については、実施方法を感染症予防に留意したものに工夫し、学校の理解と協力のもとで8割の小学校において実施することができた。 また、介護予防・生活支援の観点から各種生活支援サービスを提供することで、高齢者が在宅生活を継続できるよう、家庭生活での自立を支援した。 ふれあいバス無料乗車カードを交付し、高齢者の移動手段の確保と社会参加の促進を図った。	当初予算	231,619,000円
		予算現額	244,609,000円
		決算額	213,484,315円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	認知症サポーター養成講座の開催	回	目標値	28	28	28	28	28
			実績値	21				
	外出支援サービス利用実績	件	目標値	400	400	400	400	400
			実績値	342				
	緊急通報装置の設置実績	件	目標値	35	35	35	35	35
			実績値	41				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	総合相談支援利用者数	件	目標値	4,000	4,100	4,200	4,300	4,400
			実績値	5,865				
	認知症サポーター養成数	人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績値	1,033				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値に達しない指標もあった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値に達しない指標もあった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	小学校の認知症サポーター養成講座については、令和3年度の方法で好評だったため継続して実施する。成人の講座については積極的な周知が必要と考える。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	12
実施計画事業名	障がいのある人の地域生活支援の充実	担当部署名	障がい福祉課	
事業の実施目的 及び概要	障がいのある人の福祉の増進を図ることを目的とし、障がいのある人が基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう事業の推進を図っていきます。			
関連施策	【1-5】 障がいのある人の自立支援と社会参加の促進	根拠法令 関連計画	障害者基本法 障害者総合支援法 児童福祉法 障害者基本計画 障害福祉計画	
取組方針	障がいのある人の地域生活支援の充実			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービス及び児童福祉法に基づく障がい児通所支援サービスの給付及び補装具の交付 ・基幹相談支援センターや特定相談支援事業所の支援 ・グループホームの利用促進 ・重度心身障害者への医療費の助成	・障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービス及び児童福祉法に基づく障がい児通所支援サービスの給付及び補装具の交付 ・基幹相談支援センターや特定相談支援事業所の支援 ・グループホームの利用促進 ・重度心身障害者への医療費の助成	・障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービス及び児童福祉法に基づく障がい児通所支援サービスの給付及び補装具の交付 ・基幹相談支援センターや特定相談支援事業所の支援 ・グループホームの利用促進 ・重度心身障害者への医療費の助成
事業費	2,507,982千円	2,733,700千円	2,979,733千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-1-2	障害福祉費	障害者自立支援給付事業
	3-1-2	障害福祉費	障害者援護費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービス及び児童福祉法に基づく障がい児通所支援サービスの給付及び補装具の交付を行った。 ・基幹相談支援センターを設置し、24時間365日の一般相談支援及び、特定相談支援事業所による障害福祉サービス等の利用支援を行った。(一般相談支援22,563件、計画相談支援1,355件) ・グループホーム運営費の補助及び入居する障がいのある人への家賃の一部を助成することにより、経済的負担の軽減と日常生活の確保を図った。(グループホーム等運営費補助金 23事業所、グループホーム等入居者家賃助成 97人) ・重度心身障害者の医療費を助成することにより、障がいのある人及びその家族の経済的負担の軽減を図った(支払件数 33,015件)	当初予算	2,507,982,000円
		予算現額	2,609,832,000円
		決算額	2,421,254,904円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	障害支援区分認定調査人数	人	目標値	110	116	122	128	134
			実績値	183				
	一般・特定相談事業所数	所	目標値	7	7	7	8	8
			実績値	7				
	障害福祉サービス(共同生活援助)利用決定者数	件	目標値	110	115	120	125	130
			実績値	137				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	障害福祉サービス利用者数(就労系及び共同生活援助を除く。)	人	目標値	999	1,042	1,085	1,130	1,177
			実績値	925				
	相談支援件数	件	目標値	19,500	19,700	19,900	20,100	20,300
			実績値	22,563				
	グループホーム等への入居者数	人	目標値	95	100	105	116	128
			実績値	125				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	相談事業により、認定調査人数が増加し、障がいのある方の個々の心身状況やニーズに応じた福祉サービスの提供に繋がった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	障がいのある方の個々の心身状況やニーズに応じた福祉サービスの提供に繋がった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	障がいのある方の個々の心身状況やニーズに応じた福祉サービスの提供に繋がった。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	平成30年度より基幹相談支援センターを設置し、24時間・365日の相談支援を行える体制を整備し、相談事業の充実を図ることができた。 今後も障がいのある人が、その有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように支援を行うため引き続き事業を継続する。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	13
実施計画事業名	障がいのある人の社会参加の促進		担当部署名	障がい福祉課
事業の実施目的 及び概要	障がいのある人が、その有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や障がいのある人の状況に応じて、効率的・効果的な事業の推進を図っていきます。			
関連施策	【1-5】 障がいのある人の自立支援と社会参加の促進	根拠法令 関連計画	障害者基本法 障害者総合支援法 障害者基本計画 障害福祉計画	
取組方針	障がいのある人の社会参加の促進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・障害福祉サービスの就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援及び自立訓練の実施による自立に向けての支援 ・障がいを理由とした差別の解消や障がいについての理解促進に向けた周知・啓発	・障害福祉サービスの就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援及び自立訓練の実施による自立に向けての支援 ・障がいを理由とした差別の解消や障がいについての理解促進に向けた周知・啓発	・障害福祉サービスの就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援及び自立訓練の実施による自立に向けての支援 ・障がいを理由とした差別の解消や障がいについての理解促進に向けた周知・啓発
事業費	2,293,874千円	2,500,323千円	2,725,352千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-1-2	障害福祉費	障害福祉事業に要する経費
	3-1-2	障害福祉費	障害者自立支援給付事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・障害福祉サービスの就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援及び自立訓練の実施による自立に向けての支援を行った。 ・障がい者を理由とした差別の解消や障がいについての理解促進に向けた周知・啓発を行った。(精神障がい者理解促進講座(3回)、障害者差別解消講演会(Web1回)、手話講習会(4回)、こころの整理術(1回)、障がい者作品展(Web1回)、お仕事応援フェア(1回))	当初予算	2,293,874,000円
		予算現額	2,395,724,000円
		決算額	2,251,444,829円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	就労系障害福祉サービス利用決定者数	人	目標値	250	285	306	327	348
			実績値	214				
	差別の解消や理解促進に関する周知・啓発回数	回	目標値	8	8	8	8	8
			実績値	11				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	就労移行支援事業利用者数	人	目標値	65	70	75	80	85
			実績値	73				
	就労継続支援事業利用者数	人	目標値	130	138	146	154	162
			実績値	137				
	就労定着支援事業利用者数	人	目標値	18	21	24	27	30
			実績値	16				
	生活訓練事業利用者数	人	目標値	34	39	44	50	57
			実績値	37				
	差別の解消や理解促進に関する講習等への参加延人数	人	目標値	330	340	370	380	410
			実績値	360				

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	就労系障害福祉サービス利用決定者数は新型コロナウイルスによる外出自粛の影響のため減になったと思われる。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	障がいのある方の個々の心身状況やニーズに応じた福祉サービスの提供に繋がった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	障がいのある方の個々の心身状況やニーズに応じた福祉サービスの提供に繋がった。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き障がいのある方の個々の心身の状況やニーズに応じた福祉サービスの充実を図っていくとともに、社会活動への参加や就労機会の拡大を図り、社会的・経済的な自立を支援していく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	14
実施計画事業名	健康診査及び保健指導の充実		担当部署名	健康増進課 国保年金課
事業の実施目的 及び概要	高齢化などを要因として全国的に医療費の増加が課題となっており、国民健康保険における医療費の抑制に向け、健康診査の受診率向上などの取組が求められています。本市では糖尿病を中心に、生活習慣病が増加しているため、継続的な運動や食生活の改善をはじめとする健康づくりや、健診などで病気を早期に発見することが求められます。 そこで、健康診査やがん検診等の受診率向上に努め、精密検査の場合には、個別勧奨などにより適切に医療機関へ受診できるよう支援します。加えて個別指導や保健指導などの充実により、市民の健康意識を高め、病気の早期発見や重症化予防など市民の健康増進を支援します。			
関連施策	【1-6】健康づくりの推進	根拠法令 関連計画	健康増進法 高齢者の医療の確保に関する法律 健康いんざい21～印西市健康増進・食育推進計画～ 印西市国民健康保険第3期特定健康診査等実施計画第2期データヘルス計画	
取組方針	健康診査及び保健指導の充実			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位: 千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	- 健康診査(特定健康診査、後期高齢者健康診査、40歳以上健康診査、39歳以下健康診査、骨粗しょう症検診、口腔疾患健診、肝炎ウイルス検診)の実施 - 各種がん検診(胃がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、肺がん結核検診、前立腺がん検診)の実施 - 特定保健指導、糖尿病性腎症重症化予防、各種健診事後健康相談の実施 - 人間ドック及び脳ドック受検費用助成事業の実施	- 健康診査(特定健康診査、後期高齢者健康診査、40歳以上健康診査、39歳以下健康診査、骨粗しょう症検診、口腔疾患健診、肝炎ウイルス検診)の実施 - 各種がん検診(胃がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、肺がん結核検診、前立腺がん検診)の実施 - 特定保健指導、糖尿病性腎症重症化予防、各種健診事後健康相談の実施 - 人間ドック及び脳ドック受検費用助成事業の実施	- 健康診査(特定健康診査、後期高齢者健康診査、40歳以上健康診査、39歳以下健康診査、骨粗しょう症検診、口腔疾患健診、肝炎ウイルス検診)の実施 - 各種がん検診(胃がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、肺がん結核検診、前立腺がん検診)の実施 - 特定保健指導、糖尿病性腎症重症化予防、各種健診事後健康相談の実施 - 人間ドック及び脳ドック受検費用助成事業の実施
事業費	277,991千円	277,991千円	277,991千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-1-2	予防費	結核検診事業
	4-1-4	健康づくり推進費	健康診査事業
	4-1-4	健康づくり推進費	がん検診事業
	4-1-4	健康づくり推進費	がん検診推進事業
	【国民健康保険特別会計】		
	5-1-1	保健衛生普及費	保健衛生普及事務に要する経費
	5-2-1	特定健康診査等事業費	特定健康診査等事業に要する経費
	【後期高齢者医療特別会計】		
	3-1-1	健康診査費	健康診査に要する経費
	3-1-2	保健衛生普及費	人間ドック等費用助成事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	令和3年度における健康診査及び各種がん検診の受診状況については、令和元年度の実績には及ばないものの回復傾向にある。特に、特定健診や特定保健指導は令和2年度に実施していない集団健診を復活させたことにより、受診率等を伸ばすことができたものと考え。また、人間ドック及び脳ドックの受診状況についても、令和2年度より増加しており、当該事業に係る周知等に一定の効果があつたものと考え。 健康相談実施者数は、生活習慣が悪化している人が多く各種事業ともに対象者が増加していたこと、医療機関との連携を深め、保健指導が必要な人を積極的に紹介いただけるようになったことから大幅な増加となった。 新規人工透析導入者数は目標値をやや上回った。ここにもコロナウイルス感染症による生活習慣の悪化の影響がみられた。	当初予算	277,991,000円
		予算現額	264,579,000円
		決算額	246,659,907円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	各種健康診査・検(健)診の周知 広報・HP等の掲載	回	目標値	13	14	15	16	17
			実績値	16				
	がん検診精密検査未受診者への再勧奨(電話・訪問・来所・手紙等)	%	目標値	90	95	95	97	100
			実績値	100				
	特定保健指導実施率 (法定審査前暫定値)	%	目標値	28	29	30	31	32
			実績値	18.5				
	健康相談実施者数(糖尿病性腎症対策・健診事後相談)	人	目標値	100	105	110	115	120
			実績値	366				
	人間ドック等受検費用助成の広報・HP等による周知	回	目標値	15	15	15	15	15
			実績値	17				
成果指標	平均自立期間(要介護2以上)	年齢	目標値	男 81.5 女 84.3	81.7 84.4	81.9 84.5	82.1 84.6	82.3 84.7
			実績値	男 81.5 女 84.2				
	特定健診の受診率 (法定審査前暫定値)	%	目標値	39.0	39.0	40.0	40.0	41.0
			実績値	37.1				
	がん検診精密検査受診率の増加	%	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	88.2				
	印西市国民健康保険被保険者中、糖尿病を原疾患とする新規人工透析導入者数	人	目標値	25	25	23	23	23
			実績値	28				
	印西市国民健康保険被保険者一人当たりの医療費	円	目標値	380千円	400千円	410千円	420千円	420千円
			実績値	372千円				

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナの影響は受けているものの、特定保健指導実施率以外は達成できている。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	一人当たりの医療費は目標値内となっている。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	受診率や事後指導に一定の成果が見られた。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き健診の周知と医療機関との連携をとりながら保健指導を実施し、受診率の向上と健診事後指導の強化を図る。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	15
実施計画事業名	健康づくり活動の促進	担当部署名	健康増進課	
事業の実施目的 及び概要	高齢期をむかえても誰もが住みなれた地域で、生涯を通じて健康で安心して暮らすことができるように、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を図る、健康づくりの施策の推進をします。 より良い生活習慣を身につけることは、丈夫な体をつくり、健康の維持・増進につながります。健康講演会や健康教育等の実施や健康情報を発信して、住民が自らの健康に関心を持ち、各年代に合わせた運動や睡眠・休養を含めた健康づくりを行えるよう支援し、禁煙・受動喫煙の防止など、健康増進に向けた取り組みを進めます。			
関連施策	【1-6】健康づくりの推進	根拠法令 関連計画	健康増進法 印西市健康増進計画 自殺対策基本法 いのち支えあういんざい自殺対策計画	
取組方針	健康づくり活動の促進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	- 健康講演会、健康教育等の実施 - 自殺対策 - 受動喫煙の防止対策 - 健康ポイント事業 - 健康情報の周知・啓発 - 健康相談の実施 - 健康づくりセンター運営事業の実施 - 健康生活コーディネート事業(ヘルスアップ教室)の実施	- 健康講演会、健康教育等の実施 - 自殺対策 - 受動喫煙の防止対策 - 健康ポイント事業 - 健康情報の周知・啓発 - 健康相談の実施 - 健康づくりセンター運営事業の実施 - 健康生活コーディネート事業(ヘルスアップ教室)の実施	- 健康講演会、健康教育等の実施 - 自殺対策 - 受動喫煙の防止対策 - 健康ポイント事業 - 健康情報の周知・啓発 - 健康相談の実施 - 健康づくりセンター運営事業の実施 - 健康生活コーディネート事業(ヘルスアップ教室)の実施
事業費	38,800千円	38,800千円	38,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-1-4	健康づくり推進費	保健対策推進事業
	4-1-4	健康づくり推進費	健康づくりセンター等運営事業に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	健康教育は、コロナ禍で講演会を中止したが、集団健康教育は出前講座と依頼教育で22回199名の参加があり、令和3年度から一体的実施事業の健康教育を実施し32回451名の参加があり、合わせて650名と目標を大きく上回った。来所の健康相談はナッジを活用したちらしを、集団健診と個別健診の健診結果に封入した結果、目標値を上回った。 健康ポイント事業は、市民が健康づくりメニューに取組みポイントを獲得して市に申請すると、県の承認を受けた協賛店で優待サービスを受けられる「ち〜バリューカード」を配布している。周知啓発と協力店舗を増やすことが課題となっている。 健康づくりセンターは、開館日数289日、延べ利用者数は6,082人となり、コロナ禍で3か月間休館した令和2年度(開館日数219日、延べ利用者数4,302人)を上回った。ヘルスアップ教室は、コロナ禍の影響もあり、新規参加者数は62名と目標値を下回った。事業参加者の体力年齢改善率は、目標値に僅かに及ばなかったものの、高い改善率を維持している。	当初予算	38,800,000円
		予算現額	35,505,000円
		決算額	33,666,218円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	健康講演会・健康教育等の参加者数	人	目標値	150	950	960	970	980
			実績値	650				
	健康情報コーナー等による啓発	か所	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12				
	健康ポイント事業の参加者数	人	目標値	150	170	190	210	230
			実績値	49				
	健康相談(来所)実施延べ人数	人	目標値	100	355	360	365	370
			実績値	366				
	健康生活コーディネート事業(ヘルスアップ教室)新規参加者実人数	人	目標値	80	90	100	110	120
			実績値	62				
成果指標	平均自立期間(要介護2以上)	年齢	目標値	男 81.5 女 84.3	81.7 84.4	81.9 84.5	82.1 84.6	82.3 84.7
			実績値	男 81.5 女 84.2				
	1日30分以上の運動を週2回以上、1年間以上実施している人の割合(%)	%	目標値	58.0	58.5	59.0	59.5	60.0
			実績値	42				
	睡眠で休養が十分とれている人の増加	%	目標値	73	76	79	79	79
			実績値	75				
	たばこを習慣的に吸っている人数	%	目標値	11	9	7	7	7
			実績値	9				
	ヘルスアップ教室参加者の入会時から3か月後の体力年齢改善率	%	目標値	80	80	80	80	80
			実績値	77				

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	コロナ禍のため講演会は開催できなかったが、地域に出向いての健康教育の実施により成果があった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	運動習慣に関して課題があるものの概ね達成できている。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	健康教育、健康相談についての達成度が高かった。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き、市民が自らの健康に関心を持ち、各年代に合わせた健康増進に向けた取り組みを続ける。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	16
実施計画事業名	歯科保健の推進		担当部署名	健康増進課
事業の実施目的 及び概要	歯の状態や口腔疾患は、全身の健康に影響します。歯みがきや歯科健診の定期的な受診を促し、家庭や学校、職場などでする歯みがき習慣の定着化を目指します。また、歯の健康や歯周病予防は、子どもから高齢者まで、年齢に関係なく取り組みが求められます。そこで、歯を失う原因となるう蝕（むし歯）及び歯周病の予防について、口腔衛生に関する正しい知識の普及と歯科健診の受診を勧奨します。			
関連施策	【1-6】健康づくりの推進	根拠法令 関連計画	健康増進法 歯科口腔保健法（歯科口腔保健の推進に関する法律） 第2次健康いんざい21（改訂版）～印西市健康増進・食育推進計画～ 印西市国民健康保険第3期特定健康診査等実施計画・第2期データヘルス計画	
取組方針	歯科保健の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容（第1次実施計画）

単位：千円

	令和3年度（2021年度）	令和4年度（2022年度）	令和5年度（2023年度）
年度別の事業計画 （具体的な内容及び数量）	・歯科保健啓発事業の実施 ・依頼教育、出前健康教育、保育園・幼稚園・小中学校、その他歯科衛生指導の実施 ・口腔疾患健診（30、35、40、45、50、55、60、65、70歳）の実施	・歯科保健啓発事業の実施 ・依頼教育、出前健康教育、保育園・幼稚園・小中学校、その他歯科衛生指導の実施 ・口腔疾患健診（30、35、40、45、50、55、60、65、70歳）の実施	・歯科保健啓発事業の実施 ・依頼教育、出前健康教育、保育園・幼稚園・小中学校、その他歯科衛生指導の実施 ・口腔疾患健診（30、35、40、45、50、55、60、65、70歳）の実施
事業費	3,695千円	3,695千円	3,695千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名（大予算事業）
	4-1-4	健康づくり推進費	保険対策推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・歯科保健啓発事業の実施→特徴のある子どもの歯科受診サポートガイド(冊子)、口呼吸と鼻呼吸(Youtube)、歯と口の健康と全身の健康(Youtube) ・依頼・出前教育→子ども発達センター(3回)44人(保護者44人)、子育て支援センター・児童館(2施設)24人(保護者28人) ・保育園歯科指導→歯科健診(市立保育園5園)375人、歯科指導(3歳以上児)194人、歯科指導(3歳児)63人 ・幼稚園歯科指導→歯科健診(公立幼稚園)261人 ・小学校歯科指導→12校(19回)1,901人(保護者28人) ・中学校歯科指導→6校(6回)792人 ・その他歯科衛生指導の実施→就学時健診歯科健康教室(18校)1,229人 ・口腔疾患健診(30、35、40、45、50、55、60、65、70歳)の実施	当初予算	3,695,000円
		予算現額	3,375,000円
		決算額	2,436,064円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	歯科保健啓発事業の周知(広報・HP等の掲載)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3				
	依頼教育、出前健康教育、保育園・幼稚園・小中学校、その他歯科衛生指導の増加	回	目標値	68	69	70	71	72
			実績値	58				
	口腔疾患健診受診者数	人	目標値	254	263	280	292	297
			実績値	176				
成果指標	歯科保健啓発事業	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	1				
	乳幼児う蝕罹患率の減少	%	目標値	11.5	11.3	10.0	9.9	9.8
			実績値	8.4				
	小学生う蝕罹患率の減少	%	目標値	39.3	39.2	39.1	39.0	38.9
			実績値	33.1				
	中学生う蝕罹患率の減少	%	目標値	34.4	34.3	34.2	34.1	34.0
			実績値	21.9				
	小学生の歯肉炎罹患率の減少	%	目標値	13.1	11.0	10.0	9.9	9.8
			実績値	10.9				
	中学生の歯肉炎罹患率の減少	%	目標値	31.3	28.2	25.0	24.9	24.8
			実績値	23.0				
	口腔疾患健診受診率	%	目標値	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5
			実績値	1.4				

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症拡大により健康教育実施が困難であったが、広報や市ホームページでの歯科保健啓発に努めた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	幼児歯科健診を個別化し、感染症流行下でも安心な環境での健診体制を構築した。 市民が情報を得やすいようYoutubeでの発信を行った。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	Youtube等にて歯科保健情報を発信・小中学校での歯科指導をPPT活用等、感染症流行下でも歯科保健情報を広く発信可能な手段を構築できた。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を配慮しつつ、歯科保健の推進に向けた手段・方法を工夫して実施していく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	17
1. 事業の概要				
実施計画事業名	食育の推進		担当部署名	健康増進課
事業の実施目的 及び概要	健康的な食習慣の大切さを伝え、生活習慣病の予防や健康な身体の発育を促すような生涯にわたる健全な食生活の実践を支援します。 地場産品を活用したレシピなど農業との連携や、給食などを通じた食育など保育・教育との連携を進め、食育推進の実施体制を整備、強化していきます。			
関連施策	【1-6】健康づくりの推進	根拠法令 関連計画	食育基本法 食育推進基本計画(国) 食育推進計画(県) 健康いんざい21(印西市健康増進・食育推進計画)	
取組方針	食育の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	【啓発・実践支援】 ・野菜いっぱい食育レシピ等レシピの作成・配信(年24回) ・乳幼児健診・相談事業の実施(通年) ・食育事業、教育事業の実施及び情報の配信(年20回程度) ・相談事業等での個別支援の実施(年100件程度) ・小中学校を通じた指導・啓発(通年) ・保育園・幼稚園を通じた啓発(通年) 【推進体制の整備】 ・栄養士調整会の開催(年2回) ・食育推進関係者研修会の開催(年1回) ・食育関係事業者との連携(年12回)	【啓発・実践支援】 ・野菜いっぱい食育レシピ等レシピの作成・配信(年24回) ・乳幼児健診・相談事業の実施(通年) ・食育事業、教育事業の実施及び情報の配信(年25回程度) ・相談事業等での個別支援の実施(年105件程度) ・小中学校を通じた指導・啓発(通年) ・保育園・幼稚園を通じた啓発(通年) 【推進体制の整備】 ・栄養士調整会の開催(年2回) ・食育推進関係者研修会の開催(年1回) ・食育関係事業者との連携(年12回)	【啓発・実践支援】 ・野菜いっぱい食育レシピ等レシピの作成・配信(年24回) ・乳幼児健診・相談事業の実施(通年) ・食育事業、教育事業の実施及び情報の配信(年25回程度) ・相談事業等での個別支援の実施(年110件程度) ・小中学校を通じた指導・啓発(通年) ・保育園・幼稚園を通じた啓発(通年) 【推進体制の整備】 ・栄養士調整会の開催(年2回) ・食育推進関係者研修会の開催(年1回) ・食育関係事業者との連携(年12回)
事業費	282千円	282千円	282千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
関係予算	4-1-4	健康づくり推進費	食育推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人を会場に集めての事業が出来ない中、離乳食教室をZOOMで開催する、プレママ教室の人数を制限し短時間での開催とするなど工夫し、食育講座や教室について目標値を超えての実施が出来た。 また、食育レシピでは毎月1回の野菜いっぱい食育の配信や、広報掲載のにこにこクッキングレシピの配信など計画的に実施することが出来た。食育レシピのツイートを見た人数は2,569人と目標の2,000を超えた成果を出すことが出来た。栄養士調整会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年1回の書面開催とした。食育推進関係者研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 1日に5皿以上の野菜料理を食べている人の割合は6%と目標の10%に届かなかった。引き続き、講座や教育等での周知に力を入れていきたい。	当初予算	282,000円
		予算現額	282,000円
		決算額	279,047円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	講座・教育の実施回数	回	目標値	20	25	25	25	25
			実績値	43				
	野菜いっぱい食育レシピ等レシピ配信回数	回	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	24				
	健康相談(来所)実施延べ人数	人	目標値	100	355	360	360	370
			実績値	366				
	栄養士調整会開催回数	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	1				
	食育関係者研修会開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	0				
成果指標	健康相談の内容を理解し、生活改善目標がたてられる	%	目標値	95	95	97	97	100
			実績値	100				
	野菜いっぱい食育レシピ等レシピツイートをみた人数(平均)	人	目標値	2,000	2,200	2,300	2,400	2,500
			実績値	2,569				
	1日に5皿以上の野菜料理を食べている人の割合	%	目標値	10	15	20	20	20
			実績値	6				
	食育関係者研修会参加者の市食育推進計画への理解	%	目標値	80	85	90	95	95
			実績値	—				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	食育関係者研修会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	食育関係者研修会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としたため、食育関係者研修会参加者の市食育推進への理解についての評価が出来なかった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症の影響があったが、おおむね計画どおりの実績、成果となった。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き食育推進の実施体制を整備、強化していくため継続して実施していく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	18
実施計画事業名	医療体制の充実		担当部署名	健康増進課
事業の実施目的 及び概要	市民が医師との信頼関係をもとに日常的な医療や健康の相談ができる「かかりつけ医」や「かかりつけ薬局」を持つことの重要性を周知するとともに、誰もがいざというときに必要な診療が受けられるように医療体制の整備・充実を図ります。特に休日・夜間などの急患に対応するための救急医療体制の充実を図ります。			
関連施策	【1-7】 医療体制・健康危機管理対策の充実	根拠法令 関連計画	第2次健康いんざい21(改訂版)～ 印西市健康増進・食育推進計画～	
取組方針	医療体制の充実及び在宅医療と介護の連携推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・かかりつけ医等の推奨 ・医療体制の整備 ・救急医療機関への財政支援	・かかりつけ医等の推奨 ・医療体制の整備 ・救急医療機関への財政支援	・かかりつけ医等の推奨 ・医療体制の整備 ・救急医療機関への財政支援
事業費	30,000千円	30,000千円	30,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-1-1	保健衛生総務費	地域医療推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	新型コロナウイルス感染症のまん延もあり、急病時の相談先等の周知を多く実施した。 市内医療機関への救急搬送率は減少したものの、搬送件数は増加した。	当初予算	30,000,000円
		予算現額	30,000,000円
		決算額	0円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	かかりつけ医等を持つことの重要性の周知 広報・HP等への掲載	回	目標値	13	14	15	16	17
			実績値	13				
	休日・夜間などの急病時の相談先等の周知 広報・HP等への掲載	回	目標値	3	4	4	5	5
			実績値	13				
	救急医療機関への財政支援	機関	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	0				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	医療機関数	機関	目標値	90	92	95	97	100
			実績値	91				
	市内医療機関への救急搬送率	%	目標値	44	45	46	47	48
			実績値	38				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	救急医療機関への財政支援について、対象となる日本医科大学千葉北総病院の救急医療について、交付要件を満たさなかったことから実施しなかった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	市内における救急事案のうち、市内医療機関に搬送された件数は令和2年度と比較し118件増加したが、全体の件数が516件増加したため比率としては減少となった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	引き続きかかりつけ医の重要性を周知していくとともに医療体制の充実を図っていく必要がある。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続きかかりつけ医の重要性を周知していくとともに医療体制の充実を図っていく。 特に市内医療機関への救急搬送率を増加させるための施策について検討する必要がある。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	19
実施計画事業名	健康危機管理対策の推進	担当部署名	健康増進課	
事業の実施目的及び概要	感染症の流行を防ぐため、感染症予防対策についての意識の向上を図るとともに、予防接種の知識の普及や接種機会の安定的な確保を図ります。また、救命率の向上のため、市内公共施設等におけるAED(自動体外式除細動器)の設置を推進するとともに市民への周知を図ります。			
関連施策	【1-7】医療体制・健康危機管理対策の充実	根拠法令 関連計画	第2次健康いんざい21(改訂版)～ 印西市健康増進・食育推進計画～	
取組方針	健康危機管理対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・予防接種法に基づく定期予防接種事業(小児、成人、高齢者) ・風しん予防接種費用助成 ・予防接種費用助成事業 ・健康危機管理予防対策(啓発等) ・AED(自動体外式除細動器)設置事業 ・予防接種法に基づく臨時予防接種事業(新型コロナウイルスワクチン接種事業)	・予防接種法に基づく定期予防接種事業(小児、成人、高齢者) ・予防接種費用助成事業 ・健康危機管理予防対策(啓発等) ・AED(自動体外式除細動器)設置事業	・予防接種法に基づく定期予防接種事業(小児、成人、高齢者) ・予防接種費用助成事業 ・健康危機管理予防対策(啓発等) ・AED(自動体外式除細動器)設置事業
事業費	391,684千円	384,942千円	384,942千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-1-1	保健衛生総務費	保健事務に要する経費
	4-1-2	予防費	予防接種事業
	4-1-2	予防費	健康危機管理事業
	4-1-2	予防費	新型コロナウイルスワクチン接種事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・感染症予防対策についての意識の向上を図るとともに、予防接種の知識の普及や接種機会の安定的な確保を図った。 ・救命率の向上のため、市内公共施設等におけるAED(自動体外式除細動器)を継続するとともに市民への周知を図った。 ・臨時予防接種事業として新型コロナウイルスワクチン接種事業を実施した。 (小児(5歳～11歳)および12歳以上の方に2回の接種、18歳以上の方へは3回目の追加接種を行った。)	当初予算	391,684,000円
		予算現額	1,642,854,000円
		決算額	1,214,245,108円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	感染症予防対策の周知 広報・HP等への掲載	回	目標値	13	14	15	16	17
			実績値	26				
	AED(自動体外式除細動器)設置 状況等の周知 広報・HP等への掲載	回	目標値	3	4	4	5	5
			実績値	2				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	24時間営業のコンビニエンス ストアへのAED(自動体外式除細 動器)設置	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100				
	市内公共施設等へのAED(自 動体外式除細動器)設置	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、広報毎号(24回)、ホームページ、ツイッターで予防対策等の周知を行った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	24時間営業のコンビニエンスストア及び市内公共施設等には全てAEDを設置を継続している。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き市民の安全安心な生活を守るために取り組んでいく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	20
実施計画事業名	スポーツ参加機会の拡充	担当部署名	スポーツ振興課	
事業の実施目的 及び概要	スポーツ人口の拡大を目的に、市民スポーツ大会及び教室を関係団体と連携し継続的に開催するとともに市民がスポーツに親しみ、スポーツに対する関心を図ることのできるイベントの開催やトップアスリートによるイベントの開催誘致に努めます。 また、市民が身近にスポーツ活動に親しめる場として学校体育施設の利用促進に努めるとともに快適に活動ができるよう、継続的にスポーツ施設の維持管理・改善検討を行います。			
関連施策	【1-8】 スポーツ活動の推進	根拠法令 関連計画	スポーツ基本法、スポーツ基本計画、第12次千葉県スポーツ推進計画、印西市教育振興基本計画、いんざい子育てプラン、第2次健康いんざい21、第8期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画	
取組方針	スポーツ参加機会の拡充			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・スポーツ教室の開催 ・市民ぐるみスポーツイベントの開催 ・健康、体力づくり教室の開催 ・クライミング教室、認定会等の開催 ・印西アスリート教室の開催 ・学校体育施設の利用促進 ・夏季休業中の学校プール開放の実施 ・スポーツ施設の維持管理 ・パークゴルフ場、フットサルパークの運営	・スポーツ教室の開催 ・市民ぐるみスポーツイベントの開催 ・健康、体力づくり教室の開催 ・クライミング教室、認定会等の開催 ・印西アスリート教室の開催 ・学校体育施設の利用促進 ・夏季休業中の学校プール開放の実施 ・スポーツ施設の維持管理 ・パークゴルフ場、フットサルパークの運営	・スポーツ教室の開催 ・市民ぐるみスポーツイベントの開催 ・健康、体力づくり教室の開催 ・クライミング教室、認定会等の開催 ・印西アスリート教室の開催 ・学校体育施設の利用促進 ・夏季休業中の学校プール開放の実施 ・スポーツ施設の維持管理 ・パークゴルフ場、フットサルパークの運営
事業費	86,685千円	88,743千円	86,453千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-6-2	体育振興費	学校体育施設開放事業
	9-6-2	体育振興費	学校プール開放事業
	9-6-2	体育振興費	社会体育施設維持管理に要する経費
	9-6-2	体育振興費	スポーツ指導者育成に要する経費
	9-6-2	体育振興費	各種スポーツ・レクリエーション大会に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	スポーツ教室については、ニュースポーツ教室6回(132名参加)、ら・ら・らスポーツ祭1回(14名参加)、クライミング教室15回(256名参加)、クライミング施設利用認定会4回(26名参加)、リフレッシュ教室70回(1,397名参加)、印西アスリート教室1回(42名参加)を開催した。 市民ぐるみのスポーツイベントであるスポーツフェスは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 学校体育施設の利用については、新型コロナウイルス感染症の影響により屋内施設の開放を一時中止したが、概ね予定通り実施できた。 夏季休業中の学校プール開放については新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 スポーツ施設の維持管理及びパークゴルフ場、フットサルパークの運営については、市民がより快適にスポーツに親しむことができるよう日々の整備、修繕に努め、施設環境を整えた。	当初予算	86,685,000円
		予算現額	63,226,000円
		決算額	57,009,530円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	スポーツ教室開催数	回	目標値	143	150	150	150	150
			実績値	97				
	学校体育施設利用団体数	団体	目標値	210	215	220	220	220
			実績値	185				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	スポーツ教室参加者数	人	目標値	3,600	3,700	3,800	3,900	4,000
			実績値	1,867				
	学校体育施設利用者数	人	目標値	5,900	6,000	6,100	6,100	6,100
			実績値	4,455				
	スポーツ施設利用者数	人	目標値	370,000	380,000	390,000	400,000	411,000
			実績値	496,843				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により目標値を下回った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により目標値を下回る指標があった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症の影響により目標値を下回る指標があるが概ね計画通り進められた。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	スポーツへの参加機会の拡充を図るため、引き続き、市民が気軽にスポーツに親しめるようスポーツ教室などを開催していく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	21
実施計画事業名	スポーツ団体や指導者への支援		担当部署名	スポーツ振興課
事業の実施目的 及び概要	市民がスポーツを行う際に適切な指導を受けることができる環境を整えるために、市スポーツ協会、市スポーツ少年団、その他スポーツ団体の活動を支援し、競技力の向上及び指導体制の強化を図ります。 また、あらゆる世代がスポーツに参加し、指導を受けることができる総合型地域スポーツクラブの設立を支援するとともに、既存クラブの育成を行います。			
関連施策	【1-8】スポーツ活動の推進	根拠法令 関連計画	スポーツ基本法、スポーツ基本計画、第12次千葉県スポーツ推進計画、印西市教育振興基本計画、いんざい子育てプラン、第2次健康印西21、第8期印西市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画	
取組方針	スポーツ団体や指導者への支援			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・団体活動への支援 ・選手等への支援 ・生涯スポーツ等指導者への支援 ・専門的指導者等の活用支援 ・市民スポーツ大会の支援 ・郡市民体育大会、印旛駅伝の選手派遣 ・スポーツ医学セミナーの開催 ・総合型地域スポーツクラブの支援・育成	・団体活動への支援 ・選手等への支援 ・生涯スポーツ等指導者への支援 ・専門的指導者等の活用支援 ・市民スポーツ大会の支援 ・郡市民体育大会、印旛駅伝の選手派遣 ・スポーツ医学セミナーの開催 ・総合型地域スポーツクラブの支援・育成	・団体活動への支援 ・選手等への支援 ・生涯スポーツ等指導者への支援 ・専門的指導者等の活用支援 ・市民スポーツ大会の支援 ・郡市民体育大会、印旛駅伝の選手派遣 ・スポーツ医学セミナーの開催 ・総合型地域スポーツクラブの支援・育成
事業費	22,534千円	22,212千円	22,212千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	9-6-2	体育振興費	スポーツ指導者育成に要する経費
	9-6-2	体育振興費	印旛郡市民スポーツ大会に要する経費
	9-6-2	体育振興費	各種スポーツ・レクリエーション大会に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	市スポーツ協会、スポーツ少年団などの活動の支援を行った。(補助金交付等) 印旛郡市スポーツ大会及び、印旛駅伝については新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 スポーツ医学セミナーを開催した。(1回・47名参加) 総合型地域スポーツクラブへの支援を行った。(活動場所の確保等) 市民大会については新型コロナウイルス感染症の影響により開催数及び参加者数が目標値を下回った。(16回・2,097名参加)	当初予算	22,534,000円
		予算現額	13,391,000円
		決算額	8,485,844円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	スポーツ団体数 (スポーツ協会・少年団)	団体	目標値	39	40	40	40	40
			実績値	38				
	郡市民スポーツ大会・印旛駅伝 参加数	種目	目標値	17	17	17	17	17
			実績値	0				
	総合型地域スポーツクラブ数	クラブ	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1				
	スポーツ医学セミナー開催数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1				
	市民大会開催数	回	目標値	34	34	34	34	34
			実績値	16				
成果指標	スポーツ団体会員数 (スポーツ協会・少年団)	人	目標値	3,500	3,520	3,540	3,560	3,580
			実績値	3,395				
	スポーツ指導者数	人	目標値	145	147	149	151	153
			実績値	141				
	総合型地域スポーツクラブ会員 数	人	目標値	99	100	105	110	115
			実績値	69				
	スポーツ医学セミナー参加人数	人	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	47				
	市民大会参加者数	人	目標値	7,400	7,450	7,500	7,550	7,600
			実績値	2,097				

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により目標値を下回る指標があった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により目標値を下回る指標があった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症の影響により目標値を下回る指標があるが概ね計画通り進められた。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市スポーツ協会、スポーツ少年団などのスポーツ団体の活動を今後も継続して支援し、選手の競技力向上や指導体制の強化を図るとともに、スポーツ団体の活動を周知し、団体や会員を増やしていく。また、各種団体と連携し、市民大会等の参加者を増やしていく。

令和3年度分 実施計画事業評価票(全体)

			事業番号	22
1. 事業の概要				
実施計画事業名	子どもが安心して成長できる環境づくりの推進		担当部署名	子育て支援課 保育課
事業の実施目的 及び概要	○子どもの健全な育成を図るため、子どもたちの放課後や週末などの安全で安心な居場所づくりに取り組むとともに、異年齢や世代間の交流や体験活動の充実を図ります。また、児童の健康増進や情緒を豊かにすることを目的とした健全育成の場を提供します。 ○子どもの現在及び将来が生まれ育った環境によって左右されることがないように、経済的な理由や家庭環境などによって困難を抱える子どもに対して、学習習慣の定着及び子どもの居場所の提供に努めます。 ○就労等により昼間保護者等監護する者がいない家庭の児童の健全育成を図るため、授業の終了した放課後及び長期休業その他学校休業日、土曜日において、家庭にかわる適切な遊び及び生活の場を提供します。 ○学童クラブへのニーズの高まりに対応するため、計画的な学童クラブの整備を図るとともに、安全で快適な保育環境を確保するため、老朽化した学童クラブの計画的な改修を実施します。			
関連施策	【2-1】子育て支援の充実	根拠法令 関連計画	児童福祉法 第2期子ども・子育て支援事業計画	
取組方針	子どもが安心して成長できる環境づくりの推進			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・子どもの学習支援事業の実施:週3回(木下地区:週2回、千葉NT地区週1回) ・児童健全育成事業(児童館、児童遊園等)の実施(児童館:4カ所、児童遊園等10カ所) ・学童クラブの実施及びサービス充実の検討 ・民間学童クラブへの補助の実施(10学童クラブ) ・民間学童クラブ設置の検討 ・指定管理者による運営(17学童クラブ) ・指定管理者選定(5学童クラブ) ・学童クラブの新設等の検討 ・牧の原第2学童クラブ新設工事設計 ・内野小学校校舎内学童クラブ改修工事 ・西の原学童クラブ解体工事	・子どもの学習支援事業の実施:週3回(木下地区:週2回、千葉NT地区週1回) ・児童健全育成事業(児童館、児童遊園等)の実施(児童館:4カ所、児童遊園等10カ所) ・学童クラブの実施及びサービス充実の検討 ・民間学童クラブへの補助の実施(11学童クラブ) ・民間学童クラブ設置の検討 ・指定管理者による運営(22学童クラブ) ・指定管理者選定(2学童クラブ) ・学童クラブの新設等の検討 ・牧の原第2学童クラブ新設工事	・子どもの学習支援事業の実施:週3回(木下地区:週2回、千葉NT地区週1回) ・児童健全育成事業(児童館、児童遊園等)の実施(児童館:4カ所、児童遊園等10カ所) ・学童クラブの実施及びサービス充実の検討 ・民間学童クラブへの補助の実施(11学童クラブ) ・民間学童クラブ設置の検討 ・指定管理者による運営(24学童クラブ) ・学童クラブの新設等の検討
事業費	437,165千円	438,629千円	438,629千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	3-3-1	児童福祉総務費	ひとり親家庭等生活向上事業
	3-3-5	児童福祉施設費	児童遊園に要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	中央駅前地域交流館児童健全育成事業活動に要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	子どもふれあいセンターに要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	そうふけ児童館に要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	いんば児童館に要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	学童クラブに要する経費
	3-3-5	児童福祉施設費	学童クラブ施設整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・生活困窮世帯及びひとり親世帯等の児童(小学校4年生から18歳まで)に対し、学習支援や居場所の提供を行うことで、基本的な日常生活習慣や学習習慣の定着を図ることができた。(小学生登録者:12人 中高生登録者:19人) ・児童館等事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため時間帯予約制で行った。児童館利用人数(そうふけ児童館2,168名)(いんば児童館2,255名)(子どもふれあいセンター4,677名)(中央駅前地域交流館2,751名) ・公立学童クラブ(23学童クラブ)の運営を行った。 ・民間学童クラブ(10学童クラブ)への運営費補助を実施。 ・民間学童クラブ(1学童クラブ)へ施設整備費の補助を実施。 ・牧の原第2学童クラブの新設工事の調整を実施。 ・内野小学校校舎内学童クラブ改修工事を行った。 ・西の原学童クラブ解体工事を行った。 ・小林第2学童クラブ改修工事を行った。 ※公設公営 6学童クラブ・公設民営(指定管理者) 17学童クラブ・民設民営 10学童クラブ 計33学童クラブ	当初予算	437,165,000円
		予算現額	469,852,000円
		決算額	411,003,575円
		翌年度繰越額	12,218,800円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	子どもの学習支援事業の実施回数(1週あたり)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3				
	児童館事業の周知(児童館だよりの配布)	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12				
	学童保育実施箇所数	箇所	目標値	33	34	35	35	35
			実績値	33				
	学童クラブ入所定員数	人	目標値	1,565	1,605	1,685	1,685	1,685
			実績値	1,570				
	学童クラブ新設・改修工事の実施数	箇所	目標値	2	1	-	-	-
			実績値	2				
成果指標	子どもの学習支援事業利用登録者数	人	目標値	30	40	40	40	50
			実績値	31				
	児童館利用件数	人	目標値	80,600	80,700	80,800	80,900	81,000
			実績値	11,851				
	学童クラブ入所児童数	人	目標値	1,565	1,605	1,685	1,685	1,685
			実績値	1,467				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	児童館利用について、感染防止対策のため人数を制限したことにより、利用件数が伸びなかった。待機児童の解消にいたらなかった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後、指定管理者制度を促進、民間学童クラブへの補助を継続的にを行い、多様な保育サービスの展開や良好な保育環境づくりを進め、児童への適切な遊び及び生活の場を提供する。 令和4年度は、印西市立牧の原小学校に2か所目の学童クラブの整備(新設工事)を行う予定。 待機児童の解消に今後も努めていく。

令和3年度分 実施計画事業評価票(全体)

			事業番号	23
1. 事業の概要				
実施計画事業名	子どもと親の健康づくりの推進と特別な支援が必要な子育て家庭への取組		担当部署名	子育て支援課、健康増進課、障がい福祉課
事業の実施目的及び概要	○子どもと保護者にとっての心身の健康は充実した生活の基本であることから、親子の健康の保持増進をより一層図るとともに、望ましい食習慣の定着を図る食育を推進します。また、乳幼児健診や専門相談等を実施し、成長発達に支援が必要な乳幼児の早期発見及び親の育児不安等に対する支援の充実を図ります。 ○ひとり親家庭は子育ての負担が大きくなる傾向があるため、相談体制の充実や生活・就業・経済的支援等を行っていきます。また、全国で児童虐待の事件が後を絶たない現状を踏まえ、今後も育児不安や虐待などの問題に早期に対応するための相談体制の整備・充実を図ります。			
関連施策	【2-1】子育て支援の充実	根拠法令 関連計画	母子保健法 第2期子ども・子育て支援事業計画	
取組方針	子どもと親の健康づくりの推進と特別な支援が必要な子育て家庭への取組			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・乳幼児健診事業 ・出産育児支援事業 ・ひとり親家庭等に対し、医療費の助成、児童扶養手当や自立支援給付金の支給、ファミリーサポートセンター利用料金の助成 ・ひとり親家庭の自立支援及び子育て家庭の不安や悩み解消に向けた相談体制の整備・充実 ・虐待防止の啓発及び関係機関との連携により早期発見・早期対応に努める。 ・巡回相談等の実施 ・知識啓発のための定期的な学習会の開催 ・発達の遅れなどのある子どもへの支援	・乳幼児健診事業 ・出産育児支援事業 ・ひとり親家庭等に対し、医療費の助成、児童扶養手当や自立支援給付金の支給、ファミリーサポートセンター利用料金の助成 ・ひとり親家庭の自立支援及び子育て家庭の不安や悩み解消に向けた相談体制の整備・充実 ・虐待防止の啓発及び関係機関との連携により早期発見・早期対応に努める。 ・巡回相談等の実施 ・知識啓発のための定期的な学習会の開催 ・発達の遅れなどのある子どもへの支援	・乳幼児健診事業 ・出産育児支援事業 ・ひとり親家庭等に対し、医療費の助成、児童扶養手当や自立支援給付金の支給、ファミリーサポートセンター利用料金の助成 ・ひとり親家庭の自立支援及び子育て家庭の不安や悩み解消に向けた相談体制の整備・充実 ・虐待防止の啓発及び関係機関との連携により早期発見・早期対応に努める。 ・巡回相談等の実施 ・知識啓発のための定期的な学習会の開催 ・発達の遅れなどのある子どもへの支援
事業費	349,408千円	355,808千円	355,808千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	3-3-1	児童福祉総務費	家庭児童相談等に要する経費
	3-3-1	児童福祉総務費	子ども虐待防止対策事業
	3-3-3	母子福祉費	ひとり親家庭等医療費等助成に要する経費
	3-3-3	母子福祉費	児童扶養手当給付事業
	3-3-3	母子福祉費	ひとり親家庭等支援事業
	3-3-5	児童福祉施設費	子ども発達センターに要する経費
	4-1-3	母子衛生費	乳幼児健診事業
	4-1-3	母子衛生費	出産育児支援事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・母子・父子自立支援相談や各種給付金の支給、医療費等の助成を実施したことにより、ひとり親家庭への福祉の増進を図った。 ・家庭児童相談業務を通して、子育てへの不安や悩みの軽減を図った。 ・周知啓発はもとより、関係機関との会議等を行い連携を図ることで、児童虐待の早期発見・早期対応に努めた。 ・乳幼児健診事業は1歳6か月児健診を1,264人、2歳児歯科健診を889人、3歳児健診を1,439人利用頂き相談等対応に努めた。 ・出産育児支援事業は、産婦健康診査・新生児聴覚スクリーニング検査が開始され、産婦健康診査は延べ1,197人・新生児聴覚スクリーニング検査が748人利用された。出産後、助産師による電話相談を1,881件対応し、乳児家庭全戸訪問事業では853件(乳児860人)訪問し、出産後の支援に努めた。 ・市内の支援が必要なお子さんに対する保育園及び幼稚園37園に対し、定期巡回を63回、延べ231人に実施した。園での対応方法やアドバイスをし、支援が必要なお子さんに対する理解が図られた。 ・学習会の開催は新型コロナの影響で実施を見合わせた為、保護者向けの研修などの情報提供を行うとともに、必要に応じ個別の相談対応を行った。 ・利用者のニーズと状況に合わせたグループを組み、それぞれに課題を設定し療育を行った。契約者124人に対し延べ3761回の療育を実施した。小集団の療育の中で問題が改善されたり生活習慣や良い行動が身についた。	当初予算	349,408,000円
		予算現額	366,077,000円
		決算額	332,122,101円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	ひとり親家庭等医療費助成の周知	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	2				
	相談事業の周知(広報への掲載)	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12				
	母子・父子自立支援員による相談事業実施日数	日	目標値	240	240	240	240	240
			実績値	242				
	乳児家庭全戸訪問事業(赤ちゃん訪問)の実施率	%	目標値	92	94	96	98	100
			実績値	95				
成果指標	ひとり親家庭等医療費助成件数	件	目標値	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600
			実績値	6,322				
	母子・父子自立支援相談件数	件	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	35				
	児童家庭相談件数	件	目標値	360	360	360	360	360
			実績値	367				
	児童虐待相談件数	件	目標値	180	180	180	180	180
			実績値	258				
	健やか親子21聞き取り項目育てにくさを感じた時に対処できる親の割合	%	目標値	85	90	95	95	95
			実績値	83				

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	児童数の増、また児童虐待についての認識の高まりにより、児童虐待相談件数が増加している。 保護者向けの研修などの情報提供を行うとともに、保護者のニーズに合わせた学習会の開催ができるよう検討していきたい。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	児童虐待防止のため、周知・啓発に努め、関係機関と連携して対応していく。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き巡回相談の実施及び利用者のニーズや状況に合わせた療育体制を整え、質の高いサービスの提供に努めます。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	24
実施計画事業名	子育て家庭への切れ目のない支援	担当部署名	子育て支援課 保育課	
事業の実施目的 及び概要	○少子化や核家族化が進む中、育児の孤立化や育児不安が大きくなる前に支援することが重要であることから、子育て家庭が身近な地域で切れ目のない支援を受けられる体制づくりを推進するとともに、子育てに関する相談体制や情報提供体制の充実に努めます。 ○良好な保育環境を確保するため、老朽化した保育園施設の計画的な改修整備を推進します。 ○公立保育園の適切な運営により、保育を必要とする保護者への支援を図るとともに、安全かつ質の高い保育サービスの提供を行います。 ○民間保育園の運営に対する補助を行い、保育サービスの充実に図ります。また、民間保育園新設に対する施設整備補助を行い、保育の受け皿拡大を図り、保育園待機児童解消を進めていきます。 ○保育を必要とする児童の受入れを行う民間保育園に対して、国が定める公定価格に基づき委託料を支出します。			
関連施策	【2-1】 子育て支援の充実	根拠法令 関連計画	第2期子ども・子育て支援事業計画	
取組方針	子育て家庭への切れ目のない支援			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・児童手当の支給及び医療費の助成 ・地域子育て支援拠点事業の実施 ・ファミリーサポートセンター事業の実施 ・子育てヘルプサービス事業の実施 ・養育支援訪問事業の実施 ・産後ケア事業の実施 ・ブックスタート事業の実施 ・子育て短期支援事業の実施 ・子育て世代包括支援センター事業の実施 ・内野保育園改修工事設計業務 ・子ども・子育て支援事業計画の推進(待機児童解消のための取り組みの実施等) ・各種保育サービスの実施(時間外保育・一時預かり・病児・病後児保育事業等) ・民間保育園の運営に対する補助 ・民間保育園新設に対する施設整備補助	・児童手当の支給及び医療費の助成 ・地域子育て支援拠点事業の実施 ・ファミリーサポートセンター事業の実施 ・子育てヘルプサービス事業の実施 ・養育支援訪問事業の実施 ・産後ケア事業の実施 ・ブックスタート事業の実施 ・子育て短期支援事業の実施 ・子育て世代包括支援センター事業の実施 ・内野保育園改修工事 ・子ども・子育て支援事業計画の推進(待機児童解消のための取り組みの実施等) ・各種保育サービスの実施(時間外保育・一時預かり・病児・病後児保育事業等) ・民間保育園の運営に対する補助 ・民間保育園新設に対する施設整備補助	・児童手当の支給及び医療費の助成 ・地域子育て支援拠点事業の実施 ・ファミリーサポートセンター事業の実施 ・子育てヘルプサービス事業の実施 ・養育支援訪問事業の実施 ・産後ケア事業の実施 ・ブックスタート事業の実施 ・子育て短期支援事業の実施。 ・子育て世代包括支援センター事業の実施 ・保育園改修工事検討 ・子ども・子育て支援事業計画の推進(待機児童解消のための取り組みの実施等) ・各種保育サービスの実施(時間外保育・一時預かり・病児・病後児保育事業等) ・民間保育園の運営に対する補助 ・民間保育園新設に対する施設整備補助
事業費	7,052,936千円	7,240,597千円	7,059,997千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	3-3-1	児童福祉総務費	ブックスタート事業、ファミリーサポートセンター事業、子育てヘルプサービス事業、養育支援訪問事業・子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業、利用者支援事業に要する経費、子育て短期支援事業に要する経費
	3-3-2	児童措置費	児童手当給付事業
	3-3-4	保育所費	保育園運営に要する経費、民間保育園の助成に関する経費、民間保育園の保育委託に関する経費、保育園施設改修事業
	3-3-5	児童福祉施設費	つどいのひろば事業、小林子育て支援センターに要する経費、中央駅前地域交流館子育て支援事業活動に要する経費、滝野子育て支援センターに要する経費
	4-1-3	母子衛生費	子ども医療費助成事業、未熟児養育医療事業、高校生等医療費助成事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・子どもの医療に要する費用の全部又は一部を助成することにより、子どもの保健対策の充実及び保護者の経済的負担を軽減することができた。 ・育児の援助を行いたい人と援助を受けたい人による会員組織への登録を行い、会員同士が相互援助活動を実施することで、子どもの預かりや送迎など地域への子育て支援の推進を図ることができた。 ・内野保育園改修工事設計業務完了 ・待機児童数増加に伴い小規模保育事業所2施設の整備及び新規認可保育園3施設を整備するとともに、既存保育園2施設の増築・改修に施設整備補助金を交付し、受け皿の拡大を図った。 ・各種保育サービスは、新型コロナウイルス感染症の影響により縮小する部分はあったが、概ね計画通りに実施 ・民間保育園の運営に対して計画どおりに補助を実施	当初予算	7,052,936,000円
		予算現額	7,498,601,000円
		決算額	7,144,911,220円
		翌年度繰越額	65,372,180円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	子ども医療費・高校生等医療費助成制度の周知(広報への掲載)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3				
	地域子育て支援拠点事業実施か所	箇所	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	24				
	ファミリーサポートセンターの提供会員	人	目標値	110	110	110	110	110
			実績値	91				
	育児相談実施か所	箇所	目標値	11	11	11	11	11
			実績値	11				
	改修工事の実施数	園	目標値	-	1	-	-	1
			実績値	-				
成果指標	子ども医療費及び高校生医療費助成件数	件	目標値	265,000	265,000	265,000	265,000	265,000
			実績値	242,747				
	地域子育て支援拠点事業利用者数	人	目標値	95,000	95,000	95,000	95,000	95,000
			実績値	49,892				
	ファミリーサポートセンター事業の利用時間	時間	目標値	2,250	2,250	2,250	2,250	2,250
			実績値	2,919				
	育児相談利用者数	人	目標値	320	320	320	320	320
			実績値	317				
	4月1日現在保育園在園児童	人	目標値	2,700	2,800	2,900	2,900	2,900
			実績値	2,748				

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	地域子育て支援拠点事業利用者数について、感染防止対策のため時間帯の予約及び人数を制限したことにより、利用件数が伸びなかった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	待機児童を大幅に減少させることができたが、更なる待機児童解消に向けて、新規認可保育園2施設の創設、既設保育園3施設の増築を実施し、受け皿の拡大を図る。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	25
実施計画事業名	子どもたちの学ぶ力を育む	担当部署名	指導課	
事業の実施目的 及び概要	3つを柱とした子どもたちの資質・能力(①生きて働く知識及び技能、②未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力など、③学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性など)を育成するため、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実を図ります。			
関連施策	【2-2】 学校教育の充実	根拠法令 関連計画	学校教育法 教育振興基本計画	
取組方針	学ぶ力を育む			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・漢字級別認定テスト、計算力認定テストの実施(各3回) ・各校で行われる授業研修会への指導主事等派遣(随時) ・教職員研修及び指導法等研修の実施 ・研究校等、特色ある教育活動を実践する学校への支援 ・学校図書館の環境整備と機能の充実 ・イングリッシュアカデミーの実施(ホップ2回、ステップ1回、ジャンプ1回) ・ALTの派遣(全幼・小中学校)及び英語教育コーディネーターの配置(全小学校) ・特別支援教育研修会の実施 ・早期就学相談の実施(希望者) ・小中学校に勤務する学習指導員・介助員を対象とした研修会の実施(2回) ・印西市生き生き体験(中学生職場体験学習)の支援	・漢字級別認定テスト、計算力認定テストの実施(各3回) ・各校で行われる授業研修会への指導主事等派遣(随時) ・教職員研修及び指導法等研修の実施 ・研究校等、特色ある教育活動を実践する学校への支援 ・学校図書館の環境整備と機能の充実 ・イングリッシュアカデミーの実施(ホップ2回、ステップ1回、ジャンプ1回) ・ALTの派遣(全幼・小中学校)及び英語教育コーディネーターの配置(全小学校) ・特別支援教育研修会の実施 ・早期就学相談の実施(希望者) ・小中学校に勤務する学習指導員・介助員を対象とした研修会の実施(2回) ・印西市生き生き体験(中学生職場体験学習)の支援	・漢字級別認定テスト、計算力認定テストの実施(各3回) ・各校で行われる授業研修会への指導主事等派遣(随時) ・教職員研修及び指導法等研修の実施 ・研究校等、特色ある教育活動を実践する学校への支援 ・学校図書館の環境整備と機能の充実 ・イングリッシュアカデミーの実施(ホップ2回、ステップ1回、ジャンプ1回) ・ALTの派遣(全幼・小中学校)及び英語教育コーディネーターの配置(全小学校) ・特別支援教育研修会の実施 ・早期就学相談の実施(希望者) ・小中学校に勤務する学習指導員・介助員を対象とした研修会の実施(2回) ・印西市生き生き体験(中学生職場体験学習)の支援
事業費	188,721千円	188,721千円	188,721千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-1-3	教育研究指導費	特別支援教育事業
	9-1-3	教育研究指導費	進路対策事業
	9-1-3	教育研究指導費	国際理解教育推進事業
	9-1-4	教育センター費	教育に関する調査・研究・開発事業
	9-1-4	教育センター費	教育情報収集・活用事業
	9-1-4	教育センター費	教職員研修事業
	9-2-2 9-3-2	教育振興費	学習指導の充実事業
	9-3-2	教育振興費	職場体験事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・漢字級別認定テスト・計算力認定テストを各年3回行い、どの回においても4000名を超える児童生徒の参加があり、取組が定着している。 ・夏季研修会については、現場のニーズや教育課題に応じた10講座を開催した。オンライン形式を中心としつつ多数の教職員が参加し、高い満足度を得た。 ・特別支援教育研修会は、特別支援コーディネーターと特別支援学級担任を対象に年1回実施し、市内の特別支援教育について共通理解を図った。 ・学習指導員・介助員を対象とした研修会は、個々のニーズに応じたきめ細かな教育的支援を行うための研修会を年2回実施した。 ・イングリッシュアカデミーホップ・ステップの事業については、2日間で合計120名の児童が参加し、外国語を使ったコミュニケーション能力の育成を図ることができた。 ・ALT13名の派遣及び英語教育コーディネーター9名の配置を通じて、幼・小・中学校での外国語教育の円滑な推進を図ることができた。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、生き生き体験として職場体験を行った中学校は1校のみとなった。	当初予算	188,721,000円
		予算現額	178,922,000円
		決算額	173,057,358円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	漢字級別認定テストの実施回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3				
	計算力認定テストの実施回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3				
	夏季研修会に参加した教職員の満足度割合	%	目標値	90	90	91	91	92
			実績値	95				
	イングリッシュアカデミージャンプ(中学生海外派遣研修)の実施回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	中止				
	就学相談を実施することが望ましいと見込まれる対象児童の割合 *2	%	目標値	5.5～6.5	5.5～6.5	5.5～6.5	5.5～6.5	5.5～6.5
			実績値	8				
成果指標	漢字級別認定テストの受検者数	人	目標値	11,000	11,110	11,221	11,333	11,447
			実績値	12,970				
	計算力認定テストの受検者数	人	目標値	10,000	10,100	10,201	10,303	10,406
			実績値	12,304				
	学校評価(授業力向上)における児童生徒の肯定的回答率	%	目標値	88	88	89	89	90
			実績値	91				
	イングリッシュアカデミージャンプ(中学生海外派遣研修)の事後追跡調査結果 *1	%	目標値	80	—	80	80	80
			実績値	90	R2年度中止	R3年度中止		
	上記の見込対象児童に対する就学相談の実施率 *2	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100				

*1 イングリッシュアカデミージャンプ(中学生海外派遣研修)を実施した2年後に行う追跡調査において、「研修経験が高校進学や将来の職業観など、進路選択に生かした」と回答した参加生徒の割合
*2 ここでは就学前児童及び就学前相談を対象としている。

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	イングリッシュアカデミージャンプ(中学生海外派遣研修)は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	実施できたものの多くで目標値を上回る実績値となっている。今後も事業内容を改善しながら継続し、児童生徒の学ぶ力の育成や教職員の指導力向上に努めていきたい。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	26
実施計画事業名	子どもたちの豊かな心を育む	担当部署名	指導課	
事業の実施目的 及び概要	子どもたちの豊かな心や創造性を涵養するため、道徳科を要とした体系的・系統的な道徳教育を推進するとともに、体験活動や多様な表現、鑑賞活動等の充実を図ります。			
関連施策	【2-2】 学校教育の充実	根拠法令 関連計画	学校教育法 教育振興基本計画	
取組方針	豊かな心を育む			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位: 千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・道徳教育授業実践研修会の実施(3回) ・人権教育研修の実施(随時) ・さわやかハートフルコンサートの開催(1回) ・小学校芸術鑑賞教室の開催(1回) ・親子での自然科学体験学習の開催(5回) ・適応指導教室の充実 ・面接相談・電話相談の充実	・道徳教育授業実践研修会の実施(3回) ・人権教育研修の実施(随時) ・さわやかハートフルコンサートの開催(1回) ・小学校芸術鑑賞教室の開催(1回) ・親子での自然科学体験学習の開催(5回) ・適応指導教室の充実 ・面接相談・電話相談の充実	・道徳教育授業実践研修会の実施(3回) ・人権教育研修の実施(随時) ・さわやかハートフルコンサートの開催(1回) ・小学校芸術鑑賞教室の開催(1回) ・親子での自然科学体験学習の開催(5回) ・適応指導教室の充実 ・面接相談・電話相談の充実
事業費	22,786千円	22,786千円	22,786千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	9-1-3	教育研究指導費	小中学校芸術文化体験事業
	9-1-4	教育センター費	学校問題対策指導員に要する経費
	9-1-4	教育センター費	自然科学体験学習事業
	9-1-4	教育センター費	教育相談事業
	9-1-4	教育センター費	適応指導教室事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・道徳教育実践研修会については、教育センターでの理論研修、各学校での授業実践研修、オンラインでの実践の評価研修を行い、各学校1名参加し、各学校の道徳教育の核となる教員の育成と資質向上を進めた。 ・学校での人権教育研修において、事例を踏まえて今日的な人権問題について考えた。 ・さわやかハートフルコンサートは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から規模を縮小して実施し、幅広い音楽活動を通して児童・生徒の豊かな情操を養うことができた。 ・小学校6年生児童を対象に小学校芸術鑑賞教室を5回に分けて開催し、狂言や落語等の古典芸能を味わい、日本の伝統芸能についての理解を深めた。 ・教育センター主催の自然科学体験は、感染状況等を踏まえて一部中止とした。オンライン科学実験講座を含め3講座を実施し、市内小中学生の保護者・児童生徒の参加があった。 ・適応指導教室には最大25名の児童生徒が在籍した。児童生徒個々の状況に応じ、心の安定に努めたり、学校との心的距離を縮めたりすることができた。 ・各学校で実施した教職員対象の学校評価アンケート結果から、心の教育の充実の設問に対して好意的回答をした割合が90%を超えている。	当初予算	22,786,000円
		予算現額	22,680,000円
		決算額	17,491,095円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	道徳教育授業実践研修会の実施回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3				
	さわやかハートフルコンサートの開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1				
	小学校芸術鑑賞教室の開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1				
	自然科学体験教室の開催回数	回	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	3				
	適応指導教室の開室日数	日	目標値	195	195	195	195	195
			実績値	193				
成果指標	学校評価(道徳・心の教育の充実)における教職員の肯定的回答率 * 1	%	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	99				
	市内全児童生徒に対するさわやかハートフルコンサート参加児童生徒数の割合	%	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	20				
	小学校芸術鑑賞教室の参加児童数	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	1,131				
	事後アンケートにおける自然科学体験教室参加者の肯定的回答率 * 2	%	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	100				
	適応指導教室に通室する児童生徒の改善率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100				

* 1 学校評価「あなたは豊かな人間性を育む心の教育の充実に向けているか」の問いに対し、「そう思う」「どちらかというとそう思う」と回答した教職員の割合

* 2 事後アンケート「今後も体験学習会に参加してみたいか」の問いに対し、「とても思う」「思う」と回答した参加者の割合

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	実施できたもののほとんどが目標値程度か上回る実績値となっている。今後も事業内容を改善しながら継続し、児童生徒の豊かな心や創造性の育成に努めていきたい。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	27
実施計画事業名	子どもたちの健やかな体を育む	担当部署名	指導課、学校給食課	
事業の実施目的 及び概要	子どもたちの運動に親しむ資質・能力の育成や体力の向上を図るため、学校体育の充実や部活動の支援に努めるとともに、バランスのとれた栄養豊かな学校給食を提供し、学校給食を活用した食に関する指導の充実を図ります。			
関連施策	【2-2】 学校教育の充実	根拠法令 関連計画	学校教育法 学校給食法 教育振興基本計画 学校保健安全法	
取組方針	健やかな体を育む			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・小学校駅伝競走大会の開催(1回) ・部活動サポート事業による指導者派遣 ・健康診断の実施 ・小児生活習慣病予防検診及び予防教室・事後指導の実施(全小中学校) ・学校歯科医、歯科衛生士等による歯科相談・ブラッシング指導の実施(全小中学校) ・栄養教室の実施(全小学校) ・家庭・地域と連携した食育の推進 ・給食献立の工夫と改善	・小学校駅伝競走大会の開催(1回) ・部活動サポート事業による指導者派遣 ・健康診断の実施 ・小児生活習慣病予防検診及び予防教室・事後指導の実施(全小中学校) ・学校歯科医、歯科衛生士等による歯科相談・ブラッシング指導の実施(全小中学校) ・栄養教室の実施(全小学校) ・家庭・地域と連携した食育の推進 ・給食献立の工夫と改善	・小学校駅伝競走大会の開催(1回) ・部活動サポート事業による指導者派遣 ・健康診断の実施 ・小児生活習慣病予防検診及び予防教室・事後指導の実施(全小中学校) ・学校歯科医、歯科衛生士等による歯科相談・ブラッシング指導の実施(全小中学校) ・栄養教室の実施(全小学校) ・家庭・地域と連携した食育の推進 ・給食献立の工夫と改善
事業費	1,460,006千円	1,460,006千円	1,460,006千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-6-1	保健体育総務費	学校保健事業
	9-6-1	保健体育総務費	日本スポーツ振興センター事業
	9-6-3	学校給食費	学校給食事務費
	9-6-3	学校給食費	中央学校給食センター事業
	9-6-3	学校給食費	牧の原学校給食センター事業
	9-6-3	学校給食費	印旛学校給食センター事業
	9-6-3	学校給食費	旧高花学校給食センター事業
	9-6-3	学校給食費	旧本埜学校給食センター事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・小学校駅伝競走大会は、応援児童の参加を見合わせるなど多少の縮小は行ったが、例年に近い形で実施することができた。 ・児童生徒の定期健康診断、小児生活習慣病予防検診及び事後指導は、感染予防対策を講じながら通常どおり実施できた。 ・歯科ブラッシング指導については、ブラッシングなどの実技は行わず、パワーポイント資料を使つての講義形式で実施した。 ・栄養教室については、小学校1学年は全校18校で実施、小学校3学年は緊急事態宣言中に予定されていた2校を除く16校で実施した。 ・学校給食実施基準に基づき、献立の工夫・改善を行い学校給食の充実に努めた。	当初予算	1,460,006,000円
		予算現額	1,473,889,000円
		決算額	1,420,904,181円
		翌年度繰越額	6,204,000円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	小学校駅伝競走大会の開催回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1				
	小学校における歯科健診の実施校数	校	目標値	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校
			実績値	全小学校				
	中学1年生における小児生活習慣病予防検診及び事後指導の実施校数	校	目標値	全中学校	全中学校	全中学校	全中学校	全中学校
			実績値	全中学校				
	小学校における栄養教室の実施校数	校	目標値	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校
			実績値	全小学校				
			目標値					
			実績値					
成果指標	大会に向けた課外活動に参加する児童数	人	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績値	1,214				
	健歯またはむし歯を治癒した児童の割合	%	目標値	85	85	85	85	85
			実績値	88				
	中学3年生時における肥満度有所見者の割合	%	目標値	9	9	9	9	9
			実績値	11				
	小学生の朝食の欠食率	%	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら目標値程度の実績を収めている。今後も感染対策をしながら事業を継続し、児童生徒の健やかな体の育成に努めていきたい。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	28
実施計画事業名	教育環境整備の充実	担当部署名	学務課 教育総務課	
事業の実施目的 及び概要	子どもたちが安全で安心できる生活を送り健やかに成長できるよう、教育環境が充実したまちを目指します。 児童・生徒数が増加する本市において、子どもたちが安全で安心できる生活を送ることができるよう学校施設や教育環境を継続的に整えます。			
関連施策	【2-3】 教育環境の整備・充実	根拠法令 関連計画	印西市教育大綱 印西市教育振興基本計画 印西市学校適正規模・適正配置基本方針 印西市第4次情報化計画	
取組方針	教育環境整備の充実			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	- 施設の改修や学級増に対応した増築 - 児童生徒の就学に対する支援 (就学援助費の支給・特別支援教育就学奨励費の支給) - 学校現場における適切な人材確保及び人員配置	- 施設の改修や学級増に対応した増築 - 児童生徒の就学に対する支援 (就学援助費の支給・特別支援教育就学奨励費の支給) - 学校現場における適切な人材確保及び人員配置	- 施設の改修や学級増に対応した増築 - 児童生徒の就学に対する支援 (就学援助費の支給・特別支援教育就学奨励費の支給) - 学校現場における適切な人材確保及び人員配置
事業費	1,270,689千円	1,300,000千円	1,300,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-1-3	教育研究指導費	きめ細かな教育の充実事業
	9-2-1	学校管理費	小学校施設整備改修事業(基金事業)
	9-2-2	教育振興費	特別支援教育就学奨励事業
	9-2-2	教育振興費	就学援助事業
	9-3-1	学校管理費	中学校施設整備改修事業(基金事業)
	9-3-2	教育振興費	特別支援教育就学奨励事業
	9-3-2	教育振興費	就学援助事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・大規模改修及び設計実施数 (原山中学校改修工事・1年目、高花小学校保全改修工事設計) ・増築工事の実施件数 (牧の原小学校校舎増築工事、滝野中学校校舎増築工事・1年目) ・児童生徒の就学に対する支援 (就学援助費の支給:332件、特別支援教育就学奨励費の支給:214件) ・学校現場における適切な人材確保及び人員配置 (学習指導員:45人、介助員:40人、日本語指導員4人)	当初予算	1,270,689,000円
		予算現額	1,302,319,000円
		決算額	798,389,721円
		翌年度繰越額	473,122,000円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	大規模改修及び設計実施数	件	目標値	2	3	3	3	3
			実績値	2				
	増築事業の実施件数	件	目標値	2	2	1	0	0
			実績値	2				
	小中学校特別教室エアコン設置の教室数	室	目標値	—	2	3	3	3
			実績値	—				
	特別支援教育支援員の配置人数	人	目標値	44	47	50	53	56
			実績値	40				
成果指標	改修実施率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100				
	増築事業の進捗率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100				
	特別教室エアコン設置率	%	目標値	—	100	100	100	100
			実績値	—				
	特別支援教育支援員の配置率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	90				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	学校施設の改修や学級増に対応した増築工事については、計画どおり実施した。また、就学援助等の経済的支援や介助員配置等の学校現場で必要とされる支援について適切に実施した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	子どもたちが安全で安心できる生活を送ることができるよう学校施設の計画的な整備や経済的支援等、適切に実施できた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	子どもたちが安全で安心できる生活を送ることができるよう学校施設の計画的な整備や経済的支援等、適切に実施できた。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	印西市学校施設長寿命化計画に則り、計画的に大規模改修等を行っていく必要がある。また、児童・生徒の急増に対応するため校舎増築等の必要がある。就学援助等の経済的支援や介助員配置等の学校現場で必要とされる支援について継続的に実施する必要がある。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	29
実施計画事業名	学校の適正規模・適正配置の推進		担当部署名	学務課
事業の実施目的 及び概要	学校規模により生じる教育指導上及び学校運営上の課題を解消し、より良い教育環境の整備と教育の質の向上を図るため、学校の適正規模・適正配置を推進します。			
関連施策	【2-3】教育環境の整備・充実	根拠法令 関連計画	学校教育法 公立小学校・中学校の適正規模・ 適正配置等に関する手引(文部科 学省) 印西市教育振興基本計画 印西市学校適正規模・適正配置基 本方針	
取組方針	学校の適正規模・適正配置の推進			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	- 学校の適正規模・適正配置の推進 - 学校適正配置審議会の開催 - 保護者説明会等の実施	- 学校の適正規模・適正配置の推進 - 学校適正配置審議会の開催 - 保護者説明会等の実施	- 学校の適正規模・適正配置の推進 - 学校適正配置審議会の開催 - 保護者説明会等の実施
事業費	3,510千円	161千円	161千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	9-1-3	教育研究指導費	学校適正配置に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・学校適正配置審議会の開催(6回) ・住民説明会等の実施 ①「船穂小学校の現状等について(お知らせ)」の配付(1回) ②「本埜中学校の現状等について(お知らせ)」の配付及び回覧(各1回) ③「船穂小学校における小規模特認校制度の導入に向けた今後の対応について(お知らせ)」の配付(1回) ④「本埜中学校における小規模特認校制度の導入に向けた今後の対応について(お知らせ)」の配付(1回)	当初予算	3,510,000円
		予算現額	3,602,000円
		決算額	3,164,096円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	印西市学校適正配置審議会の開催回数	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	6				
	保護者説明会等の開催	回	目標値	実施	実施	実施	実施	実施
			実績値	4				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
	学校適正配置の推進		目標値	学校適正配置の推進については、保護者や地域住民の理解と協力が必要不可欠であるため、目標指標は設定しない。				
			実績値					
成果指標			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	学校適正配置審議会において、第二次印西市学校適正規模・適正配置基本方針についての諮問に係る審議を行った。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から意見交換会等は開催できなかったが、関係保護者等へ船穂小学校及び本埜中学校の現状や今後の対応等についてまとめたお知らせの配付等を行った。
②成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	学校適正配置の推進については、保護者や地域住民の理解と協力が必要不可欠なため、目標は設定しない。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	令和3年9月30日に市議会において、「教育環境改善に関する請願書」が採択されたこと等を考慮し、令和3年第12回印西市教育委員会定例会において、令和5年度から船穂小学校及び本埜中学校へ小規模特認校制度を導入する方向性を決定したため、今後、学校適正配置シミュレーションの検討等が必要となる。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	令和4年度中に、学校適正配置審議会における第二次印西市学校適正規模・適正配置基本方針についての答申をいただけるよう、計画的に審議を進めていく必要がある。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	30
実施計画事業名	情報化社会に対応した教育の推進	担当部署名	学務課	
事業の実施目的 及び概要	国が提唱するGIGAスクール構想の実現に向け、情報化社会に対応した教育を実施するため、無線LANやパソコンなどのICT環境の整備を推進します。 また、研修等を通じた教員の ICT 活用指導力の向上や情報モラル教育等、ハード・ソフトの両面から情報教育の充実を図ります。			
関連施策	【2-3】教育環境の整備・充実	根拠法令 関連計画	印西市教育振興基本計画 印西市第4次情報化計画	
取組方針	情報化社会に対応した教育の推進			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・1人1台の児童生徒用パソコン等の整備(児童生徒増及び学級増分) ・ICT支援員の配置	・1人1台の児童生徒用パソコン等の整備(児童生徒増及び学級増分) ・ICT支援員の配置	・1人1台の児童生徒用パソコン等の整備(児童生徒増及び学級増分) ・ICT支援員の配置 ・校務用パソコン入替え
事業費	96,291千円	112,000千円	178,000千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
関係予算	9-1-4	教育センター費	教育情報収集・活用事業
	9-2-1	学校管理費	小学校管理運営に要する経費
	9-2-2	教育振興費	小学校ICT環境整備事業
	9-3-1	学校管理費	中学校管理運営に要する経費
	9-3-2	教育振興費	中学校ICT環境整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	令和3年度中に転入した児童生徒増分と令和4年度の児童生徒増分として770台のパソコンを購入した。また、牧の原小学校増築に伴う校内のLAN配線を行うとともに体育館へのLAN配線を併せて行い、ICT環境の整備を推進した。 GIGAスクール構想開始に伴い、ICT活用研修を行った。教育センターでの夏季研修、ICT支援員による少人数研修などを開催し、全ての学校より教員が受講した。	当初予算	96,291,000円
		予算現額	152,384,000円
		決算額	144,688,911円
		翌年度繰越額	4,477,550円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	教育用パソコン整備台数	台	目標値	355	467	409	201	174
			実績値	770				
	ICT教員研修回数	回	目標値	9	9	9	9	9
			実績値	22				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	教育用パソコン整備率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100				
	ICT教員研修参加率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	GIGAスクール構想開始に伴い、ICT活用研修を予定より多く実施し、全ての学校より教員が受講した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	コロナ禍ではあるが、教育センターでの夏季研修、ICT支援員による少人数研修などを開催し、全ての学校より教員が受講した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	1人1台の児童生徒用パソコンを整備し、また、教員の研修等を実施し、授業にICTを取り入れることにより、子どもたちの情報教育の推進につながった。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	情報教育の推進のため、引き続き、児童生徒増分のパソコン等の整備及びICT活用研修を実施する必要がある。 また、計画的に体育館や校内の無線LAN整備を進める必要がある。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	31
実施計画事業名	信頼される学校づくり	担当部署名	指導課	
事業の実施目的 及び概要	生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、自他の生命尊重を基盤として生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うため、安全に関する資質・能力を育てます。 また、社会に開かれた教育課程の実現に向け、家庭や地域に対してホームページや学校だより等を活用して、積極的に学校の状況を情報発信し、学校・家庭・地域の連携・協働を推進します。			
関連施策	【2-3】教育環境の整備・充実	根拠法令 関連計画	印西市教育振興基本計画 印西市第4次情報化計画	
取組方針	信頼される学校づくり			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	- 交通安全教室の実施(全小中学校) - 防犯教室の実施(全小中学校、幼稚園2園) - 防犯ブザーの貸与 - 自転車通学用ヘルメットの貸与 - メール配信システムの活用(全小中学校) - 印西市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路点検の実施及び関係各課・関係機関との連携 - 日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入推奨及び請求に係る事務手続き等の実施 - 学校ホームページや学校だより等を活用した学校広報の充実 - 地域ボランティアの活動支援	- 交通安全教室の実施(全小中学校) - 防犯教室の実施(全小中学校、幼稚園2園) - 防犯ブザーの貸与 - 自転車通学用ヘルメットの貸与 - メール配信システムの活用(全小中学校) - 印西市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路点検の実施及び関係各課・関係機関との連携 - 日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入推奨及び請求に係る事務手続き等の実施 - 学校ホームページや学校だより等を活用した学校広報の充実 - 地域ボランティアの活動支援	- 交通安全教室の実施(全小中学校) - 防犯教室の実施(全小中学校、幼稚園2園) - 防犯ブザーの貸与 - 自転車通学用ヘルメットの貸与 - メール配信システムの活用(全小中学校) - 印西市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路点検の実施及び関係各課・関係機関との連携 - 日本スポーツ振興センター災害共済給付制度への加入推奨及び請求に係る事務手続き等の実施 - 学校ホームページや学校だより等を活用した学校広報の充実 - 地域ボランティアの活動支援
事業費	116,065千円	116,065千円	116,065千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-1-4	教育センター費	教育情報収集・活用事業
	9-2-2	教育振興費	学習指導の充実事業
	9-3-2	教育振興費	学習指導の充実事業
	9-6-1	保健体育総務費	学校安全事業
	9-6-1	保健体育総務費	日本スポーツ振興センター事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	- 交通安全教室及び防犯教室については、新型コロナウイルス感染症の流行下ではあったが、感染対策を講じながら全校(小中学校27校)において実施することができた。 - 防犯ブザーについては、対象となる児童全員に1230個を貸与することができた。 - 自転車通学用ヘルメットは、新中学1年生の対象児童全員に貸与することができた。 - メール配信システムを全校で随時活用し、不審者情報や緊急の連絡事項を迅速に配信することができた。 - 印西市通学路交通安全プログラムに基づいた、通学路点検の実施や関係各課・関係機関との連携により通学路68か所の改善を図ることができた。 - 市内の全小中学校が学校ホームページを運営し、日常的に学校の様子を公開している。1校1日あたりのアクセス数は平均で1000件を超えており、多く閲覧されている。	当初予算	116,065,000円
		予算現額	115,932,000円
		決算額	115,575,710円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	交通安全教室の実施校数	校	目標値	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校	全小中学校
			実績値	全小中学校				
	対象者への自転車通学用ヘルメットの貸与率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100				
	メール配信システムの活用	回	目標値	随時	随時	随時	随時	随時
			実績値	3,506				
	印西市通学路交通安全プログラムに基づいた通学路点検の実施校数	校	目標値	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校	全小学校
			実績値	全小学校				
	学校HPの更新		目標値	随時	随時	随時	随時	随時
			実績値	随時				
成果指標	重大交通事故の発生件数	件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0				
	自転車通学時における重大交通事故の発生件数	件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0				
	メール配信システムへの登録率(家庭数)	%	目標値	95	95	95	96	96
			実績値	100				
	通学路の改善対応箇所(公表値)	箇所	目標値	7	7	7	7	7
			実績値	68				
	学校HPへの年間アクセス総数	件	目標値	360万件	360万件	360万件	360万件	360万件
			実績値	1,010万件				

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も事業を継続し、児童生徒の安全を確保に努めるとともに、家庭や地域への積極的な情報発信をおこなっていききたい。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	32
実施計画事業名	文化・芸術活動の推進	担当部署名	生涯学習課	
事業の実施目的及び概要	市民により豊かな心を育み生活に潤いをもたらしていただくことを目的とし、市民が様々な文化や芸術に触れることのできる環境づくりの推進を目標とします。文化・芸術振興のための施設整備や改修を計画的に行い、発表の場を確保するとともに、自主的な文化・芸術活動を積極的に支援し、市民のニーズに合った文化・芸術活動の推進に取り組みます。			
関連施策	【2-4】 歴史・文化の保護・活用と芸術活動の振興	根拠法令 関連計画	社会教育法、文化芸術振興基本法、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律、印西市文化ホールの設置及び管理に関する条例、印西市文化ホール事業基金条例、印西市教育振興基本計画、印西市公共施設適正配置アクションプラン	
取組方針	文化・芸術活動の推進			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・市民文化祭の開催 ・芸術文化活動への共催・後援 ・芸術文化振興団体との連携、運営支援 ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設(多目的ホール及びギャラリー)準備手続 ・(仮称)印西音楽祭の準備 ・文化芸術に触れる機会の提供 ・市民の自主的な文化・芸術活動の支援 ・文化ホール指定管理者制度の導入検討	・市民文化祭の開催 ・芸術文化活動への共催・後援 ・芸術文化振興団体との連携、運営支援 ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設(多目的ホール及びギャラリー)設計・建設 ・(仮称)印西音楽祭の実施 ・文化芸術に触れる機会の提供 ・市民の自主的な文化・芸術活動の支援 ・文化ホール指定管理者制度の導入検討及び手続き	・市民文化祭の開催 ・芸術文化活動への共催・後援 ・芸術文化振興団体との連携、運営支援 ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設(多目的ホール及びギャラリー)設計・建設 ・(仮称)印西音楽祭の実施 ・文化芸術に触れる機会の提供 ・市民の自主的な文化・芸術活動の支援 ・文化ホール指定管理者制度の導入
事業費	100,508千円	103,508千円	100,508千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-5-3	文化振興費	文化振興活動に要する経費
	9-5-6	文化ホール費	文化ホール施設管理に要する経費
	9-5-6	文化ホール費	文化ホール事業基金繰出金

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・第26回印西市民文化祭及びオンライン文化祭を実施した。 ・芸術文化活動への共催・後援事業等支援を行った。 ・芸術文化振興に関する各種団体との連携及び自立した運営のための助言を行った。 ・(仮称)印西音楽祭について、名称を「印西まちなか音楽祭」に決定するとともに実行委員会を立ち上げるなど令和4年度の第1回開催に向けた準備をすすめた。 ・文化ホール指定管理者制度の導入検討を行った。 ・文化ホール主催事業として鑑賞型事業を6事業実施したうち、有料事業(4事業)のチケット売上枚数は1,304枚であった。無料事業(2事業)の参加者は742名であった。	当初予算	100,508,000円
		予算現額	79,842,000円
		決算額	74,120,321円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市民文化祭への参加・出品募集の周知	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	4				
	市民文化祭開催の周知	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4				
	芸術文化活動への共催・後援の周知	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2				
	文化ホール主催事業の広報・HP掲載	回	目標値	16	16	16	16	16
			実績値	22				
	文化ホール機関情報紙の発行	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12				
成果指標	市民文化祭への参加・出品数	点	目標値	250	250	250	250	250
			実績値	308				
	市民文化祭来場者数	人	目標値	1,200	1,250	1,300	1,350	1,400
			実績値	3,652				
	芸術文化活動への共催・後援数	件	目標値	5	10	15	20	25
			実績値	21				
	文化ホール利用率 (大森図書館除く)	%	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	43				
	チケット売上率(有料公演有効 チケット枚数に対する売上枚 数)	%	目標値	80	80	80	80	80
			実績値	86				

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	市民文化祭は新型コロナウイルス感染予防のため、一部中止になったものの出品数・来場者とも目標値を上回った。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	・文化ホール指定管理者制度の導入の検討及び手続きを進めていく。 ・文化・芸術の発信拠点である文化ホールの役割を果たすべく、事業の継続を行っていく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	33
1. 事業の概要				
実施計画事業名	文化財の保護・活用の推進		担当部署名	生涯学習課
事業の実施目的及び概要	地域に対する愛着心を醸成することを目的とし、本市に残る各種の有形・無形文化財、埋蔵文化財の保護や保存及び活用を進めます。先人の残した文化遺産である本市の歴史や文化財の価値や意義を踏まえ、次世代に適切に継承していくため、資料に触れる環境整備に努めます。			
関連施策	【2-4】 歴史・文化の保護・活用と芸術活動の振興	根拠法令 関連計画	博物館法、文化財保護法、印西市立印旛歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例、印西市文化財保護条例、印西市教育振興基本計画、印西市公共施設適正配置アクションプラン	
取組方針	文化財の保護・活用の推進			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・仏像調査(印旛地区) ・石造物調査の準備(印旛地区) ・石造物調査報告書(本埜地区)の刊行準備 ・市内遺跡発掘調査及び報告書の刊行 ・市内史跡維持管理事業 ・有形・無形文化財保護に対する補助 ・貝化石分類事業の実施 ・民俗資料活用事業の実施 ・歴史民俗資料館展示・資料の収集・整理保管・調査研究・普及事業の実施 ・歴史民俗資料館研究紀要刊行 ・収蔵資料データベース化の検討	・道作1号墳調査報告書の刊行 ・仏像調査報告書(印旛地区)の刊行準備 ・石造物調査報告書(本埜地区)の刊行 ・石造物調査の実施(印旛地区) ・市内遺跡発掘調査及び報告書の刊行 ・市内史跡維持管理事業 ・有形・無形文化財保護に対する補助 ・貝化石分類事業の実施 ・民俗資料活用事業の実施 ・歴史民俗資料館展示・資料の収集・整理保管・調査研究・普及事業の実施 ・歴史民俗資料館研究紀要刊行 ・収蔵資料データベース化の検討 ・木下交流の杜歴史資料センター集約化に伴う検討	・仏像調査報告書(印旛地区)の刊行準備 ・石造物調査の実施(印旛地区) ・社寺建造物基礎調査の検討 ・市内遺跡発掘調査及び報告書の刊行 ・市内史跡維持管理事業 ・有形・無形文化財保護に対する補助 ・貝化石分類事業の実施 ・民俗資料活用事業の実施 ・歴史民俗資料館展示・資料の収集・整理保管・調査研究・普及事業の実施 ・歴史民俗資料館研究紀要刊行 ・収蔵資料データベース化の検討 ・木下交流の杜歴史資料センター集約化に伴う検討
事業費	17,266千円	40,000千円	24,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-5-3	文化振興費	文化財審議会運営に要する経費
	9-5-3	文化振興費	文化財保護調査事業
	9-5-3	文化振興費	文化財基礎調査事業
	9-5-3	文化振興費	資料整理保管に要する経費
	9-5-7	資料館費	歴史民俗資料館運営委員会に要する経費
	9-5-7	資料館費	資料館施設管理に要する経費
	9-5-7	資料館費	資料館事業活動費
	9-5-7	資料館費	資料館運営事務に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・石造物調査の準備(印旛地区) ・石造物調査報告書(本埜地区)の刊行準備 ・市内遺跡発掘調査及び報告書の刊行 ・市内史跡維持管理事業 ・有形・無形文化財保護に対する補助 ・貝化石分類事業の実施 ・民俗資料活用事業の実施 ・歴史民俗資料館研究紀要第4号刊行(400部)	・歴史民俗資料館展示・資料の収集・整理保管・調査研究・普及事業の実施 ①展示事業 常設展示において印旛沼に関する古文書の追加を実施した。 ②資料の収集・整理保管事業 寄贈で455点を受け入れ、そのほかに収蔵資料の整理、資料くん蒸を実施した。 ③調査研究事業 市内出土埴輪の調査を実施した。 ④普及事業 体験講座3講座、資料館講座1講座を実施し、74人の参加があった。 ・収蔵資料データベース化に向けて資料総数の把握、分野別の整理を実施した。	当初予算	17,266,000円
			予算現額	17,266,000円
			決算額	13,764,955円
			翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	調査報告書・パンフレットの刊行	部	目標値	600	600	600	3,300	600
			実績値	5,300				
	調査報告書・パンフレット刊行の周知	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	2				
	文化財等活用事業の周知	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	5				
	歴史民俗資料館運営事業における利用資料数	点	目標値	300	300	300	300	300
			実績値	486				
	歴史民俗資料館企画展・講座、調査等実施回数	回	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	7				
成果指標	調査報告書・パンフレットの販売・配布数	冊	目標値	300	350	350	400	350
			実績値	1,300				
	文化財等活用事業参加者数	人	目標値	50	60	70	80	90
			実績値	140				
	歴史民俗資料館収集資料数	点	目標値	65,000	65,020	65,040	65,050	65,070
			実績値	65,503				
	歴史民俗資料館入館者数	人	目標値	900	900	900	900	900
			実績値	842				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	歴史民俗資料館では新型コロナウイルス感染症感染予防のため、1講座を中止とした。 無形民俗文化財のパンフレットを刊行することとなった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	無形民俗文化財パンフレットを配布することとなった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市内文化財調査を計画的に進めて行く。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	34
実施計画事業名	市史編さん事業や地域史料の保存		担当部署名	生涯学習課
事業の実施目的 及び概要	市民の活動を記録した地域資料を次世代に引き継ぎ、郷土の歴史・文化への関心・理解・愛郷心の高揚を育むため、歴史的公文書の移管並びに歴史資料や古文書を収集し、整理・調査研究・保存に努めるとともに、その活用を図ります。 また、市史編さん事業の実施により、市の歴史的変遷を学術的かつ系統的に記述した市史を順次刊行し、市民共有の財産として後世に継承します。			
関連施策	【2-4】 歴史・文化の保護・活用と芸術活動の振興	根拠法令 関連計画	木下交流の杜歴史資料センター設置及び管理に関する条例、木下交流の杜歴史資料センター設置及び管理に関する条例施行規則、印西市史編さん事業基本方針、博物館法、文書管理法、公文書館法、国立公文書館法	
取組方針	市史編さん事業や地域史料の保存			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・古文書等の収集・整理保管 ・歴史公文書の収集・整理保管 ・市史刊行事業の実施 - 市史(通史編(近現代)の執筆)・各専門部会の資料収集・調査、市史研究誌刊行、市史刊行物頒布 ・資料のくん蒸 ・市史編さん講演会等の実施 ・常設展示の一部展示替え ・木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営	・古文書等の収集・整理保管 ・歴史公文書の収集・整理保管 ・市史刊行事業の実施 - 市史(通史編(近現代)刊行)・各専門部会の資料収集・調査、市史刊行物頒布 ・資料のくん蒸 ・市史編さん講演会等の実施 ・常設展示の一部展示替え ・木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営 ・資料館との集約化に伴う検討等	・古文書等の収集・整理保管 ・歴史公文書の収集・整理保管 ・市史刊行事業の実施 - 各専門部会の資料収集・調査、市史研究誌刊行、市史刊行物頒布 ・資料のくん蒸 ・市史編さん講演会等の実施 ・常設展示の一部展示替え ・木下交流の杜歴史資料センターの管理・運営 ・資料館との集約化に伴う検討等
事業費	13,503千円	17,475千円	15,500千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-5-7	資料館費	市史刊行事業
	9-5-7	資料館費	歴史資料センター施設管理に要する経費
	9-5-7	資料館費	歴史資料センター事業活動費
	9-5-7	資料館費	歴史資料センター運営事務に要する経費
	9-5-7	資料館費	市史編さん委員会運営に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	- 古文書等の収集・整理保管 - 歴史公文書の収集・整理保管 - 市史刊行事業の実施 - 市史(通史偏(近現代)の執筆 - 各専門部会の資料収集・調査、市史研究誌刊行、市史刊行物頒布 - 資料のくん蒸 - 市史編さん講演会等の実施 - 常設展示の一部展示替え - 木下交流の杜歴史資料センターの管理運営 上記事業について、適正に実施。	当初予算	13,503,000円
		予算現額	13,503,000円
		決算額	8,390,507円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市史編さん委員会の開催	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2				
	専門部会の開催(原始・古代)	回	目標値	—	—	—	—	2
			実績値	—				
	専門部会の開催(中世)	回	目標値	2	4	4	4	4
			実績値	2				
	専門部会の開催(近世)	回	目標値	3	3	4	4	4
			実績値	0				
	専門部会の開催(近・現代)		目標値	3	6	—	—	—
			実績値	4				
成果指標	市史刊行物等の頒布	部	目標値	58	59	61	62	62
			実績値	59				
	市史編さん講演会等の参加者数	人	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	35				
	木下交流の杜歴史資料センターの来所者数	人	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
			実績値	2,833				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染拡大により会議を開催できなかった専門部会はあったが、概ね目標値どおりの活動を行うことはできた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市史編さん講演会は開催中止となったが、市史編さん講座を開催し、概ね目標値どおりの成果は得ることはできた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染拡大防止措置の制約下の中、概ね活動及び成果に対する指標は達成することができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	事業基本方針に基づき事業を実施していく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	35
実施計画事業名	多様な学習機会の提供	担当部署名	生涯学習課	
事業の実施目的 及び概要	市民の関心や参加意欲の向上を目指し、市民アカデミーや出前講座で市民の学習に対するニーズや年齢層に合わせた多種多様な学習機会を提供するとともに、様々な生涯学習の取り組みに参加できるよう、生涯学習情報の収集に努め、生涯学習ガイドやホームページによる情報提供の充実を図ります。 また、大学や企業などとの連携・協力した事業を展開し、市民の学習機会の拡充を図ります。			
関連施策	【2-5】生涯学習の推進と青少年の健全育成	根拠法令 関連計画	印西市教育振興基本計画	
取組方針	多様な学習機会の提供			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・生涯学習ガイドの発行 ・ホームページによる情報提供 ・生涯学習講師、指導者情報の充実 ・印西市民アカデミーの実施 ・出前講座の実施 ・高等教育機関等との連携した事業の実施 ・社会教育関係団体の支援	・生涯学習ガイドの発行 ・ホームページによる情報提供 ・生涯学習講師、指導者情報の充実 ・印西市民アカデミーの実施 ・出前講座の実施 ・高等教育機関等との連携した事業の実施 ・社会教育関係団体の支援	・生涯学習ガイドの発行 ・ホームページによる情報提供 ・生涯学習講師、指導者情報の充実 ・印西市民アカデミーの実施 ・出前講座の実施 ・高等教育機関等との連携した事業の実施 ・社会教育関係団体の支援
事業費	833千円	833千円	833千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-5-1	社会教育総務費	生涯学習推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	生涯学習ガイドを300部発行した。市内各施設(支所・公民館・保育園・幼稚園・小中学校・コミュニティセンター等)に閲覧用として配置するとともにホームページにも掲載した。 出前講座については回覧・広報等により、周知を努めたが新型コロナウイルス感染症の影響により、申込数が減少してしまった。 市民アカデミーについても新型コロナウイルスの影響により、例年とプログラムを変更したが、1年生15人・年間20回、2年生24人・年間5回実施することができた。 順天堂大学生涯学習公開講座をオンラインで2講座、集合形式で2講座、計4講座実施した。15組が参加。 社会教育関係団体等が主催する事業の後援を行った。	当初予算	833,000円
		予算現額	833,000円
		決算額	439,207円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	生涯学習ガイドのホームページアクセス数	件	目標値	700	700	700	700	700
			実績値	1,262				
	出前講座講座数	件	目標値	70	70	70	70	70
			実績値	64				
	市民アカデミー開催数	回	目標値	76	76	76	76	76
			実績値	25				
	高等教育機関等との連携した講座数	件	目標値	4	5	5	6	6
			実績値	4				
			目標値					
			実績値					
成果指標	出前講座利用申込数	件	目標値	85	85	85	85	85
			実績値	23				
	出前講座利用人数	人	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
			実績値	419				
	市民アカデミー参加人数	人	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	46				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により目標値を下回る指標もあった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により目標値を下回った。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症の影響により目標値を下回った。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き、市民ニーズに対応した内容等を検討し、内容の充実について努める。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	36
実施計画事業名	図書館サービスの充実		担当部署名	生涯学習課
事業の実施目的 及び概要	市民の読書活動や学習活動を推進し、また、地域における情報やコミュニティの拠点として市民生活に役立つ施設となるよう、従来の来館型サービスの他、電子書籍の導入など非来館型サービスの充実を図り、図書館の利用を促進します。 また、利用しやすい環境整備に努めるため、施設整備のあり方などについて調査・研究します。 さらに、読書活動を深める機会の提供や読書環境の整備・充実に努め、子どもの読書活動を推進します。			
関連施策	【2-5】生涯学習の推進と青少年の健全育成	根拠法令 関連計画	図書館法、印西市立図書館設置条例、同条例施行規則、印西市教育振興基本計画、印西市子ども読書活動推進計画(第四次)、印西市公共施設等総合管理計画、印西市DX推進方針	
取組方針	図書館サービスの充実			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	- 資料の収集・管理及び提供 - 電子書籍の導入など非来館型サービスの充実 - そうふけ図書館大規模改修工事の実施 - 子ども読書活動推進計画(第4次)の策定 - ホームページ等による蔵書の公開・予約システム機能の向上 - 図書館システム更新の準備 - 大森図書館指定管理者制度導入の検討 - 図書館サービスに関する計画の検討	- 資料の収集・管理及び提供 - 電子書籍の提供など非来館型サービスの充実 - 子どもの読書活動推進 - 図書館システム更新の実施 - 小林図書館大規模改修工事 - 小倉台図書館大規模改修工事設計 - ホームページ等による蔵書の公開・予約システム機能の向上 - 大森図書館の指定管理者制度導入の検討 - 図書館サービスに関する計画の策定	- 資料の収集・管理及び提供 - ホームページ等による蔵書の公開・予約システム機能の向上 - 電子書籍の提供など非来館型サービスの充実 - 子どもの読書活動推進 - 小林図書館大規模改修工事
事業費	81,632千円	155,646千円	80,874千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	9-5-5	図書館費	図書館協議会運営に要する経費
	9-5-5	図書館費	図書館運営事務に要する経費
	9-5-5	図書館費	図書館施設管理に要する経費
	9-5-5	図書館費	図書資料の整備に要する経費
	9-5-5	図書館費	小倉台図書館立替償還金

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	- 資料の収集・管理及び提供を行った。 - 電子書籍を7月から導入するなど非来館型サービスの充実を図った。 - そうふけ図書館大規模改修工事を実施し、3月1日再開館した。 - 子ども読書活動推進計画(第4次)を策定した。 - ホームページ等による蔵書の公開・予約システム機能の向上を図った。 - 図書館システム更新の準備を行った。 - 大森図書館指定管理者制度の調査・研究を行った。 - 図書館サービスに関する計画の検討を継続的に行った。	当初予算	81,632,000円
		予算現額	81,632,000円
		決算額	75,849,572円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	図書資料受入点数	点	目標値	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
			実績値	10,406				
	内児童資料受入点数	点	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
			実績値	2,075				
	資料予約件数	件	目標値	127,000	127,100	127,200	127,300	127,400
			実績値	142,754				
	電子書籍受入点数	点	目標値	300	350	400	450	500
			実績値	350				
			目標値					
			実績値					
成果指標	個人貸出点数	点	目標値	820,000	820,500	821,000	821,500	822,000
			実績値	839,613				
	内児童資料貸出点数	点	目標値	320,000	320,200	320,400	320,400	320,800
			実績値	349,754				
	レファレンス件数 ※レファレンス-調べものを支援 するサービス	件	目標値	25,000	25,100	25,200	25,300	25,400
			実績値	17,970				
	電子書籍貸出点数	点	目標値	1,000	1,150	1,200	1,350	1,500
			実績値	1,395				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も図書館サービスの充実を図るため継続して実施する。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	37
実施計画事業名	生涯学習施設の整備・充実		担当部署名	生涯学習課
事業の実施目的及び概要	子どもから高齢者まで市民一人ひとりの多様な学習活動の実践や参画を側面から支援し、自己実現につながる生涯を通じて学習できるまちづくりを推進していきます。 そのためには、多様化する市民ニーズに対応した学習機会を提供するため、各公民館等では年齢層等に対応した事業や地域の特性を生かした事業を展開するとともに、学習の場を提供するため、だれもが安全で安心して快適に施設を使用するため、適正な施設機能の確保に努めていくこととします。			
関連施策	【2-5】生涯学習の推進と青少年の健全育成	根拠法令 関連計画	社会教育法 印西市立公民館の設置及び管理に関する条例及び規則 印西市立中央駅前地域交流館の設置及び管理に関する条例及び規則等 印西市教育振興基本計画等	
取組方針	生涯学習施設の整備・充実			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・公民館等主催事業(子ども対象、大人対象、一般教養事業等)の実施 ・団体育成事業 ・個人学習支援事業 ・貸館事業 ・施設維持管理事業 ・そうふけ公民館大規模改修工事 ・そうふけ公民館大規模改修工事監理業務委託 ・本埜公民館保全改修工事設計業務委託	・公民館等主催事業(子ども対象、大人対象、一般教養事業等)の実施 ・団体育成事業 ・個人学習支援事業 ・貸館事業 ・施設維持管理事業 ・小林公民館保全改修工事 ・小林公民館保全改修工事監理業務委託	・公民館等主催事業(子ども対象、大人対象、一般教養事業等)の実施 ・団体育成事業 ・個人学習支援事業 ・貸館事業 ・施設維持管理事業 ・小林公民館保全改修工事 ・小林公民館保全改修工事監理業務委託 ・本埜公民館保全改修工事 ・本埜公民館保全改修工事監理業務委託
事業費	1,234,357千円	695,000千円	1,216,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-5-4	公民館費	公民館運営審議会運営費
	9-5-4	公民館費	公民館等運営事務に要する経費
	9-5-4	公民館費	公民館等事業活動費
	9-5-4	公民館費	公民館等施設管理に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・公民館等主催事業(子ども対象、大人対象事業等)の実施 子ども対象事業・・・21事業、9,527人 大人対象事業・・・27事業、2,184人 共催事業・・・3事業、127人 ・団体育成事業の実施・・・136団体 ・個人学習支援事業の実施・・・2,016人 ・貸館事業の実施・・・97,772人 ・施設維持管理事業の実施 中央公民館駐車場舗装打換工事(令和3年12月～令和4年1月) 印旛公民館個別空調設置工事(令和4年2月～令和4年5月) ・そうふけ公民館大規模改修工事(令和3年3月～令和4年1月) ・本埜公民館保全改修工事設計業務の実施	当初予算	1,234,357,000円
		予算現額	1,237,662,000円
		決算額	1,064,499,753円
		翌年度繰越額	445,000円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	主催事業実施数	事業	目標値	70	75	70	75	80
			実績値	51				
	公民館定期利用団体数(利用者登録団体)	団体	目標値	230	240	240	240	240
			実績値	136				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	主催事業参加者数	人	目標値	24,000	24,000	23,800	24,700	25,000
			実績値	11,838				
	公民館利用者数(延べ総数)	人	目標値	200,000	226,000	220,000	235,000	242,000
			実績値	111,626				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により目標値を下回った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により目標値を下回った。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症の影響により目標値を下回った。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で事業参加者の定員を減らしたり、また公民館利用者も減少したが、今後も新型コロナウイルスの影響を踏まえ、事業内容を見直し・検討しながら事業を計画していく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	38
実施計画事業名	家庭と地域の教育力の向上と青少年の健全育成	担当部署名	生涯学習課	
事業の実施目的 及び概要	子どもたちを地域ぐるみで守り育てるために、学校・家庭・地域との連携を図り、青少年の健全な育成にむけた活動を行います。 また、家庭における教育力の向上を目指し、市内公立幼稚園・小中学校の初年度の保護者を対象に家庭教育学級を開設します。			
関連施策	【2-5】生涯学習の推進と青少年の健全育成	根拠法令 関連計画	社会教育法 印西市教育振興基本計画 新・放課後子ども総合プラン 次世代育成支援対策推進法他	
取組方針	家庭と地域の教育力の向上と青少年の健全育成			
総合戦略	基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・こども110番運営委員会への支援 ・青少年健全育成大会の実施 ・青少年相談員への事業支援 ・放課後子ども教室事業の実施 ・地域ぐるみさわやかコミュニティ推進委員会運営事業への支援 ・家庭教育学級の開設 ・地域学校協働活動の調査・研究	・こども110番運営委員会への支援 ・青少年健全育成大会の実施 ・青少年相談員への事業支援 ・放課後子ども教室事業の実施 ・地域ぐるみさわやかコミュニティ推進委員会運営事業への支援 ・家庭教育学級の開設 ・地域学校協働活動の調査・研究	・こども110番運営委員会への支援 ・青少年健全育成大会の実施 ・青少年相談員への事業支援 ・放課後子ども教室事業の実施 ・地域ぐるみさわやかコミュニティ推進委員会運営事業への支援 ・家庭教育学級の開設 ・地域学校協働活動の検討
事業費	4,364千円	4,900千円	4,750千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	9-5-2	青少年対策費	青少年相談員運営に要する経費
	9-5-2	青少年対策費	青少年対策事業活動費
	9-5-2	青少年対策費	家庭教育学級事業
	9-5-2	青少年対策費	放課後子ども教室に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	こども110番の看板・ステッカーの配布を行った。 青少年健全育成大会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。 青少年相談員連絡協議会事業、地域ぐるみさわやかコミュニティ推進委員会事業及び家庭教育学級事業の支援として補助金を交付した。 家庭教育学級について必修学級29学級、任意開設の学年学級4学級を開設した。各学級3～5回程度の学習会を開催し、1051名が参加した。 放課後子ども教室については滝野小学校、本埜小学校で開設し、計16回実施し、73人が参加した。	当初予算	4,364,000円
		予算現額	4,364,000円
		決算額	2,397,577円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	放課後子ども教室開催数	回	目標値	24	36	36	36	36
			実績値	16				
	家庭教育学級講座開催総数	回	目標値	270	270	270	270	270
			実績値	95				
	家庭教育学級開設学級数	学級	目標値	42	42	42	42	42
			実績値	33				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	こども110番協力家庭・事業所数	件	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
			実績値	1,466				
	放課後子ども教室参加児童数	人	目標値	90	110	110	110	110
			実績値	73				
	家庭教育学級講座参加者数	延べ人数	目標値	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900
			実績値	1,051				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により目標値を下回った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により目標値を下回った。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症の影響により目標値を下回った。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	家庭と地域の教育力の向上と青少年の健全育成の推進のため、事業を継続する。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	39
実施計画事業名	農業の担い手の確保		担当部署名	農政課
事業の実施目的 及び概要	農業従事者の高齢化や後継者不足に伴う農地の荒廃等を防ぐため、関係団体と連携を図り、意欲ある担い手への優良農地の利用集積を進めます。			
関連施策	【3-1】農林業の振興	根拠法令 関連計画	農地中間管理事業の推進に関する法律 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想 印西市農業振興地域整備計画	
取組方針	担い手の確保			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	- 新規就農者への支援 - 農業版ハローワーク事業 - 農地中間管理事業	- 新規就農者への支援 - 農業版ハローワーク事業 - 農地中間管理事業	- 新規就農者への支援 - 農業版ハローワーク事業 - 農地中間管理事業
事業費	9,930千円	9,930千円	9,930千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	5-1-3	農業振興費	新規就農促進事業
	5-1-3	農業振興費	農地中間管理事業に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・農業次世代人材投資資金 4経営体(うち夫婦型1経営体) 4,822,098円 ・農業版ハローワーク事業研修2回 新規求人登録者 1名 新規求職登録者 19名 ・農地中間管理事業(農地中間管理機構による貸借) 借受面積6ha 転貸面積4ha ・農地集積・集約化対策事業(経営転換協力金) 1人 348,000円	当初予算	9,930,000円
		予算現額	8,628,000円
		決算額	5,200,098円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	農業次世代人材投資資金事業 の周知	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1				
	農業版ハローワーク事業に係 る研修会の開催	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2				
	農地中間管理事業の周知	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	5				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	農業次世代人材投資資金交付 者数	延べ経営 体数	目標値	11	12	13	14	15
			実績値	11				
	農業版ハローワーク事業の求 職登録者数	人数	目標値	40	42	44	46	48
			実績値	50				
	農地中間管理事業のマッチン グ面積	延べ面積 (ha)	目標値	70	71	72	73	74
			実績値	81				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	農業従事者の高齢化や後継者不足に伴う農地の荒廃等を防ぐには、新規就農者対策や農地の集積・集約化対策が必要であり、各種事業を実施していくことで、その対策に取り組んでいく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	40
実施計画事業名	農業経営への支援	担当部署名	農政課	
事業の実施目的 及び概要	農業経営の安定化を図るため、認定農業者や新規就農者等の担い手に対する栽培施設整備等への支援を行います。 また、農作物被害の防止対策、主食用米の需給バランスを図るための新規需要米等への作付け、家畜の疾病問題等の経営環境面の改善や畜産物の品質向上への支援を行います。			
関連施策	【3-1】農林業の振興	根拠法令 関連計画	農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想	
取組方針	農業経営への支援			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・認定農業者等への各種補助事業 ・植物防疫事業 ・担い手水田利活用高度化対策事業 ・飼料用米等生産拡大支援事業 ・経営所得安定対策等推進事業 ・農業制度資金利子補給事業 ・家畜伝染病予防事業	・認定農業者等への各種補助事業 ・植物防疫事業 ・担い手水田利活用高度化対策事業 ・飼料用米等生産拡大支援事業 ・経営所得安定対策等推進事業 ・農業制度資金利子補給事業 ・家畜伝染病予防事業	・認定農業者等への各種補助事業 ・植物防疫事業 ・担い手水田利活用高度化対策事業 ・飼料用米等生産拡大支援事業 ・経営所得安定対策等推進事業 ・農業制度資金利子補給事業 ・家畜伝染病予防事業
事業費	40,485千円	40,485千円	40,485千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大予算)
関係予算	5-1-3	農業振興費	園芸振興事務に要する経費
	5-1-3	農業振興費	植物防疫事業
	5-1-3	農業振興費	多目的水田農業推進事業
	5-1-3	農業振興費	農業経営基盤強化促進事業
	5-1-4	畜産業費	家畜防疫事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・認定農業者・新規就農者連絡会議の開催 1回 ・認定農業者に係る農業経営改善計画認定申請書作成会の開催 10回 ・農用地の利用集積(新規利用権設定面積34ha) ・農業制度資金利子補給 2件 109,600円 ・家畜防疫協会への支援・指導 家畜防疫事業補助金 88,251円 ・予防接種等 139頭 ・環境衛生資材配布及び環境指導 6戸 ・畜産の啓発、消費拡大活動 印旛郡市畜産振興協議会負担金 25,000円 ・畜産農家の経営、運営指導 (社)千葉県畜産協会会費 7,800円	当初予算	40,485,000円
		予算現額	158,575,000円
		決算額	154,942,302円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	飼料用米取組への周知	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	飼料用米取組面積	ha	目標値	65	71	71	71	71
			実績値	534				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	新型コロナウイルス感染拡大による、米価の低迷を受けて、飼料用米取組農家が急増した。
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	農業者の農業経営の安定化等を図るため、引き続き、各種事業により栽培施設整備や経営環境面の改善、畜産物の品質向上への支援を行っていく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	41
実施計画事業名	農業生産基盤の整備		担当部署名	農政課
事業の実施目的 及び概要	機能低下した農業の用排水施設の改善や農業の効率化と生産性の向上を図るため、関係団体と連携を図りながら、土地改良施設の改修や農地の面整備等を行う土地改良事業実施主体への支援等により、農業生産基盤の整備に努めます。			
関連施策	【3-1】農林業の振興	根拠法令 関連計画	農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想	
取組方針	農業生産基盤の整備			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・国営総合農地防災事業(手賀沼地区) ・国営印旛沼二期土地改良事業 ・小規模土地改良事業による農業者等への支援 ・手賀沼地区県営担い手育成基盤整備事業 ・土地改良施設維持管理適正化事業(飛里橋落し排水路整備)	・国営総合農地防災事業(手賀沼地区) ・国営印旛沼二期土地改良事業 ・小規模土地改良事業による農業者等への支援 ・手賀沼地区県営担い手育成基盤整備事業 ・土地改良施設維持管理適正化事業(飛里橋落し排水路整備)	・国営総合農地防災事業(手賀沼地区) ・国営印旛沼二期土地改良事業 ・小規模土地改良事業による農業者等への支援 ・手賀沼地区県営担い手育成基盤整備事業 ・土地改良施設維持管理適正化事業(飛里橋落し排水路整備)
事業費	7,530千円	6,859千円	20,696千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	5-1-5	農地費	土地基盤整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・国営総合農地防災事業(手賀沼地区)の同意徴集の実施 ・国営印旛沼二期土地改良事業に係る国等との連絡調整及び地元対応 ・小規模土地改良事業補助金 14経営体及び3土地改良区 5,156,652円 ・干拓第二工区県営担い手育成基盤整備事業負担金 61,334円 ・土地改良施設維持管理適正化事業(飛里橋落し排水路整備) 新規加入支援業務委託 407,000円 令和2年度加入分 798,000円 令和3年度加入分 804,000円	当初予算	7,530,000円
		予算現額	7,342,000円
		決算額	7,226,986円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	小規模土地改良事業補助金の周知	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	3				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	小規模土地改良事業実施率	%	目標値	80	80	80	80	80
			実績値	99				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	機能低下した農業の用排水施設の改善や農業の効率化と生産性の向上を図るため、引き続き、各種事業による支援等を行い、農業生産基盤の整備に努めていく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	42
実施計画事業名	農林業を通じた地域振興		担当部署名	農政課
事業の実施目的 及び概要	市民の農業への理解と関心を高めるため、農業に親しむ機会を設けるとともに、地元農産物の消費拡大や安全・安心な農産物づくりに関わる取組を支援します。 また、農村環境を保全するため、農地や用排水施設の管理活動や森林の保全に取り組む活動に対し支援等を行います。			
関連施策	【3-1】農林業の振興	根拠法令 関連計画	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律	
取組方針	農林業を通じた地域振興			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・多面的機能支払交付金事業 ・環境保全型農業直接支援対策事業 ・産業まつりの開催 ・ふるさと農園の開園や農業体験教室等の実施 ・農産物地産地消推進事業 ・緑化・森林整備活動事業	・多面的機能支払交付金事業 ・環境保全型農業直接支援対策事業 ・産業まつりの開催 ・ふるさと農園の開園や農業体験教室等の実施 ・農産物地産地消推進事業 ・緑化・森林整備活動事業	・多面的機能支払交付金事業 ・環境保全型農業直接支援対策事業 ・産業まつりの開催 ・ふるさと農園の開園や農業体験教室等の実施 ・農産物地産地消推進事業 ・緑化・森林整備活動事業
事業費	35,440千円	35,440千円	35,440千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	5-1-3	農業振興費	多面的機能・環境保全向上対策事業
	5-1-3	農業振興費	産業まつりに要する経費
	5-1-3	農業振興費	ふるさと農園振興事業
	5-1-3	農業振興費	地産地消推進事業
	5-2-1	林業振興事務に要する経費	林業振興事務に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・多面的機能支払交付金(農地維持支払) 12団体 50,623a 14,295,660円 ・環境保全型農業直接支援対策事業補助金 1団体 98a 117,600円 ・草深ふるさと農園の管理・運営 290区画中284区画を貸出し。 栽培指導員の配置 2人 115,000円 - 土地賃借料及び維持管理費用 1,681,415円 ・さおろし体験農園の管理・運営 芋ほり体験(3保育園、2幼稚園、5小学校、1教育センター、1中学校) 管理業務委託及び維持管理費用 1,340,662円 ・農業体験教室の実施 3小学校 ・印西農産物地産地消推進事業補助金 3団体 242,193円	当初予算	35,440,000円
		予算現額	30,405,000円
		決算額	28,892,248円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	多面的機能支払交付金事業の周知	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	4				
	ふるさと農園の利用案内	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1				
	農業体験教室の開催 (ミニトマト・イモ収穫体験)	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	3				
	ちばエコ農業の啓発	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	2				
			目標値					
			実績値					
成果指標	多面的機能支払交付金事業活動団体数	団体数	目標値	11	12	13	14	15
			実績値	12				
	ふるさと農園利用率	%	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	100				
	農業体験教室の参加人数 (ミニトマト・イモ収穫体験)	人	目標値	400	400	400	400	400
			実績値	976				
	ちばエコ農産物認証件数	件	目標値	20	21	22	23	24
			実績値	22				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市民の農業への理解と関心や農村環境を保全していくために、引き続き、各種事業に取り組んでいく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	43
実施計画事業名	商工業の活性化		担当部署名	経済振興課
事業の実施目的 及び概要	企業経営の安定化、事業継続などが図られるよう市商工会などの関係機関との連携により、企業への支援事業を推進します。また、企業の設備投資や事業の拡大などに向けて、制度融資や利子補給などの経済的支援を行います。 さらに、地域の活性化を図るため、市にゆかりのある地元産品や特産品などを開発するために必要な支援を行います。			
関連施策	【3-2】商工業の振興	根拠法令 関連計画	経営発達支援計画	
取組方針	商工業の活性化/新たな地元産品の開発の支援			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・市商工会への支援 ・中小企業資金融資 ・小規模事業者経営改善資金利子補給金 ・いんざいふるさと地元産品の周知	・市商工会への支援 ・中小企業資金融資 ・小規模事業者経営改善資金利子補給金 ・いんざいふるさと地元産品の周知	・市商工会への支援 ・中小企業資金融資 ・小規模事業者経営改善資金利子補給金 ・いんざいふるさと地元産品の周知
事業費	45,284千円	45,284千円	45,284千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	6-1-2	商工振興費	商工振興対策事業
	6-1-2	商工振興費	中小企業資金融資事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・中小企業資金融資利子補給28件 ・小規模事業者経営改善利子補給39件 ・商工会事業へ補助金の交付 ・商工会経営指導員による相談及び指導1,868回	当初予算	45,284,000円
		予算現額	45,284,000円
		決算額	39,148,099円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	融資についての記事を広報紙・HPに掲載	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	5				
	いんざいふるさと地元産品の広報紙・HP掲載	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	1				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	中小企業資金融資利子補給	件	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	28				
	小規模事業者経営改善利子補給	件	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	39				
	商工会経営指導員による相談及び指導	回	目標値	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
			実績値	1,868				
	いんざいふるさと地元産品の新規登録数	件	目標値	—	—	1	1	2
			実績値	—				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	いんざいふるさと地元産品についての周知・啓発が不足した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルスの影響に対する金融支援として、より低金利な融資制度が設けられていることから、新規の融資の申し込みが減少していると思われる。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	商工会経営指導員による相談及び指導は目標値を上回ることができたが、いんざいふるさと地元産品の周知・啓発は不足した。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	周知・啓発に努め、商工業の振興に努める。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	44
実施計画事業名	創業・起業の支援と企業誘致	担当部署名	経済振興課	
事業の実施目的 及び概要	県や商工会、大学などの関係機関と連携し、創業・起業希望者に対して創業セミナーや相談事業などを行い、市内への創業・起業を促進します。また、成田国際空港や都心などへのアクセス性や安全性など地理的優位性を積極的にPRし、誘致活動を推進します。			
関連施策	【3-3】 起業・雇用の促進	根拠法令 関連計画	創業支援等事業計画	
取組方針	企業誘致の実施/創業・起業の支援			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・印西市商工会主催のいんざい創業塾の後援 ・千葉県信用保証協会主催の創業支援セミナーの後援 ・創業資金利子補給補助金 ・アクセス性や安全性など地理的優位性をPRする。 ・優良企業への誘致活動 ・市内に進出した企業への新たな優遇制度に取り組む	・印西市商工会主催のいんざい創業塾の後援 ・千葉県信用保証協会主催の創業支援セミナーの後援 ・創業資金利子補給補助金 ・アクセス性や安全性など地理的優位性をPRする。 ・優良企業への誘致活動 ・市内に進出した企業への新たな優遇制度に取り組む	・印西市商工会主催のいんざい創業塾の後援 ・千葉県信用保証協会主催の創業支援セミナーの後援 ・創業資金利子補給補助金 ・アクセス性や安全性など地理的優位性をPRする。 ・優良企業への誘致活動 ・市内に進出した企業への新たな優遇制度に取り組む
事業費	80,428千円	80,428千円	80,428千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	6-1-2	商工振興費	中小企業資金融資事業
	6-1-2	商工振興費	商工振興対策事業
	6-1-2	商工振興費	企業誘致推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・創業支援資金利子補給3件 ・創業支援セミナーの周知2回 ・創業についての相談及び指導31件	当初予算	80,428,000円
		予算現額	80,428,000円
		決算額	74,289,399円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	いんざい創業塾や創業支援セミナーの周知	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	2				
	地理的優位性をPR	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	0				
	優良企業への誘致活動	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	2				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	いんざい創業塾や創業支援セミナーの参加人数	人	目標値	45	45	45	45	45
			実績値	6				
	創業資金利子補給補助金	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	3				
	創業についての相談及び指導	件	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	31				
	新規企業数(経済振興課調べ)	社	目標値	150	150	150	150	150
			実績値	152				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、創業塾を中止にしたことによる減。また、印西市商工会が実施する市内空き店舗に出店しようとする者などに対する賃借料補助の実績が2件あった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、創業塾を中止にしたことによる減。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、新規の融資申し込みが減少したと思われる。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市商工会が主催する創業者向けのセミナーなどを周知するほか、創業者向けの融資制度などについて案内をしていく。また、成田空港や都心などへのアクセス性や安全性など地理的優位性をPRし、誘致活動を推進するよう努める。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	45
実施計画事業名	就労支援の充実		担当部署名	経済振興課
事業の実施目的 及び概要	ハローワーク成田などの関係機関との連携を図るとともに、本市の就労支援サイト「いんざいお仕事探しナビ」などの就労に関する情報提供の充実を図ります。また、若者、女性、高齢者、障がいのある人等、誰もがそれぞれの意欲や能力を生かしライフスタイルに合わせて働くことができるように、ワークライフバランスや働き方改革について、市民及び企業に意識啓発を図ります。			
関連施策	【3-3】 起業・雇用の促進	根拠法令 関連計画	経営発達支援計画 創業支援等事業計画	
取組方針	就労支援の充実/働きやすい環境づくりの推進			
総合戦略	基本目標① 安定した雇用を創出する			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・就労に関する情報提供 ・就労セミナーの開催 ・就労支援サイト「いんざいお仕事探しナビ」の運営 ・ワークライフバランスや働き方改革についての周知	・就労に関する情報提供 ・就労セミナーの開催 ・就労支援サイト「いんざいお仕事探しナビ」の運営 ・ワークライフバランスや働き方改革についての周知	・就労に関する情報提供 ・就労セミナーの開催 ・就労支援サイト「いんざいお仕事探しナビ」の運営 ・ワークライフバランスや働き方改革についての周知
事業費	15,257千円	15,257千円	15,257千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	6-1-2	商工振興費	商工振興対策事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・ハローワーク成田・松戸・船橋の求人情報を提供 ・就労支援サイト「いんざいお仕事探しナビ」の運営 ・就労支援セミナー2回	当初予算	15,257,000円
		予算現額	15,257,000円
		決算額	12,503,000円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	就労支援セミナー開催回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	2				
	就労支援に関する情報提供	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	48				
	ワークライフバランスや働き方 改革についてのセミナー開催回 数	回	目標値	—	1	1	1	1
			実績値	—				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	就労支援セミナー参加者数	人	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	35				
	新規就労支援サイト登録事業 所数	事業所	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	46				
	ワークライフバランスや働き方 改革についてのセミナー参加者 数	人	目標値	—	20	20	20	20
			実績値	—				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の拡大のため、就労支援セミナーが中止となった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の拡大のため、就労支援セミナーが中止となった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き、就労支援に関する情報の提供や就労支援セミナーの充実を図るとともに、ワークライフバランスや働き方改革についても、市民及び企業に意識啓発を図っていく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	46
実施計画事業名	シティプロモーションの推進	担当部署名	経済振興課	
事業の実施目的 及び概要	地域の貴重な財産である人や自然、文化、産業、都市基盤などの「まちの魅力」を磨き上げるとともに、新たな魅力を創出することにより、選び続けてもらうためのまちづくりを行います。また、効果的かつ積極的に市内外にプロモーションしていくことで、「移住促進による人口増」、「定住促進による定着化」、「交流促進による流入増」につなげていきます。 また、東京2020オリンピック・パラリンピックの事前キャンプを受け入れることにより、オリンピック・パラリンピックの機運を高め、異文化理解や国際交流の促進につなげていきます。			
関連施策	【3-4】 定住交流の促進	根拠法令 関連計画	印西市シティプロモーションプラン	
取組方針	シティプロモーションの推進			
総合戦略	基本目標② 新しいひとの流れをつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・シティプロモーションプランの進行管理 ・シティプロモーション支援業務 ・ふるさと納税を活用した市のPR ・プロモーションイベントの実施 ・市内外のイベントでのプロモーション実施 ・市のマスコットキャラクターによるPR ・東京2020オリンピック・パラリンピック各種競技事前キャンプ	・シティプロモーションプランの進行管理 ・シティプロモーションコンテンツ支援業務 ・ふるさと納税を活用した市のPR ・プロモーションイベントの実施 ・市内外のイベントでのプロモーションの実施 ・市のマスコットキャラクターによるPR ・WEB調査	・シティプロモーションプランの進行管理 ・シティプロモーションコンテンツ支援業務 ・ふるさと納税を活用した市のPR ・プロモーションイベントの実施 ・市内外イベントでのプロモーションの実施 ・市のマスコットキャラクターによるPR
事業費	150,060千円	78,000千円	80,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-6	企画費	シティプロモーションに要する経費
	2-1-6	企画費	東京オリンピック・パラリンピック誘致等推進に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	市内外へのプロモーションについて、シティプロモーション支援業務による印西市アニメの制作やかるたの制作、イルミネーションイベント「イルミライ★INZAI」の実施、各種イベントでのいんざい君グッズの販売等を行いました。 また、順天堂大学とプロモーションに関する連携協定を行い、順天堂大学陸上競技部男子駅伝チームのユニフォームに印西市のロゴを表示し、市の知名度の向上を図りました。 東京2020オリンピックの事前キャンプについては、順天堂大学と連携し、体操競技のアメリカ女子代表チーム、オランダ男子及び女子代表チーム、アイルランド男子選手の事前キャンプを受け入れました。	当初予算	150,060,000円
		予算現額	112,400,000円
		決算額	106,865,160円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	マスコミへの情報提供	件	目標値	60	63	66	69	72
			実績値	53				
	ふるさと納税返礼品目数	件	目標値	30	32	34	36	38
			実績値	45				
	プロモーション事業数	件	目標値	10	12	14	16	18
			実績値	11				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	ふるさと納税件数	件	目標値	744	772	805	844	890
			実績値	700				
	シティプロモーション専用ホームページアクセス数	件	目標値	160,000	170,000	180,000	190,000	200,000
			実績値	181,551				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	返礼品の種類を増やし、市の魅力を持たせることが出来た。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	アニメ等の映像を公開し、アクセス数を伸ばすことが出来た。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	シティプロモーションプランに沿って、「移住促進による人口増」、「定住促進による定住化」、「交流促進による流入増」を目指し、効果的なプロモーションを実施していく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	47
実施計画事業名	国際化の推進		担当部署名	企画政策課
事業の実施目的 及び概要	外国人を含めたすべての市民が互いの文化や価値観を受け入れ、理解しあいながら、ともにいきいきと暮らせる多文化共生のまちづくりを進めていくため、日本人の多文化共生意識の醸成や外国人が安心して暮らせる取組等を推進します。			
関連施策	【3-4】 定住交流の促進	根拠法令 関連計画	印西市国際化推進方針	
取組方針	国際化の推進			
総合戦略	基本目標② 新しいひとの流れをつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・国際化推進懇談会の開催 ・多様な市民を対象とした異文化理解推進事業の実施 ・市民主体の国際理解・交流事業の活動支援 ・外国人市民相談事業の実施 ・外国人市民への生活・行政情報の提供 ・日本語教室の活動支援	・国際化推進懇談会の開催 ・多様な市民を対象とした異文化理解推進事業の実施 ・市民主体の国際理解・交流事業の活動支援 ・外国人市民相談事業の実施 ・外国人市民への生活・行政情報の提供 ・日本語教室の活動支援	・国際化推進懇談会の開催 ・多様な市民を対象とした異文化理解推進事業の実施 ・市民主体の国際理解・交流事業の活動支援 ・外国人市民相談事業の実施 ・外国人市民への生活・行政情報の提供 ・日本語教室の活動支援
事業費	1,346千円	1,380千円	1,380千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-6	企画費	国際化推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	国際化推進懇談会は新型コロナウイルス感染防止のため1回中止とした。異文化理解講座及び職員研修については、新型コロナウイルス流行時にはオンラインを活用し、予定通り実施することができた。コロナ禍でも感染対策を施し、できる範囲で事業を実施する中で、昨年度に比べると全体的に参加者が増加し、事業にも活気がみられるようになった。	当初予算	1,346,000円
		予算現額	1,286,000円
		決算額	1,113,311円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	国際化推進懇談会の開催	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	1				
	異文化理解講座の開催	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	7				
	職員研修の実施	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1				
	外国人相談の開催周知	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12				
	NEWSLETTER及び「外国人のみなさんへ」の発行	回	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	24				
成果指標	異文化理解講座の参加者数	延べ人数	目標値	170	170	170	170	170
			実績値	371				
	職員研修の参加者数	延べ人数	目標値	30	30	30	30	30
			実績値	28				
	国際理解・交流事業の参加者数	延べ人数 (語学講座は実数)	目標値	250	250	250	250	250
			実績値	288				
	NEWSLETTERの配布・閲覧件数	件	目標値	2,400	2,410	2,420	2,430	2,440
			実績値	2,955				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	国際化推進懇談会は、新型コロナウイルスの影響により目標値を下回った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	外国人人口は今後も増加が続くと考えられることから、市民と市が連携協力し、多文化共生のまちづくりに向けた取組を積極的に進めていく必要がある。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	48
実施計画事業名	観光資源の活用による地域の活性化	担当部署名	経済振興課、企画政策課、都市整備課	
事業の実施目的及び概要	点在する文化財や市を囲む水資源、商業施設を再評価するとともに、地域に眠る観光資源の発掘や新たな魅力を発見します。また、それぞれを結ぶ観光モデルコースやガイドマップなどの充実を図り、市内の周遊や商業施設の誘客を図り、活性化につなげていきます。			
関連施策	【3-5】観光資源の活用と観光の振興	根拠法令 関連計画	木下駅南口公共用地活用検討方針	
取組方針	観光資源の活用による地域の活性化 /観光資源の創出/観光資源の周知			
総合戦略	基本目標② 新しいひとの流れをつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・大六天再整備事業(設計業務) ・観光施設の維持管理 ・観光イベントへの支援 ・観光情報の発信 ・観光モデルコース等の検討・準備 ・観光協会への支援 ・各種協議会との協議 ・(仮称)にぎわい広場整備に係る測量・設計	・大六天再整備事業(工事) ・観光施設の維持管理 ・観光イベントへの支援 ・観光情報の発信 ・観光モデルコース等の作成及び次年度計画の検討・準備 ・観光協会への支援 ・(仮称)にぎわい広場整備工事	・観光施設の維持管理 ・観光イベントへの支援 ・観光情報の発信 ・観光モデルコース等の作成及び次年度計画の検討・準備 ・観光協会への支援 ・(仮称)にぎわい広場整備工事
事業費	67,596千円	935,000千円	130,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	6-1-2	商工振興費	観光資源の管理運営
	6-1-2	商工振興費	観光支援事業
	6-1-2	商工振興費	観光施設維持管理事業
	7-3-3	公園費	(仮称)にぎわい広場整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・花見時期の警備、ホームページ上での広報、仮設駐車場の設置、仮設トイレ設置および管理、ごみ処理等を行った。 ・大六天の例年業務である草刈、清掃を行った。また、令和3年度は法面整備を行い赤道の復元を行うとともに、永治小プール跡地駐車場計画の設計を行った。 ・きおろし水辺の広場の管理、草刈、植栽剪定を行った。 ・観光協会の舟運事業、軽トラ市、フォトコンテスト事業等に対する補助を行った。 ・柏、我孫子との3市連携周遊事業の構成市として、コンセプトを絞った広域マップを作製した。 ・(仮称)にぎわい広場整備に係る測量、設計を実施した。	当初予算	67,596,000円
		予算現額	36,210,000円
		決算額	34,067,004円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	観光イベント等に係る観光協会との打ち合わせ回数	回	目標値	3	4	5	6	7
			実績値	3				
	市内外の観光イベント参加回数	回	目標値	3	3	4	4	5
			実績値	5				
	観光モデルコース等の配布総数	冊(年)	目標値	6,000	6,000	7,000	8,000	9,000
			実績値	13,200				
	HPやSNS等の活用した情報発信	回	目標値	80	85	90	95	100
			実績値	92				
	観光モデルコース等の作成	コース(延べ)	目標値	—	1	2	3	3
			実績値	—				
成果指標	観光入込客数	人	目標値	1,060,000	1,070,000	1,080,000	1,090,000	1,100,000
			実績値	1,110,073				
	HPやSNS等の閲覧回数	回	目標値	57,000	58,000	59,000	60,000	61,000
			実績値	155,973				
	観光資源の発掘及び再整備	箇所(延べ)	目標値	—	1	1	2	2
			実績値	—				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	コロナ禍によるリアルイベントの減少に反比例してまっぴる印西の配布数が増加したため、観光ブック配布数だけ大幅増となった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	HP閲覧回数の大部分が桜関係のページであり、2年ぶりの桜まつり開催の影響力と、こまめなHP更新の成果が見て取れた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	おおむね計画通り、または目標を上回ったが、自粛緩和の恩恵による一時的な数値増に過ぎないと考えられるため、アフターコロナを見据えた中長期的な事業展開が引き続き必要となる。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	実績値が目標値を上回っている指標が複数あるが、コロナの影響による伸びなのか、事業の成果としての伸びなのか判断が難しいため、現行のまま事業を継続し効果を分析する必要がある。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	49
実施計画事業名	良好な土地利用の推進		担当部署名	都市計画課
事業の実施目的 及び概要	都市マスタープランにおいて定めた将来都市像に向け、自然環境と都市環境が調和した適正で機能的な土地利用の誘導をしていくため、地区計画制度の活用を通じて、地域ごとに規制項目を定め、良好な都市環境の実現と居住環境の保全を目指します。また、都市計画基本図や都市計画情報等のデータ整備を通じて、地図情報の高度化を図り、市民サービスの向上を目指します。 良好な景観の形成に向けて、景観法・景観条例による届出制度を運用するとともに、市民や事業者との協働による景観まちづくりを推進します。			
関連施策	【4-1】適正な土地利用の推進	根拠法令 関連計画	都市計画法 印西市都市マスタープラン 印西市景観計画	
取組方針	駅圏機能の強化/地域生活拠点の 機能保全/産業拠点の充実			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域 をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・都市計画基礎調査の実施 ・都市計画GISデータ修正、システム保守 ・景観審議会の開催 ・景観まちづくり市民懇談会の開催 ・景観計画区域内行為の届出制度の運用 ・協働による景観まちづくりの推進	・都市計画GISデータ修正、システム保守 ・景観審議会の開催 ・景観まちづくり市民懇談会の開催 ・景観計画区域内行為の届出制度の運用 ・協働による景観まちづくりの推進	・都市計画GISデータ修正、システム保守 ・景観審議会の開催 ・景観まちづくり市民懇談会の開催 ・景観計画区域内行為の届出制度の運用 ・協働による景観まちづくりの推進
事業費	16,102千円	3,000千円	3,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	7-3-1	都市計画総務費	都市計画決定・変更に必要な経費
	7-3-1	都市計画総務費	都市計画GIS整備事業
	7-3-1	都市計画総務費	景観形成促進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・都市計画決定・変更の実施 生産緑地1地区の変更 ・都市計画基礎調査を実施 土地利用等の現況調査を行い、千葉県に成果品を提出 ・都市計画地理情報システム整備 都市計画GISシステム保守、住宅地図データの更新、都市計画決定・変更データの更新 ・景観まちづくり市民懇談会の開催(書面開催) 今後の景観まちづくり市民懇談会の活動・取り組み内容についての検討	当初予算	16,102,000円
		予算現額	13,264,000円
		決算額	12,976,258円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	景観審議会の開催	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	0				
	景観まちづくり市民懇談会の開催	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	1				
	都市計画基礎調査	%	目標値	100	—	—	—	—
			実績値	100				
	都市計画基本図の修正	%	目標値	—	—	—	—	100
			実績値	—				
			目標値					
			実績値					
成果指標	景観区域における行為の届出数	件	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	86				
	市街化区域人口	人	目標値	82,500	83,500	84,400	85,400	86,300
			実績値	85,038				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	景観審議会は、案件がなかったため、開催なし。景観まちづくり市民懇談会は新型コロナウイルスの影響により、1回開催(書面)となった。
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染防止対策を実施しながら、ほぼ計画どおり事業を進めることができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	新型コロナウイルス感染拡大に配慮しながら、今後も継続して事業を実施する。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	50
実施計画事業名	印旛中央地区の市街地形成の支援		担当部署名	都市整備課
事業の実施目的 及び概要	印旛中央地区については、千葉ニュータウンに隣接し、北千葉道路により東京方面や成田国際空港へのアクセスに恵まれた立地条件などを活かし、産業・業務機能及び居住機能を備えたまちづくりが求められており、組合施行による土地区画整理事業の事業化が検討されています。市としても、この地区の都市的土地利用の実現のために、事業化を含めた必要な支援を行っていきます。			
関連施策	【4-1】適正な土地利用の推進	根拠法令 関連計画	土地区画整理法 都市計画法	
取組方針	開発検討拠点の事業促進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・発起人会及びその後継組織となる組合設立準備委員会を中心とした地権者合意形成の支援 ・事業認可図書作成等の認可手続き等の支援 ・環境影響評価に係る現況調査及び予測評価の実施	・事業認可取得の支援 ・都市計画道路・土地区画整理事業等の都市計画変更の実施 ・土地区画整理事業の実施に対する支援	・土地区画整理事業の実施に対する支援
事業費	259,983千円	未定	未定

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	7-3-5	区画整理事業費	印旛中央地区に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・発起人会及びその後継組織となる組合設立準備委員会を中心とした地権者合意形成の支援として、地権者への制度周知及び事業協力を頂けるよう支援に努めた。当初は組合設立準備委員会を立上げ、機能を移行する予定であったが、発起人会の会議において、準備委員会への移行は不要と判断されたため、発起人会で事業認可を目指すこととなった。 ・事業認可図書作成等の認可手続き等の支援を適正に行い、円滑に事業進捗するよう発起人会と共同で対応している。引き続き、事業認可取得まで支援に努める必要がある。 ・環境影響評価に係る現況調査及び予測評価の実施について、追加調査(補充調査)より、評価結果としてまとめた。	当初予算	259,983,000円
		予算現額	213,662,000円
		決算額	193,126,590円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	地権者説明会(会の総会含む)の実施	回	目標値	2	1	1	1	1
			実績値	1				
	発起人会又は組合設立準備委員会の会議開催	回	目標値	5	5			
			実績値	9				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	組合設立準備委員会の発足		目標値	発足				
			実績値	発足				
	土地区画整理組合の発足(事業認可取得)		目標値	—	発足			
			実績値	—				
	事業進捗率(事業費ベース)	%	目標値	—	—	5	10	15
			実績値	—				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	地権者説明会の実施回数が1回であるが、説明会への参加が困難な方へ、文書等により事業の説明を行い対応した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	当初は組合設立準備委員会を立上げ、機能を移行する予定であったが、発起人会の会議において、準備委員会への移行は不要と判断されたため、発起人会で事業認可を目指すこととなった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	ほぼ目標値どおりの事業実績・成果となったため

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	印旛中央地区の都市的土地利用の促進により地域の特性を活かした持続的なまちづくりを推進し、市の持続可能な発展に寄与する。しかし、事業認可取得までは、多くの利害関係者のご理解の取得に多くの時間と人材が必要となる。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	51
実施計画事業名	地籍調査の推進		担当部署名	都市計画課
事業の実施目的 及び概要	土地境界をめぐるトラブルの未然防止や災害復旧の迅速化、公共事業の円滑化等を図るため、地籍調査を実施していきます。			
関連施策	【4-1】適正な土地利用の推進	根拠法令 関連計画	国土調査法 地籍調査事業計画	
取組方針	土地保全の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	■地籍調査事業 実施工区における説明会の開催、境界立ち会い及び測量と閲覧の実施	■地籍調査事業 実施工区における説明会の開催、境界立ち会い及び測量と閲覧の実施	■地籍調査事業 実施工区における説明会の開催、境界立ち会い及び測量と閲覧の実施
事業費	59,860千円	55,000千円	55,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	7-3-1	都市計画総務費	地籍調査事業に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	令和3年度事業については、第1工区の3年目作業(地籍図の作成。面積測定。権利者による閲覧等)を実施し、無事に成果を国の認証作業へ送付することが出来た。 また、第2工区の2年目作業(復元測量、現地調査等実施。)及び第3工区の1年目作業(調査図素図、地籍調査票作成等、事前現地調査。現況測量等。)についても実施し、それぞれ完了した。	当初予算	59,860,000円
		予算現額	51,993,000円
		決算額	51,099,984円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	説明会の開催回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	0				
	現地調査を実施した筆数	筆	目標値	700	700	700	700	700
			実績値	894				
	地籍簿(案)及び地籍図(案)の閲覧率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	36.6				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	境界同意率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	99.7				
	完了工区数(総数)	工区	目標値	1	2	3	4	5
			実績値	1				
	成果の閲覧及び交付件数(総数)	件	目標値	1	2	4	6	8
			実績値	1				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	地籍調査事業の周知については、新型コロナウイルスの影響により説明会を中止とし、郵送による説明とした。その他、調査実施筆数については目標値を上回った。また、地籍簿及び地籍図の作成を行い閲覧体制を整えた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	境界の同意率については、99%を超えたものの、100%には至らなかった。完了工区数及び成果の閲覧・交付について、目標値を達成した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	令和3年度は、第1工区の完了から国への認証依頼まで行えた。引き続き第2、第3工区の作業を進め、令和4年度からは第4、第5工区の一年目作業に着手する。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	地籍調査事業計画に基づき、地籍調査を実施する。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	52
実施計画事業名	災害に強い住まいづくりの促進	担当部署名	建築指導課	
事業の実施目的 及び概要	地震災害から市民の生命及び財産を効果的かつ効率的に保護するため、印西市耐震改修促進計画を基に、建築物の耐震化の促進や危険ブロック塀等の除却の促進を図ります。			
関連施策	【4-2】 緑あふれる居住環境の実現	根拠法令 関連計画	建築物の耐震改修の促進に関する法律 印西市耐震改修促進計画	
取組方針	災害に強い住まいづくりの促進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震診断3件、耐震改修設計1件、耐震改修工事1件) ・危険ブロック塀等除却費補助金20件 ・耐震相談会の開催3回	・住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震診断3件、耐震改修設計1件、耐震改修工事1件) ・危険ブロック塀等除却費補助金20件 ・耐震相談会の開催3回	・住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震診断3件、耐震改修設計1件、耐震改修工事1件) ・危険ブロック塀等除却費補助金20件 ・耐震相談会の開催3回
事業費	11,974千円	6,974千円	6,974千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	7-3-1	都市計画総務費	住宅・建築物耐震改修促進事業
	7-3-1	都市計画総務費	住生活基本計画推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	- 住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震診断2件) - 危険ブロック塀等除却費補助金4件 - 耐震相談会の開催3回	当初予算	11,974,000円
		予算現額	7,266,000円
		決算額	6,789,011円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	耐震相談会等の周知(広報いんざい)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3				
	耐震相談会の開催	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震診断3件)	件	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	2				
	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震改修設計1件)	件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	0				
	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金(耐震改修工事1件)	件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	0				
	危険ブロック塀等除却費補助金	件	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	4				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金は、広報、ホームページの他、町内回覧で周知をし、危険ブロック塀等除却費補助金は、広報、ホームページの他、所有者に案内を配布して周知を図ったが目標値を下回った。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	各々の補助金とも広報、ホームページの他、住宅・建築物耐震改修促進事業補助金は、町内回覧で、危険ブロック塀等除却費補助金は、所有者に案内を配布して周知を図ったが目標値を下回った。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き、広報、ホームページで周知を図ることの他、住宅・建築物耐震改修促進事業補助金は、町内回覧で、危険ブロック塀等除却費補助金は、所有者に直接補助金の案内を配布するなど周知を図る。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	53
実施計画事業名	空家等対策の推進		担当部署名	建築指導課
事業の実施目的 及び概要	適切な管理が行われていない空家等が防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に影響を及ぼすことを鑑み、印西市空家等対策計画を基に、利活用の促進や管理不全な空家等の解消を図ります。			
関連施策	【4-2】 緑あふれる居住環境の実現	根拠法令 関連計画	空家等対策の推進に関する特別措置法 印西市空家等対策計画	
取組方針	空家等対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位: 千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・空家等対策協議会の開催3回 ・空き家リフォーム工事補助金10件 ・空き家バンク成約補助金10件	・空家等対策協議会の開催3回 ・空き家リフォーム工事補助金10件 ・空き家バンク成約補助金10件	・空家等対策協議会の開催3回 ・空き家リフォーム工事補助金10件 ・空き家バンク成約補助金10件
事業費	9,559千円	4,559千円	4,559千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	7-3-1	都市計画総務費	住生活基本計画推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・空家等対策協議会の開催2回 ・空き家バンク成約補助金1件	当初予算	9,559,000円
		予算現額	6,751,000円
		決算額	6,274,011円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	空き家の適切な管理の周知(広報いんざい)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3				
	空き家バンク等の周知(広報いんざい)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	空き家リフォーム工事補助金	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	0				
	空き家バンク成約補助金	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	1				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	空き家リフォーム工事補助金は、広報、ホームページの他、市内の不動産仲介業者に通知して周知を図り、空き家バンクは、広報、ホームページの他、空き家の所有者に案内を郵送して周知を図り、体制を整えていたが、令和3年度の実績はなかった。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	空き家の利活用を図る目的で令和2年度に創設した2つの補助金は、広報、ホームページの他、関係者に周知を図ったが目標値を下回った。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き、広報、ホームページ及び関係者に通知して周知をし、成果指標に掲げる件数については、近隣市町の実績を考慮して見直しを検討するとともに、成果指標を向上させる新たな事業の検討を図る。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	54
実施計画事業名	公園の適切な維持管理の推進		担当部署名	都市整備課
事業の実施目的 及び概要	すべての公園利用者が快適かつ安全で安心して利用できるよう適切な維持管理に努めます。 遊具などの公園施設については、定期的な点検を実施し、安全性の確保や機能の維持を図りつつ、公園施設長寿命化計画に基づき計画的な補修や更新等を行います。 また、市民参加による公園の美化活動への支援を行い、市民と市が一体となったまちづくり活動を推進します。			
関連施策	【4-2】 緑あふれる居住環境の実現	根拠法令 関連計画	都市公園法 印西市緑の基本計画 印西市公園施設長寿命化計画	
取組方針	公園の適切な維持管理の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・遊具等の定期点検 ・公園施設の計画的な補修・更新等 ・松山下公園陸上競技場屋外観覧場大規模改修実施設計 ・松山下公園大型照明灯改修実施設計 ・指定管理者制度の導入・活用の検討 ・公園美化活動への支援	・遊具等の定期点検 ・公園施設の計画的な補修・更新等 ・松山下公園陸上競技場屋外観覧場大規模改修工事 ・松山下公園大型照明灯改修工事 ・指定管理者制度の導入・活用の検討 ・公園美化活動への支援	・遊具等の定期点検 ・公園施設の計画的な補修・更新等 ・松山下公園陸上競技場屋外観覧場大規模改修工事 ・松山下公園大型照明灯改修工事 ・松山下公園野球場改修実施設計 ・指定管理者制度の導入・活用の検討 ・公園美化活動への支援
事業費	625,951千円	1,080,000千円	1,100,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	7-3-3	公園費	公園緑地維持管理事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・115公園、1緑地の遊具等の点検を実施した。 ・公園施設長寿命化計画に基づく改修を7件実施した。その他、園路灯などの修繕を85件、フェンス等の工事を1件実施した。 ・松山下公園陸上競技場屋外観覧場大規模改修実施設計を実施した。 ・松山下公園大型照明灯改修実施設計を実施した。 ・指定管理者制度の導入・活用について、近隣市町村の導入状況の確認を行った。 ・公園美化活動への支援として、管理に必要となる清掃用具等を提供した。	当初予算	625,951,000円
		予算現額	628,686,000円
		決算額	518,374,389円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	遊具等点検回数	回	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	25				
	市民参加による公園美化団体数	団体	目標値	25	26	27	28	29
			実績値	30				
	公園施設長寿命化計画に基づく改修施設数	件	目標値	7	7	12	2	15
			実績値	7				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
	公園施設長寿命化計画の達成率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100				
成果指標			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ほぼ目標値どおりとなったため
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ほぼ目標値どおりとなったため
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	ほぼ目標値どおりの事業実績・成果となったため

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	令和4年度も適切な公園施設の管理を推進する。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	55
実施計画事業名	道路網の整備	担当部署名	建設課	
事業の実施目的 及び概要	駅圏と地域拠点を結ぶ地域間ネットワークを充実するため、印西牧の原駅圏と小林駅圏を結ぶ市道00-031号線の整備を進めます。また、市道00-008号線、市道00-107号線、市道00-116号線、市道00-122号線等の整備を進め道路網の整備を図ります。			
関連施策	【4-3】道路環境の充実	根拠法令 関連計画	印西市都市マスタープラン	
取組方針	主要幹線道路(国道)と都市幹線道路(県道)の充実/ 都市幹線道路(市道)、補助幹線道路、区画道路の充実			
総合戦略	基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画) 単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	○市道00-026号線延伸区間道路整備事業 ・橋梁上部工事 ・堤脚水路工事 ○市道00-122号線整備事業 ○市道竜腹寺線整備事業 ・歩道舗装工事 ○市道00-107号線整備事業 ・用地取得・補償 ・詳細設計業務 ○市道18-045号線整備事業 ・用地取得・補償 ・修正設計 ○通学路交通安全対策事業 ・市道25-054号線道路予備設計 ○市道00-031号線整備事業 ・用地取得・補償 ・流末排水整備工事 ○市道00-008号線整備事業 ・都市計画事業認可申請 ・詳細設計業務 ○その他市道整備事業 ○北千葉道路建設促進 ・国等に対して要望実施	○市道00-026号線延伸区間道路整備事業 ・交差点改良工事 ○市道00-122号線整備事業 ・道路改良工事 ○市道竜腹寺線整備事業 ・橋梁詳細設計 ○市道00-107号線整備事業 ・用地取得・補償 ・道路詳細設計 ・流末排水整備工事 ○市道18-045号線整備事業 ・用地取得・補償 ・整備工事 ○通学路交通安全対策事業 ・市道25-054号線道路詳細設計 ○市道00-031号線整備事業 ・用地取得・補償 ○市道00-008号線整備事業 ・用地取得・補償 ○その他市道整備事業 ○北千葉道路建設促進 ・国等に対して要望実施	○市道00-122号線整備事業 ・道路改良工事 ○市道竜腹寺線整備事業 ・工事用道路詳細設計 ・文化財調査 ○市道00-107号線整備事業 ・文化財調査 ・流末排水整備工事 ○市道18-045号線整備事業 ・整備工事 ○通学路交通安全対策事業 ・市道25-054号線用地取得、補償 ○市道00-031号線整備事業 ・都市計画事業認可申請 ・排水整備工事 ○市道00-008号線整備事業 ・道路改良工事 ○その他市道整備事業 ○北千葉道路建設促進 ・国等に対して要望実施
事業費	840,350千円	948,000千円	954,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	7-1-3	道路新設改良費	市道00-026号線延伸区間道路整備事業
	7-1-3	道路新設改良費	市道松崎吉田線整備事業
	7-1-3	道路新設改良費	市道竜腹寺線整備事業
	7-1-3	道路新設改良費	市道00-107号線整備事業
	7-1-3	道路新設改良費	市道18-045号線整備事業
	7-1-3	道路新設改良費	通学路交通安全対策事業
	7-1-3	道路新設改良費	その他市道整備事業
	7-3-2	街路事業費	市道00-031号線整備事業
	7-3-2	街路事業費	市道00-008号線整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	○市道00-026号線延伸区間道路整備事業・橋梁上部工事、堤脚水路工事実施 ○市道00-122号線整備事業・道路改良工事L=250m実施 ○市道竜腹寺線整備事業・歩道舗装工事L=198m実施 ○市道00-107号線整備事業・詳細設計実施 ○市道18-045号線整備事業・修正設計実施 ○通学路交通安全対策事業・市道25-054号線道路予備設計実施 ○市道00-008号線整備事業・都市計画事業認可取得、詳細設計業務実施 ○その他市道整備事業 ○北千葉道路建設促進・国等に対して要望実施	当初予算	840,350,000円
		予算現額	1,282,824,300円
		決算額	665,484,434円
		翌年度繰越額	397,800,400円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市道00-122号線整備事業工事延長	m	目標値	440	840	420	20	-
			実績値	250				
	市道00-107号線整備事業工事延長	m	目標値	-	-	-	725	725
			実績値	-				
	通学路交通安全対策事業市道25-054号線工事延長	m	目標値	-	-	-	145	145
			実績値	-				
	市道00-008号線整備事業工事延長	m	目標値	-	-	330	-	-
			実績値	-				
	北千葉道路建設促進要望活動	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2				
成果指標	市道00-026号線延伸区間道路整備事業進捗率	%	目標値	80	100	-	-	-
			実績値	70				
	市道00-122号線整備事業進捗率	%	目標値	60	75	90	100	-
			実績値	45				
	市道竜腹寺線整備事業進捗率	%	目標値	20	30	40	60	80
			実績値	20				
	市道00-107号線整備事業進捗率	%	目標値	20	40	60	80	100
			実績値	10				
	通学路交通安全対策事業市道25-054号線進捗率	%	目標値	20	40	60	80	100
			実績値	20				
	市道00-031号線整備事業進捗率	%	目標値	55	60	65	70	75
			実績値	45				
	市道00-008号線整備事業進捗率	%	目標値	50	70	100	-	-
			実績値	20				

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	一部工事区間に遅延が生じており、目標値がやや下回ったが、概ね事業の進捗は図られている。
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	一部事業に遅れが生じ、目標値をやや下回ったが、概ね事業の進捗は図られている。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	総合的な事業実績はやや下回ったが、概ね事業の進捗は図られている。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	各事業の完了に向け、引続き進捗を図る。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	56
実施計画事業名	道路などの適切な維持管理の推進	担当部署名	土木管理課	
事業の実施目的 及び概要	市が管理する道路などの適切な維持管理を推進し、安全で快適な道路環境を保ちます。			
関連施策	【4-3】道路環境の充実	根拠法令 関連計画	道路法 橋梁長寿命化修繕計画 印西市道路舗装修繕計画	
取組方針	道路の維持管理の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・市道及び市管理道路等の維持管理 ・道路パトロールの実施 ・舗装修繕の実施 ・街路樹等の維持管理 ・ふれあいロード美化活動への支援 ・橋梁定期点検の実施 ・橋梁補修の実施 ・側溝整備の実施 ・側溝等の清掃	・市道及び市管理道路等の維持管理 ・道路パトロールの実施 ・舗装修繕の実施 ・街路樹等の維持管理 ・ふれあいロード美化活動への支援 ・橋梁定期点検の実施 ・橋梁補修の実施 ・側溝整備の実施 ・側溝等の清掃	・市道及び市管理道路等の維持管理 ・道路パトロールの実施 ・舗装修繕の実施 ・街路樹等の維持管理 ・ふれあいロード美化活動への支援 ・橋梁定期点検の実施 ・橋梁補修の実施 ・側溝整備の実施 ・側溝等の清掃
事業費	1,176,535千円	1,010,173千円	1,019,741千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	7-1-2	道路維持費	道路維持修繕に要する費用
	7-1-4	橋りょう維持費	橋りょう維持修繕に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・道路パトロール 週5日、242日/年 ・ふれあいロード美化活動への支援 16団体に花苗支給 ・舗装修繕工事 L=3,974m ・橋梁定期点検 N=72橋 ・橋梁補修工事 N=1橋 ・側溝等の清掃 L=3,512m	当初予算	1,176,535,000円
		予算現額	1,490,705,770円
		決算額	987,367,015円
		翌年度繰越額	397,883,900円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	道路パトロール	日	目標値	208	208	208	208	208
			実績値	242				
	点検実施橋梁数	橋	目標値	75	56	50	11	13
			実績値	72				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	舗装修繕延長	m	目標値	1,400	680	1,595	計画策定中	計画策定中
			実績値	3,974				
	橋梁長寿命化修繕実施数	橋	目標値	-	1	3	7	8
			実績値	1				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	安全で快適な道路環境を保つため、舗装の破損状況に応じて順次必要な修繕を進めるとともに、道路パトロールや市民からの情報提供などにより、事故に直結する破損個所の対応に努める。橋りょうについては、継続的に点検を実施し、橋りょうの健全度に応じて順次必要な修繕を進める。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	57
実施計画事業名	水道の安定供給		担当部署名	水道課
事業の実施目的 及び概要	将来に渡り安全で良質な水道水を安定的に供給するため、水需要を的確に把握し、受水量の確保や水道施設の計画的な整備・更新を進めます。			
関連施策	【4-4】 上下水道事業の安定的な運営	根拠法令 関連計画	水道法 アセットマネジメント 水道事業ビジョン 基本計画 経営戦略	
取組方針	水道の安定供給/安定的な事業運営			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・配水整備工事(吉田地先) L=708m ・松崎配水場中央監視制御装置等更新工事 漏水調査と修繕により有収率の向上を図る。 ・漏水調査及び修繕(平賀地区) 経営戦略については、策定より5年が経過し、これまでの「経営戦略」に基づく取り組みの進捗管理と、より質の高い経営戦略にするため改定を行う。 ・経営戦略改定業務委託(水道)	・配水整備工事(岩戸・吉田地先) L=406m ・漏水調査及び修繕(平賀地区) ・経営戦略に基づく整備・更新 ※実施内容等については、経営戦略改定後とする。	・配水整備工事(吉田地先) L=996m ・配水量調査を実施し無効水量の多い地区の特定。 ・漏水調査及び修繕 ・経営戦略に基づく整備・更新 ※実施内容等については、経営戦略改定後とする。
事業費	468,217千円	350,000千円	350,000千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	1-1-1	建設工事費	建設工事費建設改良費
	1-1-2	配水及び給水費	配水及び給水費営業費用
	1-1-3	建設事務費	建設事務費建設改良費
	1-1-3	総務費	総務費営業費用

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	吉田地区配水整備事業 L=761m 配水場電気計装設備等改良工事 一式 経営戦略改定及び施設更新計画策定業務委託 一式 漏水調査業務委託(R3) L=777m	当初予算	468,217,000円
		予算現額	468,217,000円
		決算額	373,208,012円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	吉田地区配水管整備延長	m	目標値	708	406	996	1,047	1,396
			実績値	761				
	水道の漏水調査	km	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	1				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
	市営水道の普及率	%	目標値	70.70	71.00	71.30	71.60	72.00
			実績値	73.38				
成果指標	水道の普及率 (千葉県・印西市・長門川水道 企業団・など)	%	目標値	84.10	84.30	84.50	84.70	85.00
			実績値	86.70				
	吉田地区整備率	%	目標値	9	15	28	43	62
			実績値	10				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	引き続き吉田地区の整備及び漏水対策を行っていく。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	今後も目標値を上まよう、努力していく。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	今後も目標値を上まよう、努力していく。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も水道の安定供給に努めるとともに、計画的に配水管の整備を行い未普及地域の解消を図る。また、既設水道設備の老朽化に対応するため、耐震化や更新等維持管理を進める。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	58
実施計画事業名	計画的な下水道の整備	担当部署名	下水道課	
事業の実施目的 及び概要	都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、併せて公共水域の水質保全に資するため、汚水の未整備地区の解消を進めます。 また、市街地の雨水排水対策として、公共下水道（雨水）の整備・充実を図り、浸水防除に努めます。 さらに、下水道施設全体を一体的に捉え、日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止し、計画的な点検・調査及び修繕・改築を行うことにより持続的な下水道機能の確保とライフサイクルコストの低減を図るためストックマネジメント計画を進めるとともに、下水道施設（主に管路）の地震対策を進めます。			
関連施策	【4-4】 上下水道事業の安定的な運営	根拠法令 関連計画	下水道法 手賀沼流域関連公共下水道事業計画 印旛沼流域関連公共下水道事業計画 公共下水道ストックマネジメント計画 公共下水道総合地震対策計画	
取組方針	計画的な下水道の整備/安定的な事業運営			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	公共下水道施設整備事業 ・岩戸地区面整備工事 L=170m 公共下水道ストックマネジメント事業 ・木下中継ポンプ場設備改築工事 公共下水道総合地震対策事業 ・管路施設地震対策詳細設計 雨水排水対策施設整備事業 ・小林地区雨水排水整備工事 L=14.5m ・経営戦略策定業務委託	公共下水道施設整備事業 ・岩戸地区面整備工事 公共下水道ストックマネジメント事業 ・木下中継ポンプ場設備改築工事 ・管路施設改築工事 L=72m 公共下水道総合地震対策事業 ・管路施設地震対策工事 雨水排水対策施設整備事業 ・小林地区雨水排水整備工事	公共下水道施設整備事業 ・岩戸地区面整備工事 ・公共下水道全体計画変更業務委託 公共下水道ストックマネジメント事業 ・管路施設改築工事 L=45m ・修繕・改築計画策定業務委託 公共下水道総合地震対策事業 ・管路施設地震対策工事 雨水排水対策施設整備事業 ・小林地区雨水排水整備工事
事業費	108,551千円	300,000千円	150,000千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算	1-1-1	污水管渠建設改良費	污水管渠建設改良事業
	1-1-2	雨水管路建設改良費	雨水管路建設改良事業
	1-1-3	ポンプ場建設改良費	ポンプ場建設改良事業
	1-1-4	総係費	事業活動全般に要する費用
	1-1-5	建設事務費	建設事務に要する費用

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・岩戸地区面整備工事 L=178m ・木下中継ポンプ場設備改築工事 ・管路施設地震対策詳細設計 ・小林地区雨水排水整備工事 ・経営戦略策定業務委託	当初予算	108,551,000円
		予算現額	113,328,000円
		決算額	44,443,400円
		翌年度 繰越額	34,477,000円

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	工事発注数	本	目標値	3	5	4	2	3
			実績値	3				
	測量・詳細設計等業務委託発注数	本	目標値	1	-	2	3	1
			実績値	2				
	岩戸地区面整備面積	ha	目標値	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
			実績値	1.0				
	中継ポンプ場設備改築数	箇所	目標値	1	1	-	1	1
			実績値	1				
			目標値					
			実績値					
成果指標	工事発注率 (実績数値/目標数値)×100	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100				
	測量・詳細設計等業務委託発注率 (実績数値/目標数値)×100	%	目標値	100	-	100	100	100
			実績値	100				
	岩戸地区面整備率	%	目標値	59	60	61	62	63
			実績値	62				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響等により、一部繰越した事業はあるが、概ね予定通り実施できた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	新型コロナウイルス感染症の影響等により、遅れた事業の早期完了を図るとともに、引き続き、老朽化、地震対策を計画的に進めていく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	59
実施計画事業名	持続可能な市内公共交通ネットワークの形成	担当部署名	交通政策課	
事業の実施目的 及び概要	市民の移動ニーズや地域の特性を踏まえ、路線バスとコミュニティバス「ふれあいバス」などの再編を進め、バス交通の効率化と充実を図り、利用者の負担が少なく利便性の高い持続可能な公共交通ネットワークを目指します。 また、高齢者や最寄りのバス停が自宅から離れており利用することが困難な方の移動手段は、市民のニーズや地域の状況に応じて、市、事業者及び関係機関が連携・協力して、移動手段を確保できるよう検討します。			
関連施策	【4-5】公共交通の充実	根拠法令 関連計画	道路運送法 地域公共交通活性化再生法 印西市地域公共交通計画	
取組方針	持続可能な市内公共交通ネットワークの形成			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・ふれあいバスの運行(6ルート) ・路線バスへの補助(4ルート) ・印西市地域公共交通計画に基づく事業改善 ・印西市地域公共交通計画に基づく路線の再編、及び運賃の改定検討	・ふれあいバスの運行(6ルート) ・路線バスへの補助(4ルート) ・印西市地域公共交通計画に基づく事業改善 ・印西市地域公共交通計画の進捗管理 ・印西市地域公共交通計画に基づく路線の再編、及び運賃の改定検討	・ふれあいバスの運行(6ルート) ・路線バスへの補助(4ルート) ・印西市地域公共交通計画に基づく事業改善 ・印西市地域公共交通計画の進捗管理
事業費	169,279千円	169,300千円	169,300千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-6	企画費	公共交通網整備促進事業
	2-1-6	企画費	路線バス運行対策事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・ふれあいバス6ルートを実行した。 ・スワン号の実証運行を継続した。 ・印西市地域公共交通計画に基づく「バス利用環境の改善」として、バス停付近にベンチの設置を3箇所(5基)行った。 ・六合路線、宗像路線、印旛学園線、小林線の4路線バス事業者へ補助金交付を行った。 ・新型コロナウイルス感染症対策交通事業者支援補助金交付を行った。 ・バスの利用者数については、前年度に引続き、コロナ禍により回復が鈍った。	当初予算	169,279,000円
		予算現額	173,606,000円
		決算額	158,760,169円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	印西市地域公共交通計画に基づく利用促進策	項目	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1				
	印西市地域公共交通計画に基づくバス待ち環境整備	箇所	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	3				
	ふれあいバスのルート数	ルート	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	6				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	外出時の自家用車使用率	%	目標値	75	75	75	70	70
			実績値	75				
	ふれあいバス利用者数	人	目標値	247,000	248,000	249,000	250,000	251,000
			実績値	237,528				
	路線バス(補助路線)利用者数	人	目標値	240,000	244,000	248,000	252,000	256,200
			実績値	207,082				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少したと思われる。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	・ふれあいバスについては、今後もダイヤ改正やルートの変更等の見直しを適宜行いながら、引続き事業を実施する。実証運行中のスワン号については、利用状況の検証等を行い、運行の周知及び利用促進を図る。 ・路線バス事業については、市民の利便性と福祉の向上を図るため、引続き事業を継続する。実証運行中の宗像路線については、利用状況の検証を行い今後の対応について検討する。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	60
実施計画事業名	鉄道の利便性の向上	担当部署名	交通政策課	
事業の実施目的 及び概要	市内の鉄道は、2路線5駅からなり、JR成田線においては、沿線自治体で組織する成田線活性化推進協議会や千葉県JR線複線化等促進期成同盟での活動をとおして、JR成田線の増発や始発電車に合わせた券売機やエレベーターの稼働など利便性と快適性の向上を目指します。 また、北総線においては、千葉県、沿線自治体、鉄道事業者で組織する北総線沿線地域活性化協議会での活動をとおして、イベントの開催や後援により、鉄道利用者の増加を目指し沿線地域全体の活性化を図るとともに、他社と比較して高い運賃を引下げ、利用者負担を軽減し、更なる利便性の向上を目指します。			
関連施策	【4-5】公共交通の充実	根拠法令 関連計画	地域公共交通活性化再生法 印西市地域公共交通計画	
取組方針	北総線・成田スカイアクセスのさらなる利便性の向上/JR成田線の利便性と快適性の向上			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	(JR成田線) ・成田線活性化推進協議会として、JR東日本東京支社及び千葉支社に対しての要望活動や意見交換会の実施 ・成田線活性化推進協議会として、利用促進イベントの活動等 ・2021年度は、成田線開通120周年記念に関する各種事業 (北総線) ・関係機関と連携し、北総線沿線地域の活性化及び利用者のさらなる利便性の向上、利用促進を図る。 ・北総線高運賃是正に向け、利用者増を図る。	(JR成田線) ・成田線活性化推進協議会として、JR東日本東京支社及び千葉支社に対しての要望活動や意見交換会の実施 ・成田線活性化推進協議会として、利用促進イベントの活動等 (北総線) ・関係機関と連携し、北総線沿線地域の活性化及び利用者のさらなる利便性の向上、利用促進を図る。 ・北総線高運賃是正に向け、利用者増を図る。	(JR成田線) ・成田線活性化推進協議会として、JR東日本東京支社及び千葉支社に対しての要望活動や意見交換会の実施 ・成田線活性化推進協議会として、利用促進イベントの活動等 (北総線) ・関係機関と連携し、北総線沿線地域の活性化及び利用者のさらなる利便性の向上、利用促進を図る。 ・北総線高運賃是正に向け、利用者増を図る。
事業費	125,709千円	134,958千円	129,958千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-6	企画費	公共交通網整備促進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・コロナ禍により、イベントは開催することが難しく、木下駅の駅からハイキング、吉高の大桜のバス、ほくそう春まつりは中止となった。 ・乗降客についても、前年度に引続き、コロナ禍により回復が鈍った。 ・北総線について、これまでの取り組み等が実り、令和4年10月1日からの運賃値下げが実現することになった。 ・成田線について、成田線活性化推進協議会で、開通120周年記念事業を各種実施した。	当初予算	125,709,000円
		予算現額	125,138,000円
		決算額	113,134,000円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	成田線活性化推進協議会のイベント実施(駅からハイキング)	回	目標値	4	1	1	1	1
			実績値	3				
	成田線活性化推進協議会のイベント参加人数	人	目標値	4,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			実績値	1,872				
	北総線沿線地域活性化協議会の後援事業	事業	目標値	15	15	15	15	15
			実績値	2				
	吉高の大桜運行バスの利用者	人	目標値	500	500	500	500	500
			実績値	—				
	ほくそう春まつり参加者数	人	目標値	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
			実績値	—				
成果指標	木下駅乗降客数	人/日	目標値	4,100	4,100	4,150	4,150	4,200
			実績値	3,000				
	小林駅乗降客数	人/日	目標値	3,900	3,900	3,950	4,000	4,000
			実績値	3,000				
	千葉ニュータウン中央駅乗降客数	人/日	目標値	29,000	29,500	30,000	31,000	32,000
			実績値	23,286				
	印西牧の原駅乗降客数	人/日	目標値	15,500	16,000	16,500	17,000	17,500
			実績値	12,412				
	印旛日本医大駅乗降客数	人/日	目標値	6,300	6,350	6,400	6,450	6,500
			実績値	4,864				

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標値を下回った。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の影響により、乗降客数が減少し目標値を下回った。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	北総線については、長年の様々な取り組みの成果として、令和4年10月1日から運賃値下げが実現することになった。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	61
実施計画事業名	美しく快適な環境づくりの推進	担当部署名	クリーン推進課	
事業の実施目的 及び概要	ゴミゼロ運動やクリーン印西推進運動などの環境美化活動を通じて、市、市民、事業者などが一体となり、環境美化に対する意識の向上を図ります。 また、歩行喫煙・ポイ捨て等防止条例の適正な運用を図り、歩行喫煙、タバコ・空き缶などのポイ捨て行為の取り締まりや、引き続き啓発活動を実施することで、マナーの向上を推進します。			
関連施策	【4-6】 快適な生活環境の実現	根拠法令 関連計画	印西市環境基本計画 印西市歩行喫煙ポイ捨て等防止条例 印西市歩行喫煙ポイ捨て等防止条例施行規則	
取組方針	美しく快適な環境づくりの推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位: 千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・職員によるパトロールの実施(歩行喫煙・ポイ捨て) ・違反者に対するの指導・勧告等 ・夜間駅頭での啓発活動 ・クリーン印西推進運動の実施(毎月第1月曜日) ・ゴミゼロ運動の実施	・職員によるパトロールの実施(歩行喫煙・ポイ捨て) ・違反者に対するの指導・勧告等 ・夜間駅頭での啓発活動 ・クリーン印西推進運動の実施(毎月第1月曜日) ・ゴミゼロ運動の実施	・職員によるパトロールの実施(歩行喫煙・ポイ捨て) ・違反者に対するの指導・勧告等 ・夜間駅頭での啓発活動 ・クリーン印西推進運動の実施(毎月第1月曜日) ・ゴミゼロ運動の実施
事業費	4,506千円	4,500千円	4,500千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	4-2-1	清掃総務費	歩行喫煙、ポイ捨て等防止事業
	4-2-1	清掃総務費	クリーン印西推進運動事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	【クリーン印西推進運動・ゴミゼロ運動】 町内会・自治会等381団体に参加の呼びかけを行い、下記のとおり参加があり、地域美化の意識向上を図った。 ・クリーン印西推進運動 150団体、延べ19,369人 ・ゴミゼロ運動 中止(HP4/15、各団体宛文書4/17) (参考)・クリーン印西推進運動 158団体、延べ25,386人(R2年度) ・ゴミゼロ運動 193団体、12,825人(R元年度)※R2は中止 【歩行喫煙、ポイ捨て等防止】 指導職員(再任用職員)によるパトロールを225日実施、市内全域において、79件の口頭指導を行った(過料案件は無し)。条例の啓発として、4月、12月の各1か月間、千葉ニュータウン中央駅および印西牧の原駅改札内へ啓発物資を設置した。また、市内住宅街を中心として、車両(スピーカー)での啓発活動を引き続き行った。 (参考)(R2年度)・パトロール回数 215日 ・口頭指導件数 95件	当初予算	4,506,000円
		予算現額	3,422,000円
		決算額	2,764,299円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	職員によるパトロール日数 (歩行喫煙・ポイ捨て)	日	目標値	192	192	192	192	192
			実績値	225				
	(歩行)喫煙及びポイ捨て等防止の啓発活動(車両広報・駅頭啓発)	回	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	73				
	クリーン印西推進運動等の啓発活動(広報紙・HP・自治会長説明会等)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	7				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	(歩行)喫煙及びポイ捨て指導件数(年)	件	目標値	70	65	60	55	50
			実績値	79				
	クリーン印西推進運動参加団体数	団体	目標値	155	157	159	161	163
			実績値	150				
	ゴミゼロ運動参加団体数	団体	目標値	190	191	192	193	194
			実績値	中止				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	クリーン印西推進運動に関しては、一部の地域・団体では定着しているものの、ゴミゼロ運動のように市の主導でなければ実施に踏み切れない団体も多いことから、町内会長、クリーンパートナー等の説明会時において周知に努め、クリーン印西推進運動の新規参加団体数を増加させたい。また、歩行喫煙、ポイ捨て等防止事業については、日々の違反指導、条例啓発等の活動により、指導件数は徐々に減りつつあるが、早朝・夜間での違反行為に対し、幅広い時間帯での指導・啓発活動や看板等表示物の内容、設置場所の見直し等により、引き続きマナーの向上を推進する。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	62
実施計画事業名	不法投棄防止対策の強化	担当部署名	クリーン推進課	
事業の実施目的及び概要	不法投棄されにくい環境にすることが重要であることから、監視カメラの設置場所を状況により随時見直すことや幅広い時間帯で不法投棄防止パトロールを実施することにより、不法投棄の抑止に努めます。			
関連施策	【4-6】快適な生活環境の実現	根拠法令 関連計画	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
取組方針	不法投棄防止対策の強化			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位: 千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・不法投棄監視カメラの運用 ・委託業者、市職員による監視パトロール ・自治会等との協働による大規模不法投棄物の撤去	・不法投棄監視カメラの運用 ・委託業者、市職員による監視パトロール ・自治会等との協働による大規模不法投棄物の撤去	・不法投棄監視カメラの運用 ・委託業者、市職員による監視パトロール ・自治会等との協働による大規模不法投棄物の撤去
事業費	6,364千円	6,300千円	6,300千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	4-2-1	清掃総務費	不法投棄対策に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・監視カメラの運用(85台) (うち機動性の高い小型監視カメラをR3年度に10台更新) ・職員による不法投棄防止夜間パトロールの実施(7回) ・不法投棄等監視パトロール業務委託(103回) 前年比:3回減 (パトロールコース、定点監視箇所の見直し、委託業者車両への青色回転灯装着を実施した) ・自治会との協働による不法投棄物の撤去(師戸区)	当初予算	6,364,000円
		予算現額	5,510,000円
		決算額	5,085,070円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	職員による不法投棄監視パトロール(日中・夜間)	回	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	195				
	委託による不法投棄監視パトロール	回	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	103				
	広報紙による啓発	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2				
	不法投棄監視カメラの運用	台	目標値	85	85	85	85	85
			実績値	85				
			目標値					
			実績値					
成果指標	不法投棄確認件数(年)	件	目標値	150	145	140	135	130
			実績値	112				
	市民等からの不法投棄通報件数	件	目標値	60	55	50	45	40
			実績値	41				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	A 目標値を上回る	
③総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	定期的なパトロールおよび監視カメラ等による監視体制を維持するとともに、不法投棄の発生状況や傾向を考慮し、各種見直しを行うこと等により、不法投棄されにくい環境づくりを継続的に進め、更なる不法投棄の抑止に努める。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	63
実施計画事業名	環境汚染防止対策の推進		担当部署名	環境保全課
事業の実施目的 及び概要	・地下水汚染が確認されている浦部地区の汚染除去対策・効果判定業務の実施及び小林地区の汚染の確認のための水質調査並びに浄化対策の検討を実施します。 ・竹袋焼却場跡地の廃棄物が、周辺環境へ影響を及ぼすことが無いよう、適切なモニタリングを実施します。 ・東日本大地震に伴う東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質による汚染について、市民への適切な情報提供や除染作業等を実施し、市民の健康管理体制の充実を図ります。			
関連施策	【4-6】 快適な生活環境の実現	根拠法令 関連計画	印西市環境保全条例、印西市環境保全条例施行規則、共同命令適用以前に設置された一般廃棄物最終処分場の埋立終了に係る指導指針、放射性物質汚染対処特別措置法、子ども・被災者支援法、印西市放射性物質除染実施計画	
取組方針	環境汚染防止対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	〈浦部地区〉 汚染源の観測井及び民家井の地下水モニタリング調査及び汚染地下水の浄化。 〈小林地区〉 汚染源及び周辺の観測井・民家井のモニタリング調査。 〈竹袋焼却場跡地〉 モニタリング調査の実施。 〈放射線〉 大気中放射線量等のモニタリング調査	〈浦部地区〉 汚染源の観測井及び民家井の地下水モニタリング調査及び汚染地下水の浄化。 〈小林地区〉 汚染源及び周辺の観測井・民家井のモニタリング調査。 〈竹袋焼却場跡地〉 モニタリング調査の実施。 〈放射線〉 大気中放射線量等のモニタリング調査	〈浦部地区〉 汚染源の観測井及び民家井の地下水モニタリング調査及び汚染地下水の浄化。 〈小林地区〉 汚染源及び周辺の観測井・民家井のモニタリング調査。 〈竹袋焼却場跡地〉 モニタリング調査の実施。 〈放射線〉 大気中放射線量等のモニタリング調査
事業費	19,289千円	19,289千円	17,012千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-1-6	環境保全費	地下水汚染対策事業
	4-1-6	環境保全費	焼却場等跡地環境対策事業
	4-1-6	環境保全費	放射線対策事務に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	浦部地区の汚染源の観測井及び民家井の地下水モニタリング調査及び汚染地下水の浄化を実施。浄化はすこしづつではあるが成果が出ている。小林地区の汚染源及び周辺の観測井・民家井のモニタリング調査を実施。 竹袋焼却場跡地のモニタリング調査では、健康に被害のない結果が報告されている。 大気中放射線量等のモニタリング調査では、基準値を超える結果は出ていない。 市内公共施設等大気中放射線量測定件数193箇所を実施。	当初予算	19,289,000円
		予算現額	20,692,000円
		決算額	18,659,780円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	浦部地区地下水汚染除去対策	試料	目標値	130	130	130	130	130
			実績値	147				
	小林地区地下水汚染機構解明モニタリング	試料	目標値	30	30	30	30	30
			実績値	30				
	竹袋焼却場跡地調査箇所数	箇所	目標値	14	14	14	14	14
			実績値	14				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	地下水汚染(観測井戸)除去の状況(浦部地区)	箇所	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	概ね目標値に達することができた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	概ね目標値に達することができた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	今後も引き続きモニタリング調査を実施し、周辺環境への影響を注視していく。また、汚染の除去が進んだ際には、事業の完了を検討して行く必要がある。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	64
実施計画事業名	鳥獣被害対策の推進		担当部署名	環境保全課
事業の実施目的 及び概要	市内における鳥獣による農林業被害や生活環境被害が発生しているため、本事業を実施し、被害の軽減等を図っていきます。 イノシシ・アライグマ・タヌキ・ハクビシン・カラス等鳥類については農業被害が特に深刻であることから、鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に係る法律第4条において規定されている被害防止計画を策定（H24）し、国等からの財政支援を受けながら、防除・捕獲・環境整備を実施します。 千葉ニュータウン中央駅付近に大群で出没し、周辺住民へ騒音・糞尿による生活環境被害を及ぼしているムクドリに対し、鷹匠による追い払い等を実施します。その他の鳥獣についても、被害状況に応じ対策を実施します。			
関連施策	【4-6】 快適な生活環境の実現	根拠法令 関連計画	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律 鳥獣による農林水産等に係る被害防止のための特別措置法 印西市鳥獣被害防止計画	
取組方針	鳥獣被害対策の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・イノシシ、アライグマ、ハクビシン、タヌキ、カラスなど有害鳥獣の計画的な捕獲及び防護柵の設置等 ・狩猟免許取得に係る助成金による新たなイノシシ捕獲従事者の確保 ・コブハクチョウによる農作物被害防止 ・ICTを用いた捕獲機器の導入	・イノシシ、アライグマ、ハクビシン、タヌキ、カラスなど有害鳥獣の計画的な捕獲及び防護柵の設置等 ・狩猟免許取得に係る助成金による新たなイノシシ捕獲従事者の確保 ・コブハクチョウによる農作物被害防止 ・ICTを用いた捕獲機器の導入	・イノシシ、アライグマ、ハクビシン、タヌキ、カラスなど有害鳥獣の計画的な捕獲及び防護柵の設置等 ・狩猟免許取得に係る助成金による新たなイノシシ捕獲従事者の確保 ・コブハクチョウによる農作物被害防止
事業費	34,653千円	34,653千円	34,653千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-1-6	環境保全費	鳥獣被害対策事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・イノシシ、アライグマ、ハクビシン、タヌキ、カラスなど有害鳥獣の計画的な捕獲及び防護柵の設置等 ・狩猟免許取得に係る助成金による新たなイノシシ捕獲従事者の確保 ・コブハクチョウによる農作物被害防止 ・ICTを用いた捕獲機器の導入	当初予算	34,653,000円
		予算現額	37,783,000円
		決算額	32,792,809円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	イノシシ用電気柵設置距離数	m	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
			実績値	32,500				
	捕獲従事者数(有資格者)	人	目標値	80	85	90	95	100
			実績値	65				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
	イノシシ捕獲頭数	頭	目標値	800	900	1,000	1,000	1,000
			実績値	733				
成果指標	小型獣(アライグマ・ハクビシン・タヌキ)捕獲数	匹	目標値	400	500	500	500	500
			実績値	320				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	イノシシ用電気柵設置距離数は目標値を上回ることができた。しかしながら、駆除従事者の確保は目標値を上回ることができなかったため、より一層の周知をはかり、対策を進めていきたい。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	イノシシ及び小型獣の捕獲数は目標値を上回ることができなかった。しかしながら、被害状況等を考慮すると一定の効果がでているものと考えられる。イノシシ及び小型獣ともに引き続き捕獲を進めていきたい。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	捕獲頭数は目標値に届かなかった。 効果的な捕獲や集中捕獲を実施し、捕獲頭数を増やしていきたい。 また防護柵の設置に向け、より一層周知をはかり、地域ぐるみの対策の検討を進めていきたい。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	有害鳥獣による被害は、各地区では減っているが広範囲に移行してきている。今後も市有害鳥獣被害防止対策協議会を中心に対策を進める必要がある。令和4年度から導入した鳥獣対策支援業務委託により、調査・分析を進め、今後の対策を進めていく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	65
実施計画事業名	環境保全意識の高揚と自然と触れ合う機会の充実		担当部署名	環境保全課
事業の実施目的 及び概要	恵まれた自然環境を保全し、生物多様性の確保や地域の生態系を維持していくため、市民、事業者、行政が連携し農地や樹林地、谷津田などの里山を適切に維持・管理する仕組みづくりや担い手の育成を図ります。 また、市民自らが地域の自然を守っていく意識を高め、自然に親しむための市民参加型の里山保全活動・自然観察会等を実施し、環境について学ぶ機会を提供し、市民の自然への関心を高め、環境保全意識の高揚を図ります。併せて、開発や外来種の侵入により在来の生物や生態系に大きな影響を及ぼしていることから、生物多様性を守るための取り組みを推進します。			
関連施策	【4-7】 自然との共生の実現	根拠法令 関連計画	印西市市民の森の設置及び管理に関する条例 印西市市民の森の設置及び管理に関する条例施行規則 印西市環境基本計画	
取組方針	自然の保護、保全体制の充実/ 自然を知り、自然と触れ合う機会の充実			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・いんざい自然探訪の実施 ・第3次環境基本計画策定 ・環境白書の作成(計画の進行管理) ・草深の森維持管理 ・武西の里山保全と調査 ・別所・大森の森維持管理	・いんざい自然探訪の実施 ・環境白書の作成(計画の進行管理) ・草深の森維持管理 ・武西の里山保全と調査 ・別所・大森の森維持管理	・いんざい自然探訪の実施 ・環境白書の作成(計画の進行管理) ・草深の森維持管理 ・武西の里山保全と調査 ・別所・大森の森維持管理
事業費	23,823千円	13,829千円	13,829千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-1-6	環境保全費	環境基本計画の推進事業
	4-1-6	環境保全費	草深の森等維持管理事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・環境白書の作成(計画の進行管理) ・第3次環境基本計画の策定 ・いんざい自然探訪の実施 (2事業実施、3事業は新型コロナウイルス感染症予防対策により中止) ・自然環境調査 ・草深の森及び里山等の保全活動(除草作業等)	当初予算	23,823,000円
		予算現額	23,845,000円
		決算額	20,105,135円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	草深の森保全回数	回	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	5				
	武西の里山保全回数	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	7				
	別所・大森の森保全回数	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	5				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	草深の森来場者数	人	目標値	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
			実績値	1,845				
	いんざい自然探訪参加者数	人	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	33				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	里山の保全活動について、当初の計画どおり実施することができた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	草深の森の来場者数は目標値を上回ったが、新型コロナウイルス感染症の影響によりいんざい自然探訪等の実施回数が下回った。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	新型コロナウイルス感染症の影響により、いんざい自然探訪の開催数と参加者数が昨年度同様に例年より減少したが、感染症の予防対策を図り事業の実施を検討していく。今後も引き続き、小学生向けの環境保全企画を実施し、将来を担う子どもたちに自然の大切さを啓発していくとともに、里山保全団体の活動の推進や育成に努めていく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	66
実施計画事業名	ごみの減量化と資源化の推進		担当部署名	クリーン推進課
事業の実施目的 及び概要	市民・市・事業者の連携によるごみの減量化・再資源化に向けて取り組み、資源循環型社会の実現を目指します。 また、ごみの適正な処理のため、印西地区環境整備事業組合、印西地区衛生組合の既存処理施設の維持管理及び新たな処理施設の建設に、構成市町と連携して取り組みます。			
関連施策	【4-7】 自然との共生の実現	根拠法令 関連計画	第3次印西市ごみ減量計画 印西地区ごみ処理基本計画(平成31年3月)	
取組方針	ごみの減量化と資源化の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位: 千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・ごみの減量化・再資源化の意識啓発活動 ・有価物集団回収奨励金事業 ・生ごみ処理容器等購入費補助金 ・廃棄物減量等推進員制度 ・いんざい環境フェスタ等イベント	・ごみの減量化・再資源化の意識啓発活動 ・有価物集団回収奨励金事業 ・生ごみ処理容器等購入費補助金 ・廃棄物減量等推進員制度 ・いんざい環境フェスタ等イベント	・ごみの減量化・再資源化の意識啓発活動 ・有価物集団回収奨励金事業 ・生ごみ処理容器等購入費補助金 ・廃棄物減量等推進員制度 ・いんざい環境フェスタ等イベント
事業費	22,161千円	22,100千円	22,100千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	4-2-1	清掃総務費	ごみ減量化・再資源化推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・リサイクル情報広場事業は21件の譲渡成立した。 ・ごみ減量化等説明会は、町内会及び中学校に、7回延べ222人に説明会を行った。 ・廃食油約6.1トン、使用済み小型家電約9.3トンの拠点回収を行った。 ・生ごみ処理容器等購入の117世帯に補助金交付を行った。 ・生ごみ処理機及び剪定枝粉碎機貸出を31件行った。 ・有価物集団回収奨励金事業により、約1,442トンが回収できた。 ・廃棄物減量等推進員127人がごみ減量等に関する活動を行った。 ・ごみ分別アプリは、令和3年度までに10,511人がダウンロードした。 ・環境フェスタは新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しオンラインにて実施した。参加団体9団体、公開動画10点、総再生件数1,390件 ・おさがりマルシェは新型コロナウイルス感染症対策を講じて開催した。配布点数1,190点、配布量153.1kg ・食品ロス削減に関するごみ減量・3R推進動画を作成し、ホームページ上で公開した。	当初予算	22,161,000円
		予算現額	21,663,000円
		決算額	18,127,821円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	広報による啓発	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12				
	ごみ減量化等説明会	回	目標値	15	18	21	24	27
			実績値	7				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	家庭系ごみ(資源物を除く)の 一人一日あたり排出量	g/人・日	目標値	479	473	467	461	455
			実績値	526				
	生ごみ処理容器等購入費補助	世帯	目標値	70	75	80	85	90
			実績値	117				
	有価物集団回収奨励金交付団 体数	団体	目標値	120	120	120	120	120
			実績値	97				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ごみ減量化等説明会につきましては、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言・まん延防止措置の影響を受け、申し込みが少なかった。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	ごみ排出量は年々減少傾向にあったが、目標値は達成できなかった。新型コロナウイルス感染症の影響により、自宅で過ごす時間が増えたこと等により、ごみの排出量が増えた。令和3年度の排出量は前年度よりも減少したが、目標値を達成することはできなかった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	目標値を達成した指標もあるものの、目標値に達しない実績・成果となってしまった指標もある。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	現在、実施している事業を引き続き継続するとともに、事業に対する評価を踏まえ、さらなる充実に向け施策の検討を行う。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	67
実施計画事業名	環境への負荷の低減		担当部署名	環境保全課
事業の実施目的 及び概要	地球温暖化の原因である二酸化炭素などの温室効果ガスの削減や、再生可能エネルギーの普及促進に取り組んでいくため、太陽光発電システム等の家庭用再生可能エネルギー設備や省エネ設備等の設置者に対して導入の補助を実施します。 また、環境家計簿等の普及や省エネに関する情報提供を広報やホームページに掲載し、情報提供を行います。生活雑排水による公共用水域の水質汚濁防止及び公衆衛生の向上を図るため、合併処理浄化槽設置者に対し補助金を交付し、普及を促進します。さらに、設置後5年を経過した浄化槽の簡易水質検査を実施し、浄化槽の維持管理の促進を図ります。			
関連施策	【4-7】 自然との共生の実現	根拠法令 関連計画	印西市環境基本計画 印西市庁内エコプラン 浄化槽法 印西地区循環型社会形成推進地域計画	
取組方針	環境への負荷の低減			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・合併処理浄化槽補助金 ・合併処理浄化槽の簡易水質検査 ・住宅用省エネルギー設備設置費補助金 ・住宅用省エネルギー設備設置アンケート	・合併処理浄化槽補助金 ・合併処理浄化槽の簡易水質検査 ・住宅用省エネルギー設備設置費補助金 ・住宅用省エネルギー設備設置アンケート	・合併処理浄化槽補助金 ・合併処理浄化槽の簡易水質検査 ・住宅用省エネルギー設備設置費補助金 ・住宅用省エネルギー設備設置アンケート
事業費	103,448千円	103,448千円	103,448千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	4-1-5	環境衛生費	合併処理浄化槽設置事業
	4-1-6	環境保全費	住宅用省エネルギー設備設置費補助事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・合併処理浄化槽設置補助 112基 ・合併処理浄化槽の簡易水質検査 50件 ・住宅用省エネルギー設備設置費補助金 261件 ・住宅用省エネルギー設備設置アンケート実施 234件	当初予算	103,448,000円
		予算現額	99,049,000円
		決算額	98,993,780円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	合併処理浄化槽の簡易水質検査	件	目標値	40	30	35	30	35
			実績値	50				
	合併処理浄化槽補助設置基数	基	目標値	70	70	70	90	90
			実績値	112				
	合併処理浄化槽設置及び維持 管理促進のPR(広報・HP・チラシ等)	回	目標値	5	—	—	—	—
			実績値	5				
	太陽光設備設置基数	基	目標値	30	—	—	—	—
			実績値	55				
	定置用リチウムイオン蓄電システム設置補助件数	件	目標値	—	60	60	60	60
			実績値	—				
成果指標	水質検査結果「適正」判定率	%	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	96				
	CO2削減効果	t-CO2	目標値	100	—	—	—	—
			実績値	170				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	活動指標値の目標を概ね上回ることができた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	水質検査結果「適正」判定率の目標値を上回ることができた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	・活動指標の「太陽光設備設置基数」は、令和3年度をもって千葉県補助対象設備でなくなったことに伴い、市の補助金についても同様に対象外としたため、令和4年度からは新たに「定置用リチウムイオン蓄電システム設置補助件数」を指標として設定する。 ・脱炭素社会やSDGsの実現に向けて今後も継続していく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	68
実施計画事業名	コミュニティ活動の推進		担当部署名	市民活動推進課
事業の実施目的 及び概要	市と町内会等の相互協力関係を推進し、行政運営の円滑化及び地域社会における住民自治の振興を図るため、コミュニティ活動を支援するとともに、町内会活動等への参加の場を確保するため、活動拠点となる集会施設の整備を促進します。 また、市民相互の理解を深め、より強い絆を持った地域づくりを推進するため、市内4館のコミュニティセンターにおいて、コミュニティの醸成事業を行い、地域コミュニティの充実を図ります。			
関連施策	【5-1】 市政への参加と地域活動の推進	根拠法令 関連計画	印西市行政協力交付金交付要綱、印西市町内会等活動費補助金交付要綱、印西市町内会等地区連絡会活動費補助金交付要綱、印西市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例、印西市青年館の設置及び管理に関する条例、同施行規則、印西市集会所の設置及び管理に関する条例、同施行規則、印西市構造改善センターの設置及び管理に関する条例、同施行規則、印西市集会所施設整備事業補助金交付要綱	
取組方針	コミュニティ活動の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画) 単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・町内会等の活動助成 ・町内会等の設立に向けた団体への資料提供 ・町内会等への加入促進の広報活動 ・地区集会所の建設費又は修繕費の助成 ・指定管理者によるコミュニティセンターの管理運営	・町内会等の活動助成 ・町内会等の設立に向けた団体への資料提供 ・町内会等への加入促進の広報活動 ・地区集会所の建設費又は修繕費の助成 ・指定管理者によるコミュニティセンターの管理運営	・町内会等の活動助成 ・町内会等の設立に向けた団体への資料提供 ・町内会等への加入促進の広報活動 ・地区集会所の建設費又は修繕費の助成 ・指定管理者によるコミュニティセンターの管理運営
事業費	191,917千円	241,000千円	249,000千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	2-1-12	自治振興費	町内会等に要する経費
	2-1-12	自治振興費	町内会地区集会所等に要する経費
	2-1-12	自治振興費	コミュニティセンターの管理運営に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	行政協力交付金、町内会等活動費補助金、町内会等地区連絡会補助金を交付し、円滑な行政運営及び町内会活動等の活性化を図った。 また、印西市町内会自治会連合会作成の町内会加入促進パンフレットを活用し、町内会等への加入促進を図った。 町内会等へ集会施設整備事業補助金を交付し、町内会等が管理する集会施設の整備、充実を図った。 しかしながら、新型コロナの影響により、町内会等において集会施設の新築に関する意見合意形成が困難であったこと等から、2件の取り下げがあった。 4館あるコミュニティセンター(指定管理)において市民向けの講座等を実施するとともに、地域の団体の活動などの場を提供し、地域コミュニティの活性化を図った。	当初予算	191,917,000円
		予算現額	166,965,000円
		決算額	137,766,704円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	町内会等への加入促進の広報活動	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3				
	集会施設の新設、改築、修繕に対する補助	箇所	目標値	11	11	11	11	11
			実績値	10				
	コミュニティセンター講座等事業数	回	目標値	185	187	189	191	193
			実績値	83				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	町内会等組織数(累計)	団体	目標値	192	194	196	198	200
			実績値	193				
	集会施設数	箇所	目標値	153	154	155	156	157
			実績値	151				
	コミュニティセンター利用者数	人	目標値	100,000	100,500	101,000	101,500	102,000
			実績値	64,418				
	コミュニティセンター登録団体数	団体	目標値	310	310	310	320	320
			実績値	228				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナの影響により実績値が減少した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナの影響により実績値が減少した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	・町内会等への補助金等による各種経費負担等の支援や、協力関係の維持に引き続き努める。 ・コミュニティセンターは地域コミュニティの拠点の1つとして機能していると考えられる。指定管理者は利用者ニーズに合わせた事業を実施する等の施設の活用を図る努力をしており、今後も地域コミュニティの活性化を図るために事業を継続する。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	69
実施計画事業名	市民の主体的な活動の支援		担当部署名	市民活動推進課
事業の実施目的 及び概要	市民活動の推進及び活性化を図るため、活動を行うために必要な「場」「資金」「情報」「交流」等に関する様々な支援策を実施します。			
関連施策	【5-1】 市政への参加と地域活動の推進	根拠法令 関連計画	印西市市民活動推進条例 印西市市民活動支援センターの設置及び管理に関する条例 同施行規則 市民活動団体(NPO等)との協働を進めるためのガイドライン	
取組方針	市民の主体的な活動の支援			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	- 指定管理者による市民活動支援センターの管理運営 - 市民活動に関する情報の収集及び提供 - 協働事業の推進 - 公益信託印西市まちづくりファンド事業の支援	- 指定管理者による市民活動支援センターの管理運営 - 市民活動に関する情報の収集及び提供 - 協働事業の推進 - 公益信託印西市まちづくりファンド事業の支援	- 指定管理者による市民活動支援センターの管理運営 - 市民活動に関する情報の収集及び提供 - 協働事業の推進 - 公益信託印西市まちづくりファンド事業の支援
事業費	16,304千円	15,900千円	15,900千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-12	自治振興費	市民活動支援事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	指定管理者による市民活動支援センターの管理運営、市民活動推進委員会の運営、市民活動に関する情報の収集・提供、企画提案型協働事業の実施、まちづくりファンドの実施等により、市民活動団体への支援や協働事業を推進し、市民活動の推進及び活性化を図った。 しかし、新型コロナの影響により規模を縮小せざるを得なかった部分もあった。	当初予算	16,304,000円
		予算現額	15,966,000円
		決算額	15,526,308円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市民活動推進委員会の開催数	回	目標値	9	7	7	7	7
			実績値	6				
	市民活動支援センター年間利用者数	人	目標値	10,000	10,000	10,500	10,500	11,000
			実績値	7,460				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	協働事業の実施件数	件	目標値	80	82	84	86	88
			実績値	83				
	市民活動支援センター登録団体数	団体	目標値	200	210	220	230	240
			実績値	199				
	まちづくりファンド実施件数	件	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	10				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナの影響により実績値が減少した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	魅力と活力のあるまちづくりのため、市民活動の推進や協働事業の活性化を図れるよう引き続き事業を継続していく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	70
実施計画事業名	市民参加意識の向上		担当部署名	市民活動推進課
事業の実施目的 及び概要	市民が主体的に行政に関わるための基本的な事項を定めた市民参加条例により市民参加を推進し、魅力と活力のある地域社会の発展に寄与します。			
関連施策	【5-1】 市政への参加と地域活動の推進	根拠法令 関連計画	印西市市民参加条例 同施行規則	
取組方針	市民参加意識の向上			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・市民参加推進委員会の開催 ・市民参加実施状況の公表 ・庁内への市民参加条例の周知	・市民参加推進委員会の開催 ・市民参加実施状況の公表 ・庁内への市民参加条例の周知	・市民参加推進委員会の開催 ・市民参加実施状況の公表 ・庁内への市民参加条例の周知
事業費	157千円	160千円	100千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-6	企画費	市民参加推進事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・市民参加推進委員会の開催1回 ・市民参加実施状況及び実施予定の公表	当初予算	157,000円
		予算現額	157,000円
		決算額	102,500円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市民参加推進委員会の開催	回	目標値	1	2	1	2	1
			実績値	1				
	市民参加実施状況の公表	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1				
	庁内へ市民参加手続きの周知	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	公募市民が委嘱されている審議会等の数	件	目標値	35	35	35	35	35
			実績値	26				
	公募可の審議会等における公募委員の割合	%	目標値	25	25	25	25	25
			実績値	14				
	市民意見公募手続の平均応募件数	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	7.5				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	公募委員が委嘱されている審議会等の数や公募可の審議会等における公募委員の割合等が目標値に届かなかった。
③総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	審議会に対する市民の関心を高めるための情報発信が不足している可能性がある。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市民が行政に興味を持っていただき、率直な意見をいただけるよう、わかりやすい情報の提供・収集方法の工夫に努める。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	71
実施計画事業名	人権尊重の推進と 男女共同参画社会の実現に向けた取組	担当部署名	市民活動推進課	
事業の実施目的 及び概要	市民一人ひとりが、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現のために、人権尊重と男女共同参画意識の醸成を図るとともに、多様な生き方を実現するための環境整備や、誰もがいかなる差別や暴力を受けることなく安心して安全に暮らせるための取組等を、男女共同参画プランに基づき総合的に推進します。 また、すべての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会を実現するため、人権擁護委員と連携を図り、人権教育や啓発講座などの人権擁護活動を総合的に推進します。			
関連施策	【5-2】 人権尊重と男女共同参画社会の実現	根拠法令 関連計画	男女共同参画社会基本法、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律、印西市男女共同参画プラン、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、人権擁護委員法	
取組方針	男女共同参画社会の実現に向けた 取組の推進/人権尊重の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	- 男女共同参画プランの進行管理 - 主催事業の実施 - 啓発資料の掲示及び配布 - 情報紙の発行 - 男女共同参画推進懇話会の開催 - 人権教室の実施	- 男女共同参画プランの進行管理 - 主催事業の実施 - 啓発資料の掲示及び配布 - 情報紙の発行 - 男女共同参画推進懇話会の開催 - 印西市男女共同参画社会づくり に向けての市民意識調査の実施 (第4次男女共同参画プランの策 定準備) - 人権教室の実施	- 男女共同参画プランの進行管理 - 主催事業の実施 - 啓発資料の掲示及び配布 - 情報紙の発行 - 男女共同参画推進懇話会の開催 - 第4次男女共同参画プランの策定 - 人権教室の実施
事業費	1,035千円	3,350千円	4,850千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	2-1-6	企画費	男女共同参画推進事業
	2-1-6	企画費	人権擁護に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	市の男女共同参画推進のため、各種事業の開催、情報紙の発行、ホームページによる情報発信等により、市民への啓発を図った。事業については、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、市民向けはオンライン講座を開催した。全職員対象の「ジェンダー平等に関する職員研修」では、マスクの着用、席の間隔を空けるなどをして対面で実施した。 人権教室は、小学校15校、中学校5校で実施した。令和3年度は、小学校1校のみ、はじめてリモートで行った。リモートでの開催は、小学校からの希望であり、機材等は学校側の準備によるものであった。人権教室は、生徒に考えたことを発表してもらう場面があり、その際タイムラグやリモートならではの生徒と向き合う難しさがあった。 各種事業は、新しい形式での開催を挑戦したが、目標値には結びついていない。令和4年度も引き続き調査研究を進め、この経験を活かしていく。	当初予算	1,035,000円
		予算現額	1,035,000円
		決算額	812,102円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	講座等の開催数	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	6				
	情報紙の発行回数	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	講座等の参加者数	人	目標値	190	190	190	190	190
			実績値	94				
	審議会等の女性委員比率	%	目標値	30	30	30	30	30
			実績値	29				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症予防の観点から、令和3年度の講座はオンライン講座を開催した。不慣れなオンライン講座を行う上で、準備や企画に従来より時間が掛かり、講座の開催数は目標値に届かなかった。次年度は、経験を活かし、講座を開催していきたい。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症予防の観点から、オンライン講座を開催したものの、参加者の増には結びつかなかった。オンライン形式に適した広報や企画を考え、講座の参加者数につなげたい。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症予防の観点から、オンライン講座を開催したが、参加者の増には結びつかない状況だった。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	新型コロナウイルス感染症予防の観点から、オンライン講座といった新しい形式での実施に挑戦したが、参加者の増には結びつかない状況だった。また、準備や企画に従来より時間が掛かり、講座の開催数は目標値に届かなかった。引き続き、オンラインにも適した広報・企画を調査研究していき、令和3年度の経験を活かしていく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	72
実施計画事業名	相談支援体制の充実		担当部署名	子育て支援課
事業の実施目的 及び概要	○関係機関との連携を通して相談事業の実施や適切な情報提供などを行い、悩みを抱える女性やDV(配偶者など暴力)被害者を支援していきます。 ○相談者が安全に安心して相談できるよう体制を整備するとともに、専門的知識や経験を有する人材の確保に努めます。			
関連施策	【5-2】人権尊重と男女共同参画社会の実現	根拠法令 関連計画	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 印西市男女共同参画プラン	
取組方針	相談支援体制の充実			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・女性の悩み相談の実施 ・DV被害者の緊急避難の際の金銭的支援 ・関係各課、県女性サポートセンター、警察署、民間施設との連携強化	・女性の悩み相談の実施 ・DV被害者の緊急避難の際の金銭的支援 ・関係各課、県女性サポートセンター、警察署、民間施設との連携強化	・女性の悩み相談の実施 ・DV被害者の緊急避難の際の金銭的支援 ・関係各課、県女性サポートセンター、警察署、民間施設との連携強化
事業費	574千円	574千円	574千円

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
関係予算	3-1-1	社会福祉総務費	女性の悩み相談事業
	3-1-1	社会福祉総務費	DV被害者支援事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	DV被害者やその他の悩みを抱える女性に対し、関係機関と連携を図りながら適切な支援が出来るよう努めた。 緊急避難のための支援金:実績なし	当初予算	574,000円
		予算現額	574,000円
		決算額	531,773円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	女性の悩み相談周知回数	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12				
	女性の悩み相談日数	日	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	24				
	DV被害者支援周知回数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	女性の悩み相談者数	人	目標値	120	120	120	120	120
			実績値	69				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症の流行で来所相談の予約が減少したことにより、相談件数も減少した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	広報、ホームページ及び個別の相談時等で、相談窓口の周知を図り、月2回(第1、3木曜日)女性の悩み相談を実施することにより、女性が抱える様々な悩みに対して、解消へと繋がるような支援を行っていく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	73
実施計画事業名	電子行政の推進		担当部署名	DX推進課
事業の実施目的 及び概要	ICT分野における技術革新や環境の変化に柔軟に対応しながら、市民生活の向上が図れるようマイナンバーを利用した「ぴったりサービス」や市の公共施設が予約できる公共施設予約システムの安定稼働に努めるとともに、ちば電子申請サービスの更新に伴う機能の拡張により、新たな電子申請サービスを追加し、市民の利便性向上を図ります。 また、庁内における情報機器などの配備・更新を進めて、高い情報セキュリティ水準を維持しながら、業務の安定稼働が図れるよう取り組みます。			
関連施策	【5-3】 行政の電子化・情報化の推進	根拠法令 関連計画	印西市第4次情報化計画	
取組方針	ICTの活用などによる効率的な行政運営 / 電子行政の推進			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・職員向け研修(セキュリティ、GIS等)の実施 ・電子申請手続き、ぴったりサービスの推進 ・公共施設予約システムの安定稼働 ・パソコン更新 ・WEB会議用パソコン購入 ・複合機更新 ・ネットワーク機器更新 ・無線アクセスポイントの設置場所検討	・職員向け研修(セキュリティ、GIS等)の実施 ・電子申請手続き、ぴったりサービスの推進 ・公共施設予約システムの安定稼働 ・パソコン更新 ・WEB会議用パソコン購入 ・複合機更新 ・無線アクセスポイントの設置場所検討	・職員向け研修(セキュリティ、GIS等)の実施 ・電子申請手続き、ぴったりサービスの推進 ・公共施設予約システムの安定稼働 ・パソコン更新 ・複合機更新 ・無線アクセスポイントの設置場所検討・更新 ・住民情報系プリンタ更新
事業費	224,298千円	292,556千円	292,556千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-11	電子計算費	電子行政推進に要する経費
	2-1-11	電子計算費	情報基盤整備に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・職員向け研修 セキュリティ研修12/28～(動画37人テキスト99人)、GIS操作研修2/1(9人) ・電子申請手続き、ぴったりサービスの推進 電子申請手続き(103手続き)ぴったりサービス(23手続き) - 新型コロナウイルスワクチンのキャンセル待ち等手続き等で大幅に増加 ・ネットワーク機器更新 庁内ネットワーク機器の更新で、本庁及び出先機関(小中学校除く)庁内情報系端末を無線LANに変更した。併せてインターネット接続用の無線LANも利用可能とした。 ・DX推進方針 第4次情報化計画期間が終了することから、新たに印西市DX推進方針(R4～R7)を策定。	当初予算	224,298,000円
		予算現額	189,848,000円
		決算額	161,512,029円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	職員向け研修	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2				
	公共施設予約システムの停止を伴う定期メンテナンス	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2				
	電子申請手続き、ぴったりサービスの手続数	手続	目標値	37	39	41	43	45
			実績値	103				
	パソコン更新	台	目標値	240	250	440	150	—
			実績値	244				
	WEB会議用パソコン購入・更新	台	目標値	5	5	—	—	3
			実績値	5				
成果指標	職員向け研修参加者数	延べ人数	目標値	50	100	150	200	250
			実績値	145				
	公共施設予約システムの安定稼働率	%	目標値	99	99	99	99	99
			実績値	100				
	パソコン更新率	%	目標値	100	100	100	100	—
			実績値	100				
	WEB会議用パソコン貸出	延べ台数	目標値	160	320	480	640	800
			実績値	982				
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	電子申請手続き数が大幅に増加することができた。 Web会議が一般化し、Web会議用PCの貸し出しが大幅に増加した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	電子申請やweb会議の増加がみられた。DX推進方針策定にあたっては庁内及び市民に対しアンケートを実施し、要望の多い項目の実現に向けた方針を策定することができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市民が自宅で、市役所窓口が開いていない時間帯でも手続きが完了できる体制を構築するため、職員及び市民の情報リテラシーを向上させる必要がある。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	74
実施計画事業名	時代に即した情報発信	担当部署名	秘書広報課	
事業の実施目的 及び概要	市政情報や地域の出来事、まちの魅力などを幅広く発信することを目的に、市ホームページや広報紙については必要に応じて見直しを図るとともに、SNSや動画など、時代に即した情報発信手段の活用を図ります。			
関連施策	【5-3】 行政の電子化・情報化の推進	根拠法令 関連計画	印西市広報広聴規則 印西市広報レポーター設置要綱 印西市情報化計画 印西市市政情報の公表及び提供の積極的な推進に関する要綱	
取組方針	時代に即した情報発信			
総合戦略	基本目標②新しいひとの流れをつくる 基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位: 千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・広報紙の発行(月2回) ・広報紙の新聞折込、郵送、戸別投函による配付及び各公共施設・駅などへの配置 ・ホームページ、SNS、動画による情報発信 ・ホームページ管理システム操作研修を実施し内容の充実を図る	・広報紙の発行(月2回) ・広報紙の新聞折込、郵送、戸別投函による配付及び各公共施設・駅などへの配置 ・ホームページ、SNS、動画による情報発信 ・ホームページ管理システム操作研修を実施し内容の充実を図る	・広報紙の発行(月2回) ・広報紙の新聞折込、郵送、戸別投函による配付及び各公共施設・駅などへの配置 ・ホームページ、SNS、動画による情報発信 ・ホームページ管理システム操作研修を実施し内容の充実を図る
事業費	29,728千円	29,728千円	29,728千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-2	文書広報費	広報活動に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	【広報紙発行】 ・外部委託により、レイアウト、デザイン、図表等の作成に専門技術を取り入れ、分かりやすく読みやすい紙面編集に努めた。 ・市民の視点を取り入れるため、広報レポーターによる取材記事を掲載し、市の住み良さや魅力を紹介した。 ・新聞未購読世帯へは戸別投函や郵送による配布を行うとともに、駅や郵便局などへも配置を行った。 ・スマートフォンアプリによる広報紙の配信及び周知に努めた。 【ホームページ等】 ・インターネットが持つ即時性を活かし、積極的な情報発信に努めた。 ・ホームページ操作研修を実施し、適切なコンテンツ作成、アクセシビリティの確保について周知を図った。	当初予算	29,728,000円
		予算現額	29,728,000円
		決算額	26,644,064円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	広報紙発行回数	回	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	24				
	ホームページコンテンツ数	件	目標値	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
			実績値	4,418				
	市公式ツイッター発信件数	件	目標値	50	55	60	65	70
			実績値	442				
	マスコミへの情報提供数	件	目標値	60	65	70	75	80
			実績値	113				
			目標値					
			実績値					
成果指標	広報紙発行部数	部	目標値	29,000	28,900	28,800	28,700	28,600
			実績値	27,300				
	広報紙自動配信アプリ登録件数	件	目標値	2,900	3,000	3,100	3,200	3,300
			実績値	3,998				
	市公式ツイッターフォロワー数	件	目標値	3,700	3,800	3,900	4,000	4,100
			実績値	4,928				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	A 目標値を上回る	引き続きコロナ禍により情報発信件数が大きく増えたことが要因。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き積極的な情報発信に努める。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	75
実施計画事業名	窓口サービスなどの充実		担当部署名	市民課、納税課、 国保年金課
事業の実施目的 及び概要	感染症の拡大防止に伴う新しい生活様式に対応するなど、市民ニーズに応じた手続きしやすい窓口サービスを提供するとともに、各種証明書交付の利便性向上を図るため、マイナンバーカードを利用したコンビニ等での証明書交付サービスを促進します。 また、これまで提供してきたコンビニ納付や土曜開庁、中央駅前出張所でのサービスを継続させるほか、窓口の民間委託化や統合化を進め、効率的な窓口サービス体制の構築を図るとともに、市税など公金の納付機会の更なる充実に努めます。			
関連施策	【5-4】 市民サービスの充実	根拠法令 関連計画	第6次行政改革実施計画 第4次情報化計画	
取組方針	窓口サービスなどの充実			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・市民課、国保年金課、中央駅前出張所窓口の業務委託の実施 ・市民課窓口でのキャッシュレス決済の試験的導入 ・マイナンバーカードの利用促進 ・出張所機能の見直しの検討 ・コンビニ・マルチペイメントでの収納業務の継続 ・新たな納付環境の情報収集 ・スマホアプリ決済の導入 ・キャッシュカードを使った口座振替申込の準備及び導入 ・国保税口座振替原則化	・市民課、国保年金課、中央駅前出張所窓口の業務委託の実施 ・マイナンバーカードの利用促進 ・出張所機能の見直しの検討・実施 ・コンビニ・マルチペイメント等での収納業務の継続 ・新たな納付環境の情報収集	・市民課、国保年金課、中央駅前出張所窓口の業務委託の実施 ・マイナンバーカードの利用促進 ・出張所機能の見直しの検討・実施 ・コンビニ・マルチペイメント等での収納業務の継続 ・新たな納付環境の情報収集
事業費	154,264千円	140,180千円	140,180千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	2-1-10	出張所費	中央駅前出張所事務に要する経費
	2-3-1	戸籍住民基本台帳費	窓口事務に要する経費
	3-1-3	国民健康保険費	国保窓口業務委託に要する経費
	3-5-1	国民年金総務費	国民年金事務に要する経費
	4-1-1	保健衛生総務費	後期窓口業務委託に要する経費
	【国民健康保険特別会計】		
	1-2-1	賦課徴収費	賦課徴収に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・市民課、国保年金課、中央駅前出張所窓口の業務委託の実施 ・市民課窓口でのキャッシュレス決済の導入(スマートフォンアプリ決済含む) ・マイナンバーカードの利用促進 ・出張所機能の見直しの検討 ・多様な方法による市税等の収納業務の実施	当初予算	154,264,000円
		予算現額	174,904,000円
		決算額	169,512,356円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	市税における納付方法等の周知(広報、HP)	回	目標値	17	17	17	17	17
			実績値	23				
	マイナンバーカード利用促進のための周知	種類	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	6				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	市税の収納率	%	目標値	94.5	94.7	94.9	95.0	95.0
			実績値	95.3				
	コンビニ等での証明書(住民票・印鑑証明書)交付割合	%	目標値	6	8	10	12	14
			実績値	11				
	国保口座振替実施率	%	目標値	30.0	30.5	31.0	31.5	32.0
			実績値	26.3				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	マイナンバーカードの利用促進 新たな納付環境の情報収集、国保税収納率の向上

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	76
実施計画事業名	市民相談の実施		担当部署名	市民活動推進課 秘書広報課
事業の実施目的 及び概要	日常生活における悩みや問題について相談を希望する市民に対し、専門的な知識や経験を有する相談員から、相談者が自ら解決するための助言及び他の相談機関の情報を受ける機会を提供することを通じて、市民生活の向上に資することを目的とし、法律相談や市民生活相談などを実施します。			
関連施策	【5-4】市民サービスの充実	根拠法令 関連計画	人権擁護委員法 行政相談員法	
取組方針	各種相談の実施			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・法律相談の実施(月3回) ・市民生活相談(司法書士)の実施(月1回) ・市民生活相談(税理士)の実施(月1回) ・人権よろず相談の実施(月1回) ・行政相談の実施(月1回)	・法律相談の実施(月3回) ・市民生活相談(司法書士)の実施(月1回) ・市民生活相談(税理士)の実施(月1回) ・人権よろず相談の実施(月1回) ・行政相談の実施(月1回)	・法律相談の実施(月3回) ・市民生活相談(司法書士)の実施(月1回) ・市民生活相談(税理士)の実施(月1回) ・人権よろず相談の実施(月1回) ・行政相談の実施(月1回)
事業費	2,234千円	2,234千円	2,234千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	2-1-1	一般管理費	市民相談事業に要する経費
	2-1-1	一般管理費	行政相談事業に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	令和2年度に引き続き、換気、相談室のアルコール消毒、相談者と相談員の間にパーティションを置くなど、新型コロナウイルス感染症予防対策を行った。相談者にも予約受付の際マスクの着用と検温のお願いをし、また相談日当日に体調チェックシートを記入していただくなど、相談者にも協力をお願いしたことで、相談員、相談者ともに安心して相談することができた。 対面での相談が心配な方には、予防対策の説明、他機関を紹介するなど、相談者の意向に沿ったご案内をした。	当初予算	2,234,000円
		予算現額	2,234,000円
		決算額	2,066,691円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	法律相談毎月実施	回	目標値	36	36	36	36	36
			実績値	36				
	市民生活相談(司法書士)毎月実施	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12				
	市民生活相談(税理士)毎月実施	回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	法律相談の利用者数(年間)	人	目標値	260	260	260	260	260
			実績値	270				
	市民生活相談(司法書士)の利用者数(年間)	人	目標値	58	72	72	72	72
			実績値	70				
	市民生活相談(税理士)の利用者数(年間)	人	目標値	58	72	72	72	72
			実績値	63				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症予防対策を講じることで実施することができた。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	新型コロナウイルス感染症予防対策を講じると共に、相談者にも予防対策の協力をお願いした。実施日における利用率は減少せず、増加することができた。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	新型コロナウイルス感染症予防対策を講じることで実施することができ、実施日における利用率は減少せず、増加することができた。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じた上で相談事業の実施に努める。相談員側の事情により中止せざるを得ないことがあるため、中止する場合は、他機関で実施している電話相談等を紹介することで対応していく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	77
実施計画事業名	情報公開制度の適正な運用		担当部署名	総務課
事業の実施目的 及び概要	情報公開制度の適正な運用に努めるとともに、公文書の適正な管理を行い、市民への情報公開・情報提供を積極的に推進します。また、市民への積極的な情報提供を行うための手段である行政資料コーナー（行政資料室）の整備やホームページへの掲載に努めます。			
関連施策	【5-4】市民サービスの充実	根拠法令 関連計画	印西市情報公開条例	
取組方針	情報公開制度の適正な運用			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・市民への情報の公表・提供の推進を図るためのホームページの活用及び行政資料コーナーの充実 ・文書ファイリングシステムに係る実地点検の実施による職員の文書管理に対する意識向上の促進	・市民への情報の公表・提供の推進を図るためのホームページの活用及び行政資料コーナーの充実 ・文書ファイリングシステムに係る実地点検の実施による職員の文書管理に対する意識向上の促進	・市民への情報の公表・提供の推進を図るためのホームページの活用及び行政資料コーナーの充実 ・文書ファイリングシステムに係る実地点検の実施による職員の文書管理に対する意識向上の促進
事業費	3,280千円	3,280千円	3,280千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事业予算)
	2-1-1	一般管理費	文書管理の推進事業
	2-1-1	一般管理費	情報公開に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	情報公開制度の適正な運用を行い、市民への情報の公表・提供の推進を図るため、ホームページの活用、行政資料コーナーの充実に努めた。また、文書ファイリングシステムについて抽出した3課を対象に実地点検を実施し、職員の文書管理に対する意識の高揚を図ったほか、長期書庫で保存している文書で保存期間を延長した文書の保管方法を見直し、長期書庫内の保管場所を確保した。	当初予算	3,280,000円
		予算現額	3,280,000円
		決算額	2,607,628円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	各課情報公表・提供の情報一覧の公表	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4				
	ファイリングの点検	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	市政情報の公表・提供数	件	目標値	1,316	1,374	1,432	1,490	1,548
			実績値	877				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	各課等が公表・提供する市政情報の件数が結果的に少なかった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	市政情報の公表及び提供の積極的な推進を図る。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続きホームページや行政資料コーナーを活用して、市民の関心の高い情報を積極的に提供していくこととする。また、既存施設を有効活用し、30年保存文書の保管場所の確保を継続して取り組むこととする。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	78
実施計画事業名	事務事業の見直しと事務改善の推進	担当部署名	総務課	
事業の実施目的 及び概要	総合計画に掲げる政策を推進し、その施策を効果的なものとするため、多様化する行政需要に対応した、事業体制の整備を図ることにより、将来にわたる持続可能な行政運営を構築を図ります。			
関連施策	【5-5】 持続可能な行財政経営の実現	根拠法令 関連計画	第6次印西市行政改革大綱 第6次印西市行政改革実施計画	
取組方針	事務事業の見直しと事務改善の推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位: 千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・RPA等の導入に向けた検討及び導入 ・キャッシュレス決済導入に向けた検討及び導入 ・行政手続きの押印廃止に向けた検討及び押印の見直し ※RPA…ロボティックプロセスオートメーション(Robotic Process Automation)、通称RPAは、これまで人間が行ってきた定型的な作業を、ソフトウェアのロボットにより自動化するもの	・RPA等の導入の検証並びに利用拡大及び見直し ・キャッシュレス決済導入の検証及び利用拡大の検討 ・行政手続きの押印見直し	・RPA等の導入の検証並びに利用拡大及び見直し ・キャッシュレス決済導入の検証及び利用拡大の検討 ・行政手続きの押印見直し
事業費	2,541千円	257千円	257千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-1	一般管理費	行政改革に要する経費

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・キャッシュレス決済端末4台設置 市民課・課税課・納税課・シティプロモーション課 ・RPA試行導入を行い3業務の本稼働を開始 教育・保育給付認定及び保育所等利用申込みに係る業務(保育課) 畜犬登録等に係る申請内容の登録業務(環境保全課) 軽自動車4輪新規登録業務(課税課) ・押印不要とした手続き817件	当初予算	2,541,000円
		予算現額	2,541,000円
		決算額	1,968,323円
		翌年度 繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	キャッシュレス決済利用件数	件	目標値	1,500	1,900	2,400	2,400	2,400
			実績値	793				
	RPA利用事業数	件	目標値	2	3	5	5	5
			実績値	3				
	押印不要とした手続き数	件	目標値	240	480	720	860	1,200
			実績値	817				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	キャッシュレス端末を庁内に4台設置した。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	手数料等のキャッシュレス決済を庁内4か所で運用開始。運用開始となるR3. 9からの、利用実績とした。 RPAの試行導入を行い、3業務で本稼働を開始した。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	キャッシュレス決済やRPA導入を図ることにより、行政サービスの向上及び事務の効率化を図ることができた。関係課と協議するとともに必要な支援を行った。

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	令和4年度は出先機関5か所に手数料等のキャッシュレス決済導入を予定している。キャッシュレス決済の利用率を上げるため、市民への広報の充実を図る。 また、RPA拡充を図るため、先進事例の調査研究を図り、定型的かつ反復作業が発生する業務や、電子申請からの電子データとRPAを連動させた効果の検証を図り、業務の効率化や行政サービス向上を図る。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	79
実施計画事業名	職員の育成		担当部署名	人事課
事業の実施目的 及び概要	専門的、実務的な知識の習得、政策形成、対人折衝、職務遂行等の能力向上を図り、系統立てた人材育成を推進することにより、社会情勢の変化や様々な行政課題に対応できる職員を育成し、組織としての総合力を高めていきます。			
関連施策	【5-5】 持続可能な行財政経営の実現	根拠法令 関連計画	印西市職員人材育成基本方針	
取組方針	職員の育成			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・階層研修・専門研修・特別研修・職場研修(OJT)等の実施 ・職階に応じた階層別の研修では、適切な時期に研修を実施する。 - また各種研修メニューを全職員に紹介し、積極的に研修の参加を促す。	・階層研修・専門研修・特別研修・職場研修(OJT)等の実施 ・職階に応じた階層別の研修では、適切な時期に研修を実施する。 - また各種研修メニューを全職員に紹介し、積極的に研修の参加を促す。	・階層研修・専門研修・特別研修・職場研修(OJT)等の実施 ・職階に応じた階層別の研修では、適切な時期に研修を実施する。 - また各種研修メニューを全職員に紹介し、積極的に研修の参加を促す。
事業費	3,571千円	3,571千円	3,571千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-1	一般管理費	職員研修事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	派遣研修・専門研修・特別研修・職場内研修(OJT)を実施した。 階層別研修では、経験年数の基準から職員を指定し受講を実施した。 当初計画では、例年並みの実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種の研修で参加者数の人数制限があったことなどにより、例年に比べて、8割程度の受講人数となった。 またOJT研修については、各課が積極的に実施し、例年に比較して研修数・受講者数ともに増加となった。	当初予算	3,571,000円
		予算現額	3,571,000円
		決算額	1,191,447円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	研修数	講座	目標値	90	90	90	90	90
			実績値	105				
	うち、専門研修数	講座	目標値	40	40	40	40	40
			実績値	32				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	階層研修参加者数	人	目標値	90	71	94	93	73
			実績値	78				
	専門研修参加者数	人	目標値	40	40	40	40	40
			実績値	38				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	市人材育成基本方針に基づき、職員の能力向上を図るため、有効な時期及び受講内容を研究又は工夫しながら、引き続き実施していく。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	80
実施計画事業名	公共施設マネジメントの推進		担当部署名	資産経営課
事業の実施目的 及び概要	公共施設の老朽化が進む中で、将来的には人口減少や少子高齢化の進行により、公共施設の更新などに充当できる財源を確保することが難しくなり、公共施設などを適正に維持することが困難になると予想されています。したがって、公共施設の更新などの費用負担を軽減するため、公共施設の集約化や複合化などに取り組み、公共施設保有量の縮減を図ります。 また、公共施設の維持管理費の縮減や管理運営の効率化を図るため、指定管理者制度の導入などの民間活用を推進するとともに、取り組みにより生じた公共施設跡地の売却や貸付などにより財源の確保に努めます。			
関連施策	【5-5】 持続可能な行財政経営の実現	根拠法令 関連計画	印西市公共施設等総合管理計画 印西市公共施設適正配置実施方針 印西市公共施設適正配置アクションプラン (仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備基本計画	
取組方針	公共施設マネジメントの推進			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容及び数量)	・印西市公共施設等総合管理計画の一部改訂 ・公共施設等総合管理計画及びアクションプランに基づく進捗管理 ・指定管理者制度の導入推進 ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設の民間事業者公募	・公共施設等総合管理計画及びアクションプランに基づく進捗管理 ・指定管理者制度の導入推進 ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設の設計、建設	・公共施設等総合管理計画及びアクションプランに基づく進捗管理 ・指定管理者制度の導入推進 ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設の設計、建設
事業費	24,039千円	1,026千円	1,026千円

関係予算	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
	2-1-1	一般管理費	公共施設等の総合管理に要する経費
	2-1-1	一般管理費	(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	・印西市公共施設等総合管理計画の一部改訂については、見直しを進めたが、令和4年度へ継続することとした。 ・印西市公共施設等総合管理計画及び印西市公共施設適正配置アクションプランの実施状況等については、所管課からヒアリング等を行い把握し、進捗管理に努めた。 ・指定管理者制度の導入については、指標目標としていた施設への導入を達成した。 ・(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業については、民間事業者の公募を実施し、事業契約を締結した。	当初予算	24,039,000円
		予算現額	24,039,000円
		決算額	23,934,868円
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	印西市公共施設等総合管理計画の一部改訂	%	目標値	100	—	—	—	—
			実績値	75				
	進捗管理に関する施設所管課等ヒアリング	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1				
	(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設の民間事業者公募	回	目標値	1	—	—	—	—
			実績値	1				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	公共施設の延床面積	㎡	目標値	R32年度までに307,446㎡(H26年度末時点)の34%を縮減する。				
			実績値					
	指定管理者制度の新規導入	施設	目標値	8	5	3	1	1
			実績値	8				
	(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設の整備	%	目標値	—	25	50	75	100
			実績値	—				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	「印西市公共施設等総合管理計画の一部改訂」については、令和4年度中の実施を目途とした。
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	引き続き、公共施設等総合管理計画及びアクションプランの進捗管理及び(仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業の推進を図る。

令和3年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	81
実施計画事業名	公共施設の配置などの適正化の検討	担当部署名	企画政策課	
事業の実施目的 及び概要	現在の公共施設は主に平成22年の市村合併前の公共施設の配置が基本となっています。市域全体の公共施設のあり方について、人口の状況や市民ニーズに対応した公共施設の配置などについて検討を進めます。			
関連施策	【5-5】 持続可能な行財政経営の実現	根拠法令 関連計画	印西市公共施設等総合管理計画	
取組方針	公共施設の配置などの適正化の検討			
総合戦略	基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			

2. 実施計画の内容(第1次実施計画)

単位:千円

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
年度別の事業計画 (具体的な内容 及び数量)	・庁内検討組織の設置及び検討 ・公共施設整備基本方針の策定	・公共施設整備基本方針に基づく 進行管理	・公共施設整備基本方針に基づく 進行管理
事業費	-	-	-

	款項目	予算科目名	予算事業名(大事業予算)
関係予算			

3. 事業実績等

単位:円

令和3年度の 事業実績・成果	市域全体の公共施設の在り方について、庁内検討組織などにより検討を進めたが、公共施設整備基本方針の策定には至らなかった。 ・政策調整会議 1回 ・主管課長会議 1回 ・策定本部幹事会 1回 ・策定本部作業部会 3回 ・関係各課との打ち合わせ等を随時実施	当初予算	—
		予算現額	—
		決算額	—
		翌年度繰越額	—

4. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	庁内検討組織での検討	回	目標値	3	3	—	—	—
			実績値	6				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
成果指標	公共施設整備基本方針の策定	%	目標値	100	100	—	—	—
			実績値	80				
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

5. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント又は項目についての課題)
①活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
②成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	印西市公共施設整備基本方針の策定に向けて、庁内検討組織で検討を重ねたが、策定には至らなかった。
③総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

6. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由 及び 今後の課題等
1 事業を現行のまま継続して実施	令和4年度中の策定を目指し、引続き検討を進めていく。

